

ANNUAL REPORT

2023

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目次

令和5年度の流れ	近代美術館	3
	万代島美術館	4
事業報告		
展覧会	近代美術館	6
	常設展	6
	第1期 没後50年 横山操展	7
	第2期 開館30周年を記念して ニイガタキンビ誕生の頃	9
	大光コレクション	9
	亀倉雄策	9
	第3期 近代美術館の名品 ― 新収蔵品を中心に	11
	異国に渡った芸術家たち	11
	三芳悌吉 絵本の仕事 ― 科学の眼差し	11
	第4期 近代美術館の日本画の名品	13
	反戦への思い	13
	企画展	15
	望郷の画家 橋本龍美展 ― 神も、庶民も、パケモノも	15
	華麗なるパリ・エポック展 フランス・モダン・ポスター	19
	京都工芸繊維大学工芸資料館コレクション	20
	ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる	24
	行為と詩情 ― ACTION & POETRY	27
	特別展示：尼崎市コレクション 白髪一雄	30
	共催展	34
	第77回新潟県美術展覧会 長岡展	34
	第25回亀倉雄策賞受賞記念展 岡崎智弘／三澤遥	34
	第54回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展	35
	第26回新潟県立美術館 友の会作品展	35
	万代島美術館	36
	企画展	36
	原田治展「かわいいの発見」	36
	糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	38
	ヨシタケシンスケ展かもしれない	45
	イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	50
	JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	60
周年記念事業	近代美術館開館30周年・万代島美術館開館20周年記念事業	64
教育普及	近代美術館	66
	イベント	66
	館外活動・地域との連携	68
	刊行物・鑑賞資料	70
	作品解説会	71
	団体の受入れ	72
	学校教育との連携	73
	観覧料免除	74
	博物館実習	75
	万代島美術館	76
	イベント	76
	館外活動・地域との連携	77
	刊行物・鑑賞資料	77
	作品解説会	78
	団体の受入れ	78
	学校教育との連携	79
	観覧料免除	80
	サポートメンバー	81
	博物館実習	81
調査・研究	近代美術館	82
	万代島美術館	84
収集・保存		
	令和5年度収集作品	86
	美術品の修復	116
	美術品の燻蒸	119
	美術品の貸出	119
管理・運営		
	開館及び入館状況	116
	近代美術館	116
	万代島美術館	119
	施設の貸出	120
	アンケート集計結果	121
	近代美術館	121
	万代島美術館	124
	組織及び業務	126
	職員	126
施設	近代美術館	127
	万代島美術館	128
審議会等	新潟県立近代美術館協議会	129
	新潟県美術品収集委員会	137
	新潟県立美術館友の会	138
沿革		139

令和5年度の流れ (新潟県立近代美術館)

4月	11日(火)	コレクション展第1期開会
	14日(金)	企画展「望郷の画家 橋本龍美展—神も、庶民も、バケモノも」開場式および内覧会
	15日(土)	企画展「望郷の画家 橋本龍美展—神も、庶民も、バケモノも」開会 コレクション展作品解説会
5月	16日(日)	橋本龍美展関連イベント「ギャラリートーク」
	1日(月)	橋本龍美展関連イベント「ワークショップ さがすとみつかる 作者のココロがみえてくる!？」
	5日(金祝)	橋本龍美展関連イベント「こどもワークショップ お絵描き好きな子集まれ 変身!お化け地蔵」
	6日(土)	コレクション展作品解説会
	14日(日)	橋本龍美展関連イベント「ギャラリートーク」
	20日(土)	美術鑑賞講座「橋本龍美の世界 一神も、庶民も、バケモノも」
6月	27日(土)	美術鑑賞講座「いつか見たい 日本画家・横山操の傑作 30選」
	3日(土)	コレクション展作品解説会
	4日(日)	橋本龍美展関連イベント「ギャラリートーク」
	14日(水)	企画展「望郷の画家 橋本龍美展—神も、庶民も、バケモノも」閉会 共催展「第77回新潟県美術展覧会 長岡展」開会
	18日(日)	コレクション展第1期開会 共催展「第77回新潟県美術展覧会 長岡展」閉会
7月	27日(火)	コレクション展第2期開会
	30日(金)	企画展「華麗なるパリ ベル・エポック展 —フランス・モダン・ポスター」開場式および内覧会
	1日(土)	企画展「華麗なるパリ ベル・エポック展 —フランス・モダン・ポスター」開会 ベル・エポック展関連イベント「講演会 ベル・エポックとデザイン—アール・ヌーヴォーからアール・デコまで」
	8日(土)	コレクション展作品解説会
	9日(日)	親子ふれあいデー
	15日(土)	開館記念日(コレクション展無料開館日) 近代美術館開館30周年記念イベント「ボン・ボン・マルシェ」
	17日(月祝)	}
	19日(水)	博物館実習 初日
	22日(土)	コレクション展作品解説会
	27日(木)	博物館実習 最終日
8月	29日(土)	美術鑑賞講座「デザインって何? 2023」
	30日(日)	映画鑑賞会「ディリリとパリの時間旅行」
	11日(金祝)	ベル・エポック展関連イベント「親子で版画ワークショップ リトグラフでミュシャのポスターをつくろう!」
	12日(土)	コレクション展作品解説会
	19日(土)	美術鑑賞講座「ロートレックと世紀末のポスター」
	26日(土)	コレクション展作品解説会
	27日(日)	企画展「華麗なるパリ ベル・エポック展 —フランス・モダン・ポスター」閉会
	3日(日)	コレクション展第2期閉会
	12日(火)	コレクション展第3期開会
	15日(金)	企画展「ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる」開場式および内覧会
9月	16日(土)	企画展「ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる」開会 ベルギーと日本展関連イベント「リレートーク つながる! 太田君と児島君と武石君」
	23日(土祝)	コレクション展作品解説会
	24日(日)	親子ふれあいデー 共催展「第26回新潟県立美術館友の会作品展」開会
	1日(日)	共催展「第26回新潟県立美術館友の会作品展」閉会
	7日(土)	美術鑑賞講座「武石弘三郎の作品を訪ねる」
	9日(月祝)	共催展「第25回亀倉雄策賞受賞記念展 岡崎智弘/三澤遥」開会 亀倉雄策賞受賞記念展関連イベント「開催記念講演会」
	14日(土)	コレクション展作品解説会
	21日(土)	ベルギーと日本展関連イベント「ミニレクチャー&作品実地見学会『友情の双像』」
	22日(日)	共催展「第25回亀倉雄策賞受賞記念展 岡崎智弘/三澤遥」閉会
	28日(土)	美術鑑賞講座「異国に渡った新潟ゆかりの画家たち」
11月	4日(土)	コレクション展作品解説会
	12日(日)	企画展「ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる」閉会
	18日(土)	共催展「第33回MOA美術館長岡児童作品展」開会
	19日(日)	共催展「第33回MOA美術館長岡児童作品展」閉会
	2日(土)	共催展「第26回長岡市中学校美術部作品展」開会
12月	3日(日)	共催展「第26回長岡市中学校美術部作品展」閉会
	13日(水)	共催展「第54回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展」開会 コレクション展第3期閉会
	17日(日)	共催展「第54回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展」閉会
	26日(火)	コレクション展第4期開会
	29日(金)	}
1月	3日(水)	年末年始の休館
	13日(土)	企画展「行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示: 尼崎市コレクション 白髪一雄」開会
	14日(日)	行為と詩情展関連イベント「講演会 白髪作品を味わう」 親子ふれあいデー
	20日(土)	コレクション展作品解説会
	21日(日)	ワークショップ「大人のための日本画ワークショップ 第1回 実践 掛け軸の扱い方・飾り方」
	27日(土)	美術鑑賞講座「企画展より 白髪一雄と同時代の作品を見る。」
	3日(土)	コレクション展作品解説会
2月	4日(日)	ワークショップ「大人のための日本画ワークショップ 第2回 構造を知る ミニ掛け軸を作ろう」
	8日(木)	共催展「2023年度長岡造形大学大学院造形研究科博士(後期)課程修了作品展」開会
	10日(土)	行為と詩情展関連イベント「作品解説会」
	18日(日)	ワークショップ「大人のための日本画ワークショップ 第3回 構造を知る ミニ屏風を作ろう」 共催展「2023年度長岡造形大学大学院造形研究科博士(後期)課程修了作品展」閉会
	24日(土)	コレクション展作品解説会
	25日(日)	行為と詩情展関連イベント「作品解説会」
3月	3日(日)	企画展「行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示: 尼崎市コレクション 白髪一雄」閉会
	ワークショップ「大人のための日本画ワークショップ 第4回 素材を知る 岩絵具を使ってみよう」	
	17日(日)	ワークショップ「大人のための日本画ワークショップ 第5回 素材を知る 金銀箔を使ってみよう」
	31日(日)	コレクション展第4期閉会

令和5年度の流れ（新潟県立万代島美術館）

4月	
5月	7日(日) 企画展「原田治展」閉会
	8日(月) 〃 展示替えの休館
	19日(金)
	19日(金) 企画展「糸で描く物語」開場式
	20日(土) 企画展「糸で描く物語」開会 糸で描く物語関連イベント 出品作家によるトークイベント
6月	3日(土) 糸で描く物語関連イベント ギャラリートーク
	17日(土) 糸で描く物語関連イベント ギャラリートーク
	24日(土) 糸で描く物語関連イベント ワークショップ「『私達のまち』の地図をつくろう」
7月	2日(日) 糸で描く物語関連イベント ワークショップ「刺繍の会」(子ども向け)
	9日(日) 糸で描く物語関連イベント ワークショップ「刺繍の会」(一般向け)
	12日(水) 開館20周年記念日 オリジナル缶バッジプレゼント
	15日(土) 糸で描く物語関連イベント ギャラリートーク
	17日(月・祝) 企画展「糸で描く物語」閉会
	18日(火) 〃 展示替えの休館
	28日(金)
	28日(金) 企画展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」開場式
	29日(土) 企画展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」開会
8月	7日(月) 親子ふれあいデー
9月	24日(日) 企画展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」閉会
	25日(月) 〃 展示替えの休館
10月	6日(金)
	6日(金) 企画展「イッタラ展」開場式
	7日(土) 企画展「イッタラ展」開会
	18日(水) 博物館実習 初日
	21日(土) イッタラ展関連イベント ギャラリートーク
	25日(水) 博物館実習 最終日
	29日(日) イッタラ展関連イベント ワークショップ「自分だけのガラスの箸置きをつくろう！」
11月	19日(日) イッタラ展関連イベント ギャラリートーク
12月	6日(水) イッタラ展関連イベント フィンランド独立記念日「イッタラ展」ポスタープレゼント
	10日(日) 企画展「イッタラ展」閉会
	11日(月) 〃 展示替えおよび展示室・ロビー等の照明改修工事による休館
1月	
2月	21日(水)
	21日(水) 企画展「コシノジュンコ 原点から現点」開場式
	21日(水) 企画展「コシノジュンコ 原点から現点」開会
	25日(日) コシノジュンコ展関連イベント 「コシノジュンコ トークイベント」
3月	18日(月) コシノジュンコ展関連イベント 「県内学生を対象としたコシノジュンコによるギャラリートーク+展覧会鑑賞」

事業報告



常設展(コレクション展)

【趣 旨】

当館では3室あるコレクション展示室において、各室にテーマを設けて所蔵品を展示している。本年度は1993年に当館が開館してから30年を迎えたことを記念し、特別なコレクション展を企画した。第1期「没後50年 横山操」では、現・燕市出身の日本画家・横山操の当館蔵の全作品69点を展示した。第2期は当館の建築設計に関わる資料や当館のコレクションの核となっている大光コレクションの展示を通して当館の成り立ちを紹介したほか、当館のロゴマークをデザインした現・燕市出身のグラフィック・デザイナー亀倉雄策を特集した。また開館記念日の7月15日はコレクション展を無料とした。

第3期では海外に留学した作家を紹介する「異国に渡った芸術家たち」を開催したほか、県ゆかりの作家である三芳悌吉の絵本分野での仕事を紹介した。

第4期では、展示機会が限られる日本画の名品を一室に展示した。同時開催の「反戦への思い」では、戦争に関連する作品を選び、作家それぞれの反戦への思いを作品の中に見つけた。

そのほか、各展示に関連した美術鑑賞講座やワークショップを開催し、当館の所蔵品や展示に関する理解をより深められるよう努めた。

【観覧料】

一般……………430円(340円)

大学・高校生……………200円(160円)

中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 7月15日(土)はコレクション展無料観覧日



第1期 2023年4月11日(火)～6月18日(日)(61日間)

展示室1～3 没後50年 横山操展

没後50年 横山操展

【趣旨】

新潟県出身の日本画家・横山操（1920～1973）は西蒲原郡吉田村（現在の燕市）に生まれ、画家を志して上京、20歳の時に川端龍子の主宰する青龍展に初入選した。復員後も同展で受賞を重ね、1962年の脱退後は無所属で活躍し、多くの意欲作・話題作を発表、戦後日本画壇を代表する一人となった。多摩美術大学教授として後進の指導にもあたったが、脳卒中で倒れて半身不随となり、1973年に53歳の若さで亡くなった。

当館では、青龍社展で最高の青龍賞を受賞した《炎々桜島》（1956年）や青龍社脱退のきっかけとなった《十勝岳》（1962年）を初め、横山操の大規模作品を多数所蔵している。当館開館30周年を記念する本展では、当館所蔵の横山操作品全点を一堂に紹介するとともに、県内の所蔵先からも作品を借用し、現代に相応しい日本画表現を探求し続けた横山操の創作の軌跡を振り返った。

【総括】

●評価すべき点

- ・近年見出された初期作品等の借用をおこない、当館所蔵品だけではたどり切れない画業の全貌を紹介することができた。
- ・多摩美術大学アートアーカイブセンターから画像提供を受けた作家写真を多数展示し、表紙絵を手がけた『中央公論』の「表紙の言葉」を全文掲出するなど、作家の人となりもあわせて紹介できた。

●検討課題

- ・同時開催の企画展と合同でポスター・チラシを作成したが、それ以外には有効な広報手段を見出せず、十分な集客につなげられなかった。

【関連行事】

・美術鑑賞講座

「いつか見たい 日本画家・横山操の傑作30選」

5月27日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：長嶋圭哉（当館主任学芸員）

参加者数：40名

担当 長嶋圭哉

【出品リスト】

展示室 1

作品名	制作年	所蔵
母子	1958	当館
第1章 戦前期—中断された創作活動		
ジャンク船（デザイン画）	1937	燕市教育委員会
全日本産業観光甲府大博覧会（デザイン画）	c1937	燕市教育委員会
裸婦（デザイン画）	c1937	燕市教育委員会
椅子に座る女性	1939	燕市教育委員会
自画像（素描）	1940	燕市教育委員会
隅田河岸	1940	燕市教育委員会
渡船場	1940	燕市教育委員会

第2章 再出発—青龍社での活躍と脱退

カザフスタンの女	1951	当館
月明滞船	c1955	新潟市美術館
港	1958	当館
炎々桜島	1956	当館
新山	1958	長岡市立中央図書館
峡	1959	当館
網	1959	当館
燈台	1959	当館
炎々桜島	c1959	当館
月嶺	1959	当館
MADO（窓）	1959	当館
朔原	1959	当館

展示室 2

作品名	制作年	所蔵
曇れる丘	c1959	当館
潮来の夕	1960	当館
流星	1960	当館
波濤	1960	当館
舞妓	1960	雪梁舎美術館寄託
岳	1959	当館
送電源	1960	燕市教育委員会
湖映	1960	当館
富士	1960頃	当館
むさしの	1961	雪梁舎美術館
陣	不明	当館
十勝岳	1962	当館

第3章 無所属時代—自らの原点を見つめて

秋	1963	当館
雪国	1963	雪梁舎美術館寄託
雪しまく	1963	当館
雪峡	1963	当館
響鐘	1963	雪梁舎美術館
梅薫る	1963	雪梁舎美術館
高速四号線	1964	当館
伊豆	1964	当館
新雪富士	c1964	雪梁舎美術館
ふるさと	1966	当館
赤富士	c1966	雪梁舎美術館
TOKYO	1968	当館
林	1968	当館
朝霧	1969	雪梁舎美術館
春近し	1969	当館
親不知夜雨	1970	当館
野の川	c1972	当館

展示室 3

作品名	制作年	所蔵
別章 「中央公論」表紙絵と屏風絵		
《中央公論》表紙絵 1966年1月号「富士山」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年2月号「川」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年3月号「ウォール街」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年4月号「春」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年5月号「城」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年6月号「ゴンドラ」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年7月号「ナイアガラ」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年8月号「グランドキャニオン」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年9月号「マンハッタン」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年10月号「長城」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年11月号「オランダ」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1966年12月号「エッフェル塔」	1966	当館
《中央公論》表紙絵 1967年1月号「晓富士」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年2月号「雪国」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年3月号「桜島」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年4月号「水郷」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年5月号「鯉のぼりのある風景」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年6月号「奥入瀬」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年7月号「夏の家」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年8月号「白い壁」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年9月号「月」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年10月号「林の道」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年11月号「夕焼け」	1967	当館
《中央公論》表紙絵 1967年12月号「冬山」	1967	当館
満月潮	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年1月号「紅白梅」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年2月号「ノートルダム」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年3月号「武蔵野」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年4月号「利根川」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年5月号「丘の大樹」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年6月号「丘の街」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年7月号「信濃路」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年8月号「考える葦」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年9月号「十五夜」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年10月号「紅葉」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年11月号「秋色落日」	1968	当館
《中央公論》表紙絵 1968年12月号「冬日和」	1968	当館

ロビー

作家名	作品名	制作年
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

回廊

作家名	作品名	制作年
竹田 康宏	Under the leaves	1994

第2期 2023年6月27日(火)～9月3日(日)(61日間)

前期：6月27日(火)～7月30日(日)

後期：8月1日(火)～9月3日(日)

展示室1 開館30周年を記念して ニイガタキンビ誕生の頃

展示室2 大光コレクション

展示室3 亀倉雄策

開館30周年を記念して ニイガタキンビ誕生の頃

【趣旨】

新潟県立近代美術館は長岡の地に1993年(平成5)に開館し、2023年(令和5)で30周年を迎えた。館は新潟地震の復興祈念として新潟市内に建設された「新潟県美術博物館」を前身とし、1981年(昭和56)の「大光コレクション」の収蔵により所蔵作品の質を飛躍的に向上させた。しかし、これらの作品を常設展示公開することは長らく叶わず、新しい独立した美術館の建設が計画された。建設地は長岡の新興市街地が選ばれ、新しい美術館は「新潟県立近代美術館」と命名された。

初代館長の前川誠郎は独自の企画展開催のみならず、美術館の顔でもある「コレクション」をひととき重視し、世界の美術、日本の美術、新潟の美術の収集方針のもと、現在の礎となるコレクションを精力的に築き上げていった。2003年には分館として万代島美術館が建設され、所蔵作品は両館共有となり、現在では6,000点を超えるようになった。開館30周年という節目の年に、その根幹となるコレクションに着目し、開館初期の収集作品や多様な資料から、美術館の原点を振り返った。

【総括】

●評価すべき点

- ・節目となる年に、自館コレクションの成り立ちや、開館当初の理念をあらためて振り返る内容とすることができた。
- ・開館当初を知らない学芸員が増えつつある中で、当時を知る学芸員から、当時の状況を伝え聞く機会になった。

●検討課題

- ・当館の核となる初期コレクション群を十分に展示に活かすことができなかった。

担当 伊澤朋美

大光コレクション

【趣旨】

開館30周年を迎え、当館収蔵品の核となっている大光コレクションの洋画作品に加えて、大光コレクションの一部を構成した長岡現代美術館賞展に出品された作品とを合わせて紹介し、地元にあったコレクションを再確認した。

担当 今井有

【総括】

●評価すべき点

- ・当館収蔵品の核をあらためて示すことで、開館30年間のこれまでの様々な活動の根となる部分を語り、知っていたことができた。
- ・普段あまり展示できていない作品も公開する機会を生むことができ、観覧者の見聞を広められた。

●検討課題

- ・コレクションの一端を紹介しただけであり、全貌を紹介した展覧会から四半世紀以上も経っていることから、あらためて全貌を紹介する機会が必要と感じられた。

担当 松矢国憲

亀倉雄策

【趣旨】

新潟県燕市出身のグラフィックデザイナー、亀倉雄策(1915-1997)について、「ニコン」「東京オリンピック(1964)」「日本万国博覧会(1970)」「スキー」「ヒロシマアピールズ」「明治製菓」「『草月』の仕事」というキーワードに関連する作品を展示。初期から晩年までの代表的な業績を紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・当館が所蔵する800点超の亀倉雄策のポスターから代表的な作品を展示するとともに、同時に制作された色違いバージョンのポスター(《NIKON SP》、《EXPO'70(コンペ提出案)》など)や、パンフレット、雑誌の表紙、パッケージデザインなども展示。当館の豊富なコレクションを活用できた。

●検討課題

- ・まくりのポスターを展示するための展示用具の数が限られている。同時に多くのポスターを展示するためには展示用具の新規制作が必要。

【出品リスト】

展示室1 開館30周年を記念して ニイガタキンピ誕生の頃

作家名	作品名	制作年
宮田 宏平(三代藍堂)	桃李の門	1996
新潟県教育庁 文化行政課発行	新潟県立近代美術館 建設計画 パンフレット(日・英)	c1991
日本設計/新潟 県発行	「新潟県立近代美術館 建設計画 模型写真・透視図集」より 指名設計競技入選案 1990(平成2)年7月 指名設計競技入選案 1990(平成2)年7月 指名設計競技入選案 1990(平成2)年7月 基本設計案 1990(平成2)年10月 基本設計案 1990(平成2)年10月 基本設計案 1990(平成2)年10月 実施設計案 1991(平成3)年7月 実施設計案 1991(平成3)年7月	1992
日本設計	新潟県立近代美術館建設工事設計図 1階平面図(1/500スケール)	1991
日本設計	新潟県立近代美術館建設工事設計図 立面図(1/500スケール)	1991
亀倉 雄策	新潟県立近代美術館 シンボルマーク・ ロゴタイプ関連資料 シンボルマークアルファベット部分 シンボルマーク 格子部分 シンボルマーク試作 シンボルマークレイアウト シンボルマークレイアウト CGを用いた球体のグラフィック ロゴタイプスケッチ 和文ロゴタイプレイアウト 和文ロゴタイプレイアウト 開館ポスター色指定	c1992
亀倉 雄策	新潟県立近代美術館 開館ポスター1993年7月15日(木) 長岡市にOPEN(春)	1992
亀倉 雄策	新潟県立近代美術館 開館ポスター1993年7月15日(木) 長岡市にOPEN(夏)	1992
亀倉 雄策	新潟県立近代美術館 開館ポスター1993年7月15日(木) 長岡市にOPEN(秋)	1992

作家名	作品名	制作年
亀倉 雄策	新潟県立近代美術館 開館ポスター1993年7月15日(木) 1992 長岡市にOPEN(冬)	1992
	新潟県立近代美術館 シンボルマーク・ ロゴタイプ入り封筒、便箋	
	「感動、創造 新潟県立近代美術館 明日 開館」新潟日報」1993年7月14日	
	「すらしり名作 出会いの喜び」 新潟日報」1993年7月15日	
	新潟県立近代美術館開館関連資料 開館記念品(アリス・グレイの肖像) 1993年度 年間スケジュール 1993年度 常設展 チラシ	
李禹煥	コレスボンダンス	1993
李禹煥	コレスボンダンス	1993
C. コロー	ビプリ	1874-75
J. デュプレ	羊飼ひ	c1883
J. E. ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
C. モネ	コロンプの平原、霜	1873
A. ロダン	考える人	1880
F. ボテロ	頭部	1989
【前期】		
J. バルバリ	ヴェネツィア鳥瞰図(第3版)	1500(16世紀 後半の刷り)
【後期】		
A. デューラー	黙示録 第3図 四人の騎者	1498(1511の版)
A. デューラー	黙示録 第8図 食物を食べるヨハネ	1498(1511の版)
A. デューラー	メレンコリアI	1514
企画展「華麗なるバリ ベル・エボック展」関連展示		
F. ヴァロットン	ラ・ベビニエール	1893

展示室2 大光コレクション

作家名	作品名	制作年
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916
萬鉄 五郎	木の間風景	1918
佐伯 祐三	広告塔	1927
長谷川 利行	風景	1931
梅原 龍三郎	紫禁城	1942
鳥海 青児	北海道風景	1943
海老原 喜之助	燃える	1957
児島 善三郎	森と聚落	1958
溝谷 国四郎	裸婦	1923
北川 民次	大地	1939
坂田 一男	椅子による裸婦	1924
牧野 虎雄	サンルーム	1929
小出 楳重	ソファの裸体	1930
安井 曾太郎	読書	1942
藤田 嗣治	私の夢	1947
前田 常作	須弥山居士の図(須弥山マチャリャの図)	1974
阿部 展也	予言者	1954
山口 薫	夜明けの顔	1954
脇田 和	あらし	1955
糸園 和三郎	鳩	1958
坂本 繁二郎	牛	1915
小野 末	闘牛場	1977
吉原 治良	作品	1935
桂 ゆき	異邦人	1961
久野 真	鋼鉄による作品	1963
高橋 秀	ピンクの中の思考	1971
山口 長男	漢	1972
斎藤 義重	「反対称、正八面体プラトンの多面体	1977
長岡現代美術館賞展(駒形十吉記念美術館寄託作品)		
岡本 信治郎	「10人のインディアン」より	1964*
三木 富雄	EAR(耳)	1965*
菊畑 茂久馬	植物図鑑(二)	1965*
篠原 有司男	花魁殺し	1965*
中西 夏之	作品	1964*
高松 次郎	カーテンをあげた女の影	1965*
吉村 益信	クイーン・セミラミスI	1966*
山口 勝弘	作品	1967*
亀倉 雄策	「草月」第92号	1974
亀倉 雄策	「草月」第94号	1974
亀倉 雄策	「草月」第129号	1978
亀倉 雄策	「草月」第135号	1981
亀倉 雄策	「草月」別冊1983	1983
【前期】		
亀倉 雄策	亀倉雄策デザイン研究室(日本木)の様子 1962年	1962
【後期】		
亀倉 雄策	東京オリンピックシンボルマーク 原稿	1960
【ロビー】		
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998
【回廊】		
竹田 康宏	Under the leaves	1994

*は寄託作品

展示室3 亀倉雄策

作家名	作品名	制作年
亀倉 雄策	日本光学工業株式会社	1954
亀倉 雄策	ニコンカメラ	1954
亀倉 雄策	ニッコールレンズ	1954
亀倉 雄策	ニコンSP	1957
亀倉 雄策	ニコンF	1959
亀倉 雄策	ニコンF	1959
亀倉 雄策	ニコンカメラ 取り扱い説明書(英語版)	c1950-54
亀倉 雄策	ニコンS2 取り扱い説明書(日本語版)	1954-57
亀倉 雄策	ニコンS2 取り扱い説明書(日本語版)	1954-57
亀倉 雄策	ニコンS2 製品パンフレット(日本語版)	1954-57
亀倉 雄策	ニコンS2 取り扱い説明書(英語版)	c1954-57
亀倉 雄策	ニコンS2 取り扱い説明書(英語版)	c1954-57
亀倉 雄策	ニコンSP 取り扱い説明書(英語版)	c1957-65
亀倉 雄策	ニコンSP 製品パンフレット(英語版)	c1957-65
亀倉 雄策	ニコンSP 取り扱い説明書(日本語版)	c1957-65
亀倉 雄策	ニコンSP 製品パンフレット(日本語版)	c1957-65
亀倉 雄策	ニコンF 取り扱い説明書(英語版)	c1959-71
亀倉 雄策	東京オリンピック公式ポスター-第3号	1963
亀倉 雄策	東京オリンピック公式ポスター-第1号	1961
亀倉 雄策	東京オリンピック公式ポスター-第2号	1962
亀倉 雄策	東京オリンピック公式ポスター-第4号	1964
亀倉 雄策	東京放送 日本選手活躍に焦点をあわせておくります	1964
亀倉 雄策	19回国民体育大会春季大会/新潟	1964
亀倉 雄策	札幌オリンピック公式ポスター-第2号	1969
亀倉 雄策	札幌オリンピック公式ポスター-第3号	1970

作家名	作品名	制作年
亀倉 雄策	4キロのダウンヒルコース 苗場	1967
亀倉 雄策	粉雪の万座	1968
亀倉 雄策	EXPO'70(日本万国博覧会海外 向け第1号公式ポスター)	1967
亀倉 雄策	EXPO'70(コンベ提出案)	1967
亀倉 雄策	EXPO'70(コンベ提出案)	1967
亀倉 雄策	EXPO'70(日本万国博覧会 海外 向け第3号公式ポスター)	1969
亀倉 雄策	UCLA 日本古典芸能団招聘記念	1981
亀倉 雄策	ヒロシマアピールズ	1983
亀倉 雄策	Design19	1982
亀倉 雄策	The Language of Light	1982
亀倉 雄策	土門拳記念館 文楽	1996
亀倉 雄策	土門拳記念館 千手観音	1996
亀倉 雄策	武満徹フィルムコンサート	1997
亀倉 雄策	明治 ミルクチョココレート パッケージ試作	1971
亀倉 雄策	明治 ミルクチョココレートデラックス パッケージ試作	c1957
亀倉 雄策	明治 チョコレート ハイミルク パッケージ試作	c1957
亀倉 雄策	明治 チョコレート ブラック パッケージ試作	c1957
亀倉 雄策	明治 ロゴ試作	不明
亀倉 雄策	「草月」第86号	1973
亀倉 雄策	「草月」第88号	1974

第3期 2023年9月12日(火)～12月17日(日)(84日間)

前期：9月12日(火)～10月29日(日)
後期：10月31日(火)～12月17日(日)

展示室1 近代美術館の名品—新収蔵品を中心に
展示室2 異国に渡った芸術家たち
展示室3 三芳悌吉 絵本の仕事—科学の眼差し

異国に渡った芸術家たち

【趣旨】

技術を磨くため、あるいは活躍の地を求めて海外へ渡った日本人芸術家の作品を展示し、海外での経験が彼らにもたらした影響を探った。1920年代から30年代を中心に、ヨーロッパ、とりわけパリに滞在した画家や彫刻家、金工家を取り上げた。エコール・ド・パリの画家として活躍した藤田嗣治や佐伯祐三のほか、新潟出身の洋画家の高村真夫や安宅安五郎、日本画家の土田麦僊らも取り上げ、彼らが現地で制作したスケッチや模写、帰国後の作品のほか、手紙や著書などの関連資料なども併せて展示し、新潟ゆかりの作家の足跡も紹介することができた。

【総括】

●評価すべき点

- ・同時期に開催した企画展「ベルギーと日本」に関連する内容を一部に盛り込み、企画展とともに楽しんでもらえるよう試みた。
- ・美術鑑賞講座を開催し、展示の内容をより詳しく紹介することができた。
- ・当館を代表する作品を新たな視点から見せることができた。

●検討課題

- ・海外での体験について、渡航前、帰国後で比較してもらう少し踏み込んで考察した上で、それを作品解説の内容に反映できればよかった。

【関連記事】

●新聞

10月9日(月) 新潟日報朝刊(まいにちふむふむ)「芸術の秋 美術館に行こう」

【関連行事】

- ・美術鑑賞講座
「異国に渡った新潟ゆかりの画家たち」
10月28日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：飯島沙耶子(当館主任学芸員)
参加者数：21名

担当 飯島沙耶子

三芳悌吉 絵本の仕事—科学の眼差し

【趣旨】

新潟出身の画家・三芳悌吉は、洋画家である一方で児童文化に関わる挿絵や絵本の分野でも活躍し、特に科学絵本の分野では、堅実な取材に基づいた特筆すべき仕事を残している。本展ではこの絵本の仕事に焦点をあて、準備段階の資料と共に紹介することで絵本が完成するまでの過程も示した。当館では二冊の絵本の原画とその資料を所蔵するため、会期を二つに分けて一冊分ずつ展示紹介した。

前期は『川とさかなたち』で、川の源流から河口まで、視線を移動しつつ、それぞれの環境とそこに棲む水生生物と周辺の動植物を描いたものである。原画とラフスケッチのほか、多くの川を取材した上での図解と動植物の一覧表や台割案などを展示紹介した。

後期の『ある池のものがたり』は、新潟市に実際に存在した池の、誕生してから無くなるまでを、定点観察的に、時の流れによって変化していく環境や時代を見つめた作品である。当館では原画のほかに「試作」と推敲を重ねた「構想メモ帳」とを所蔵するが、このうち「試作」については、手書きのテキストを書き起こした上で画像データと共にスライドショーとして提示した。

【総括】

●評価すべき点

- ・三芳の絵本の原画だけでなく、丹念な制作過程とそこに伴う三芳の科学的な眼差しと思いを提示することができた。
- ・この展示を機に、「参考資料」として未整理であった『ある池のものがたり』の原画と資料を分類替えすることができた。

●検討課題

- ・絵本の流れの都合上、導線が通常と逆回りにならざるを得なかったが、正しく鑑賞していただくためには、表示だけでなく壁の位置など工夫が必要であった。

担当 宮下東子

第4期 2023年12月26日(火)～2024年3月31日(日)(79日間)

前期：12月26日(火)～2月18日(日)

後期：2月20日(火)～3月31日(日)

展示室1・2 近代美術館の日本画の名品

展示室3 反戦への思い

近代美術館の日本画の名品

【趣旨】

開館30周年を記念して、当館の所蔵品から日本画の名品を展示紹介した。

当館では、近代から現代までの日本画の名品——横山大観、鍋木清方、東山魁夷、加山又造などの作品——を収集してきた。また新潟県が輩出した日本画の巨匠である佐渡出身の土田麦僊、上越出身の小林古径、燕市出身の横山操の三名のみならず、院展で同人となった小島丹濛や日展で活躍した岩田正巳、創画展で活躍した橋本龍美など多くの県出身作家の作品も収蔵している。

本展では、選定した作品を、「明治～戦前の日本画」「戦後の日本画」「現代の日本画」の三つのカテゴリーに分けて展示した。「現代の日本画」の殆どは万代島美術館所管の作品である。

【総括】

●評価すべき点

- ・戦前の日本画作品は、その脆弱性から展示日数が限られるため、まとめて展示できる機会はめったにない。万代島美術館所管の作品も含めた当館の日本画の名品を概観するよい機会となった。
- ・三つの時代に分けて展示することにより、いわゆる日本画を描く画家たちの考え方や興味の変遷が自ずと浮かび上がる展示となった。
- ・この展覧会に関連させて、日本画にまつわる多方向からの連続ワークショップを実施した。これにより“日本画”に関心のあるシニア層の知的好奇心を刺激し、満足感を高めることができた。

●検討課題

- ・制作系のワークショップでは、想定時間より長い時間が必要であることがわかった。余裕を持った時間を想定することが望ましい。

【関連行事】

・ワークショップ

「大人のための日本画ワークショップ」

第1回 実践 掛軸の扱い方・飾り方

2024年1月21日(日) 14:00～15:30 ギャラリー

講師：神尾顕斗氏（表具師）

参加者数：12名

第2回 構造を知る ミニ掛軸を作ろう

2024年2月4日(日) 14:00～16:00 ギャラリー

講師：宮下東子（当館専門学芸員）

参加者数：12名

第3回 構造を知る ミニ屏風を作ろう

2024年2月18日(日) 14:00～16:00 講座室

講師：宮下東子（当館専門学芸員）

参加者数：12名

第4回 素材を知る 岩絵具を使ってみよう

2024年3月3日(日) 14:00～16:00 ギャラリー

講師：財田翔悟氏（日本画家）

参加者数：12名

第5回 素材を知る 金銀箔を使ってみよう

2024年3月17日(日) 14:00～16:00 ギャラリー

講師：財田翔悟氏（日本画家）

参加者数：10名

担当 宮下東子

反戦への思い

【趣旨】

当館コレクションの中から、戦争に関連する作品を選出した。戦争を体験したとき、あるいは振り返るとき、作家の目に映る光景はどんなものだったのか。寂しさ、悲しさ、虚しさの中から湧き上がる反戦への思いを展示紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、パレスチナ・ガザ地区でのイスラエルの軍事行動等、世界ではいたるところで多くの人々が犠牲になり続けている。戦争が他人事ではなくなっている今、私達が戦争を考える糸口の一つとなればと、国内外の戦争に関する幅広い作品を、年代を追いながら紹介。様々な状況の中で反戦への思いを抱き、力強く道をひらこうとする作家の足跡を紹介することができた。

●検討課題

- ・解説文もいくつか用意したが、当時の社会情勢に関するもの、人々の生活状況に関するものなど、より多くの資料を準備していれば、もっと深く作品を味わうことができたのではないかと考える。

担当 金澤健志



【出品リスト】

展示室1・2 近代美術館の日本画の名品

作家名	作品名	制作年
明治～戦前の日本画		
【前期】		
下村 観山	入日	1915
橋本 雅邦	秋景山水図	c1892
小野 竹喬	黍熟るる島	1917
鍋木 清方	春の夜のうらみ	1922
土田 麦僊	芥子	1926
小林 古徑	飛鶴	1930
宇田 荻邨	鷹ヶ峰	1933
尾竹 越堂	徒渡り	1913
尾竹 国親	巴	1930
尾竹 竹坡	大地円	1925
【後期】		
小林 古徑	雨	1917
菱田 春草	放鶴	1904
鍋木 清方	桜姫	1923

横山 大観	早春	1924
中村 岳陵	嵐山朝陽・東山夕照	1926
竹内 栖鳳	睡郷	1930
土田 麦僊	山茶花	1933
小杉 放菴	春秋屏風	1937
山本 丘人	湖上嶺	1951
岩田 正巳	浜名を渡る源九郎義経	1936
奥村 土牛	少女図	1926
戦後の日本画		
加山 又造	月と駱駝	1957
麻田 鷹司	諸那智	1960
白倉 嘉入	比叡山	1962
工藤 甲人	夜	1963
東山 魁夷	森の静寂	1964
下村 良之介	翼	1980
横山 操	炎炎桜島	1956
小島 丹濑	待つ	1965
三輪 晃勢	満	1965

三輪 晃久	森	1977
大矢 紀	風渡る	1999
村山 徑	朝の火山	1978
山崎 隆夫	砂丘晩夏	1985
橋本 龍美	風之唄	1981
現代の日本画		
林 潤一	緑韻苜蓿	1985
米谷 清和	街一朝	1986
村田 茂樹	道二題	1991
平松 礼二	ノルマンディの夢の季	1998
竹内 浩一	ぶどうに雨	2001
箱崎 睦昌	瀬	1999
中野 嘉之	野火	2000
千住 博	WATERFALL	2000
長沢 明	BOOKBOARD-Blue	1999
菅原 健彦	円形のジャングルジム	1993

展示室3 反戦への思い

作家名	作品名	制作年
K.コルヴィッツ	母と二人の子	1932-36
石井 柏亭	出雲雄姿（下図）	1938
山下 新太郎	木更津航空隊行幸（下図）	1943
三芳 悌吉	パラシュート制作工場（東京藤沢無線）	1945
三芳 悌吉	講談社宛軍事郵便	1938-39**
三芳 悌吉	歯車の廃墟	1950
阿部 展也	太郎	1949
阿部 展也	作品	1949
阿部 展也	子供	1950
阿部 展也	埋葬	1952
阿部 展也	あらそい	1952
脇田 和	あらし	1955
桑原 実	断絶の子ら	1969
桑原 実	生への折り	1973
【前期】		
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ41 炎をくぐって逃げる	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ42 すべては元の木阿彌だ	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ43 これもそうだ	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ44 私は見た	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ45 そしてこれも見た	1810

K.コルヴィッツ	《戦争シリーズ》1 犠牲	1922-23
K.コルヴィッツ	《戦争シリーズ》2 志願兵	1922-23
K.コルヴィッツ	《戦争シリーズ》3 両親	1922-23
谷中 安規	戦争版画集1 騎馬	1933
谷中 安規	戦争版画集2 探索	1933
谷中 安規	戦争版画集3 攻撃	1933
谷中 安規	戦争版画集4 川	1933
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 豊島区雑司が町1945年	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 文京区竹早町1945年5月	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 文京区竹早町1945年5月	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 半地下壕、1945年8月	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 半地下壕、1945年8月	1945/200 再プリント
江口 草玄（久男）	人が人を殺す戦、戦はいや	2013

【後期】		
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ46 これは悪い	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ47 この通りに起きた	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ48 あまりにもむごい！	1810

F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ49 ある女の慈善	1810
F. ゴヤ	《戦争の惨禍》シリーズ50 かわいそうなお母さん！	1810
K.コルヴィッツ	《戦争シリーズ》5 未亡人II	1922-23
K.コルヴィッツ	《戦争シリーズ》6 母親	1922-23
K.コルヴィッツ	《戦争シリーズ》7 群集	1922-23
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」浅草、震 災記念堂をのぞむ 1945年9月	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 国会議事堂 1945年9月	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」焼けた銀座通り、 手前は三越、奥は松屋 1945年9月	1945/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 銀座 1946年7月	1946/2001 再プリント
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」 新宿 1946年	1946/2001 再プリント

ロビー		
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

回廊		
竹田 康宏	Under the leaves	1994

**は個人蔵

企画展



望郷の画家 橋本龍美展 — 神も、庶民も、バケモノも

【趣旨】

新潟県の加茂市に生まれた橋本龍美は、幼い頃、毎夜乳母が語ってくれる夜噺に心をふるわせ、また年に一度の青海神社の祭の華やかさや、そこで掛かる見世物小屋の蛇娘やサーカスに心ときめかせながら、四季折々の自然を満喫しつつ、多感な少年時代を過ごした。

独学により画家を志した龍美は、新制作協会の日本画部に出品しはじめ、やがて幼少時の原風景を描いた独特の画風により受賞を重ねて中央画壇に躍り出る。現代日本美術展や国際美術展にも出品し、新世代の登場と高い評価を得た。

創画会の創立会員になってからも、龍美は、夜を跋扈する妖怪たちをユーモラスに描き、そして次第に懐かしい故郷の自然とそこに暮らす人々の姿を描くようになる。その根っこはすべて幼い時代の原風景であり、さらにそこには森羅万象に神が宿るといふ日本古来の宗教観が存在するものと思われる。

本展では、平成28年に亡くなった橋本龍美の初めてとなる大規模な回顧展により、その画業を振り返るものである。同時に〈異色の作家〉と呼ばれ評価の高かった郷土の知られざる画家を、掘り起こし、改めて顕彰し、再評価するものである。

【総括】

●評価すべき点

- ・助成金により、橋本龍美の資料をできる限り掲載した図録を発行することができた。これまで基礎資料となる冊子がなかったことから、画家を知るための貴重な一冊とすることができた。
- ・作家の地元・加茂市の在住者が多く訪れ、自身が暮らす地や祭、そこから輩出した画家に誇りを持った様子が窺えた。
- ・県内のみならず県外からも観覧者が訪れ、また図録も入館者に対する購入率が14.4%と高かっただけでなく、来館できない人からの購入要望が全国から寄せられるなど、作家の掘り起こしと再評価はある程度達成できたと思われる。

- ・観覧者数こそ少なかったものの、高齢層のほか、若い層やカップル、親子連れなど幅広い年齢層が来館し、展示作品への高い評価がアンケートやツイッターに寄せられた。

●検討課題

- ・メディアと組んだ実行委員会方式ではなかったこともあり、広報手段に限られた。新聞やテレビ局等の取材を促すことができる手段の工夫が必要である。
- ・素材・技法が全作品同じだったことからキャプションに記載しなかったが、知りたかったという声が多く聞かれた。

【開催日・その他】

=2023年4月15日(土)～6月4日(日) (45日間)=

休館日：4月17日(月)、4月24日(月)、5月8日(月)、5月15日(月)、5月22日(月)、5月29日(月)

主催：新潟県立近代美術館

後援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、長岡新聞社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7

協力：加茂市、加茂市教育委員会

観覧料：一般……………1,200円(1,000円)

大学・高校生……………1,000円(800円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

【関連行事】

- ・ギャラリートーク
4月16日(日)、5月14日(日)、6月4日(日) 14:00~ 企画展示室
講師：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：15名、25名、35名
- ・ワークショップ「さがすとみつかる 作者のココロがみえてくる!？」
5月1日(月) 14:00~ 企画展示室
ナビゲーター：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：7名
- ・こどもワークショップ「お絵描き好きな子 集まれ 変身! お化け地蔵」
5月5日(金・祝) 14:00~16:00 講座室
講師：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：9名
- ・美術鑑賞講座「橋本龍美の世界—神も庶民もバケモノも—」
5月20日(土) 14:00~ 講堂
講師：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：60名

【図録】

仕様：250×250mm 104頁
編集：新潟県立近代美術館 宮下東子、飯島沙耶子
製作：株式会社第一印刷所
発行：新潟県立近代美術館
内容：ごあいさつ
謝辞
橋本龍美の画業——望郷・望郷・望郷……懐かしい
加茂での体験を糧に／宮下東子
図版
初期作品
原風景の発見
黒と白
色彩の世界へ
畏敬の念—恐怖と敬虔と
夜凜の化け物たち
見世物小屋の蛇娘
おちぞうさん
神仏への畏敬

望郷の唄
ふるさとの姿
庶民へのまなざし
そして、望郷・望郷・望郷
中国への旅
笑う神々
(絶筆)

資料編

主要作品
橋本龍美 年譜
橋本龍美 参考文献一覧
論文等再掲

新聞および図録掲載

橋本龍美の世界 脈打つ人間模様
うねる画面手間の軌跡／菊地美秋
日報抄／『新潟日報』
橋本龍美の世界—個展に寄せて／林紀一郎
橋本龍美の絵画に見る“故郷の変容”／藤嶋俊會
橋本龍美 市井の暮らしを描き、飄逸を生きる
／藤嶋俊會
橋本龍美追悼展 あふれる故郷への 思い／藤嶋俊會
橋本龍美画伯との出会い／田倉明雄

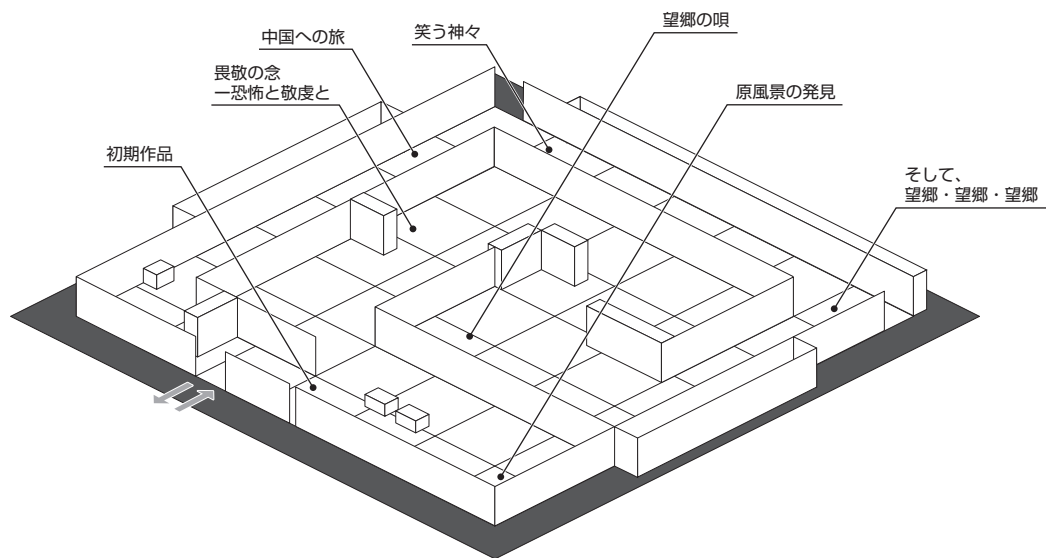
テレビ番組インタビュー

新新潟美術散歩 記憶の中の幻想 橋本龍美／
テレビ新潟放送網
土曜美の朝 望郷曼陀羅 日本画家 橋本龍美／
NHK

橋本龍美原稿

出品目録





【関連記事】

●新聞

4月1日(土) 新美術新聞
「ふるさとよ——妖怪と、ユーモアと、共感と、信仰と」/
宮下東子
4月25日(火) 新潟日報文化欄
「郷愁、悲哀に潜むかわいさ」/宮下東子

その他 長岡新聞 (4/1)
十日町タイムス (4/8)
妻有新聞 (4/8)
十日町新聞 (4/13)
新潟日報 (4/21)
朝日新聞 (4/22)
読売新聞 (4/26)

●WEB

5月1日(月) ケンオー・ドットコム ニュースタック
5月20日(土) WebSkip
その他 アートアジェンダ (3月下旬)
Fashion Press (4月上旬)
東北電力おでcafé (4/15)
日刊にいがた (4月下旬)

●雑誌

カルチャーにいがた 3～5月
ナジラビ県央版 3/20
美術の窓 4月号
街角こんぱす 4月号
長岡市政だより 4月
新潟情報 4/5
週刊郡山ザ・ウィークリー 4/8

ナジラビ長岡・見附版 4月号
月刊にいがた 5月号
FAMILY Komachi 5月号
月刊新潟こまち 6月号

●テレビ

4月23日(日)/4月30日(日) NHK 日曜美術館アートシーン

●ラジオ

FMながおか インフォメーション

●その他

3月15日(水) 加茂市史だより「日本画家・橋本龍美と加茂祭」/宮下東子

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	2,457
	前売	—
無料観覧者数	招待	776
	無料	244
	免除	213
総観覧者数		3,690
有料率 (%)		66.6

担当 宮下東子

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	形状	初出展覧会	所蔵先	
初期作品						
1	母子像	昭和27	1952	額装	第16回新制作展（第5回日本画部） 初入選	
2	枯れた向日葵	昭和29	1954	額装	第18回新制作展（第7回日本画部） 入選	
3	木	昭和30	1955	額装	第19回新制作展（第8回日本画部） 入選	
4	哀（A）	昭和37	1962	額装	第26回新制作展（第15回日本画部） 入選	
原風景の発見						
5	祭鉾	昭和40	1965	額装	第29回新制作展（第18回日本画部） 新作家賞	
6	堂	昭和41	1966	額装	第18回新制作日本画春季展 春季展賞	
7	お化地藏	昭和41	1966	額装	第7回現代日本美術展 コンクール賞	
8	よんよこ	昭和41	1966	額装	第7回現代日本美術展	
9	祭り人	昭和41	1966	額装	第30回新制作展（第19回日本画部） 新作家賞	
10	見世物	昭和41	1966	額装	第30回新制作展（第19回日本画部） 新作家賞	
11	唱合	昭和43	1968	額装	第8回現代日本美術展（招待出品）	
12	ガマチソウ	昭和44	1969	額装	第21回新制作日本画春季展 春季展賞	
13	お化地藏	昭和46	1971	額装	第23回新制作日本画春季展 春季展賞	
14	化寺	昭和46	1971	額装	第23回新制作日本画春季展 春季展賞	
15	祭馬	昭和42	1967	額装	第31回新制作協会（第20回日本画部） 入選	
16	祭紋Ⅱ	昭和43	1968	額装	第32回新制作展（第21回日本画部） 入選	
17	五平之鶏	昭和43	1968	額装	第20回新制作日本画春季展 入選	
18	うわばみと貢 ⁽¹⁾	昭和45	1970	額装	第22回新制作日本画春季展 春季展賞	
19	森のこだま	昭和46	1971	額装	第35回新制作展（第24回日本画部） 新作家賞（会員推挙）	
20	祭鉾	昭和50	1975	額装	第1回春季創画展	
21	化寺	昭和45	1970	額装	第34回新制作展（第23回日本画部） 新作家賞	
22	カラスウリ	昭和45	1970	額装	第34回新制作展（第23回日本画部） 新作家賞	
畏敬の念―恐怖と敬虔と						
23	化くらべ	昭和49	1974	額装	第1回創画展	
24	百本足寺	昭和47	1972	額装	第36回新制作展（第25回日本画部）（会員）	
25	山・白毫	昭和46	1971	額装	第15回シエル美術賞展	
26	お化寺	昭和50	1975	額装	第2回創画展	
27	祭之詩	昭和51	1976	額装	第3回創画展	
28	祭之詩（蛇娘）	昭和52	1977	額装	第4回山種美術館賞展	
29	祭郷の唄	昭和55	1980	三曲一隻屏風	第7回創画展	
30	郷	昭和52	1977	額装	第3回春季創画展	個人蔵
31	風之唄	昭和56	1981	三曲一隻屏風	第8回創画展	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
32	草深し	昭和60	1985	額装	第11回春季創画展	個人蔵
33	草ん中	昭和61	1986	額装	第12回春季創画展	
34	葉月	昭和63	1988	額装	第14回春季創画展	個人蔵
35	む	平成12	2000	額装	第26回春季創画展	個人蔵
36	神馬	昭和54	1979	額装		個人蔵
37	神馬	制作年不明		額装		
38	樹下涅槃	昭和57	1982	三曲一隻屏風	第9回創画展	個人蔵
望郷の唄						
39	冬門	昭和50	1975	額装	第3回山種美術館賞展	
40	慈光冬門	昭和53	1978	額装	第5回創画展	
41	山河在り	昭和54	1979	額装	第6回創画展	新潟市美術館
42	赤壁	昭和60	1985	三曲一隻屏風	第12回創画展	箱根・芦ノ湖 成川美術館

43	懸月	制作年不明		額装		個人蔵
44	春きたるらし	昭和59	1984	額装	第10回春季創画展	個人蔵
45	望郷四季	昭和61	1986	三曲一隻屏風額装	第13回創画展	長澤敬一氏
46	みょうたん	昭和62	1987	三曲一隻屏風	第14回創画展	
47	町づら、裏づら	昭和63	1988	四曲一隻屏風	第15回創画展	
48	冬之門	平成6	1994	四曲一隻屏風	第21回創画展	加茂市

そして、望郷・望郷・望郷						
49	青海之森(仰景青海神社青海之森)	昭和57	1982	額装	新潟日報社屋完成・創刊40周年記念「越佐の美」掲載	加茂市
50	清翠加茂市末廣之図	制作年不明		額装		加茂市
51	宮山之四季	平成4	1992	三曲一隻屏風	第19回創画展	
52	ドン、カッカ、ドン	平成5	1993	四曲一隻屏風	第20回創画展	
53	望郷六図	平成10	1998	六曲一隻屏風	第25回創画展	
54	御祭奠	平成13	2001	六曲一隻屏風	第28回創画展	
55	オンパレード	平成4	1992	額装	ギャラリー彩個展	個人蔵
56	空高く	平成7	1995	額装	第21回春季創画展	加茂市
57	万華	平成7	1995	四曲一隻屏風	第22回創画展	
58	童のうたが聞こえる	平成16	2004	六曲一隻屏風	第31回創画展	
59	沼来迎	昭和53	1978	額装	彩鳳堂個展	個人蔵
60	来迎	昭和53	1978	額装	彩鳳堂個展	個人蔵
61	八蛙八踊	昭和61	1986	額装	爽流会展	加茂商工会議所

中国への旅						
62	大地漫行	平成8	1996	六曲一隻屏風	第23回創画展	
63	万里漫行	平成9	1997	六曲一隻屏風	第24回創画展	
64	大地吟愁	平成11	1999	六曲一隻屏風	第26回創画展	

笑う神々						
65	泰平らく	昭和59	1984	三曲一隻屏風	第11回創画展	
66	大わらい	平成10	1998	額装	第24回春季創画展	
67	メツチャカおんど	平成14	2002	四曲一隻屏風	第29回創画展	

68	蛇姫(未完)			六曲一隻屏風	絶筆	
----	--------	--	--	--------	----	--





華麗なるパリ ベル・エポック展 フランス・モダン・ポスター 京都工芸繊維大学美術工芸資料館コレクション

【趣旨】

19世紀末から20世紀初頭にかけてのいわゆる「ベル・エポック」と呼ばれる時代はフランス近代ポスターの黄金期として知られている。本展では、京都工芸繊維大学美術工芸資料館が所蔵する当時の代表的ポスター約130点を、世紀末の「アール・ヌーヴォー」と、1920年代に一世を風靡した「アール・デコ」という二つの芸術様式を軸に紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・ベル・エポック期のポスターは当館の西洋版画コレクションと時代的に重なる芸術品である。また同時に、街角を彩る広告として文化や社会的背景を知る入口でもある。本展を開催したことは、版画史上の名品を紹介すると同時に、近代フランスやパリの生きた文化を多角的に見せるという二つの点で意義があった。
- ・京都工芸繊維大学美術工芸資料館 平芳幸浩氏の提案により、1900年パリ万博幻燈写真を投影するスクリーンを設置。BGMとしてドビュッシーのピアノ曲を流し、好評を得た。
- ・近隣施設との協働として、長岡造形大学に協力を依頼し、広報印刷物の斬新なデザインが実現し、リトグラフのワークショップなど密度の濃い普及事業を実施できた。

●検討課題

- ・ロートレックやミュシャ、カッサンドルなど著名な作家の作品を多数含み、見ごたえのある展覧会であったが、入場者数が目標を大きく下回った。実際に足を運んだ観覧者は当時のポスターの大きさや技法の見事さに感銘を受けていたが、「ポスター」という名称から現代の印刷物を連想して敬遠した向きも多かったことが推測される。展覧会内容を事前に徹底周知する工夫が今後の課題である。

【開催日・その他】

=2023年7月1日(土)~8月27日(日) (51日間)=

休館日：7月3日(月)、7月10日(月)、7月18日(火)、7月24日(月)、7月31日(月)、8月7日(月)、8月21日(月)

主催：新潟県立近代美術館、UX新潟テレビ21、「華麗なるパリベル・エポック」展新潟実行委員会

企画協力：青幻舎プロモーション

協力：長岡造形大学、新潟県立美術館友の会

後援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日報社、長岡新聞社、FM新潟77.5、FMながおか80.7

観覧料：一般……………1,300円(1,100円)<(1,100円)

大・高生……………1,100円(900円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※< >内は前売券料金

【関連行事】

- ・講演会「ベル・エポックとデザイン アール・ヌーヴォーからアール・デコまで」

7月1日(土) 14:00~15:30 講堂

講師：平芳幸浩氏（京都工芸繊維大学美術工芸資料館教授）

参加者数：37名

- ・映画鑑賞会「ディリリとパリの時間旅行」

7月30日(日) 14:00~ 講堂

参加者数：41名

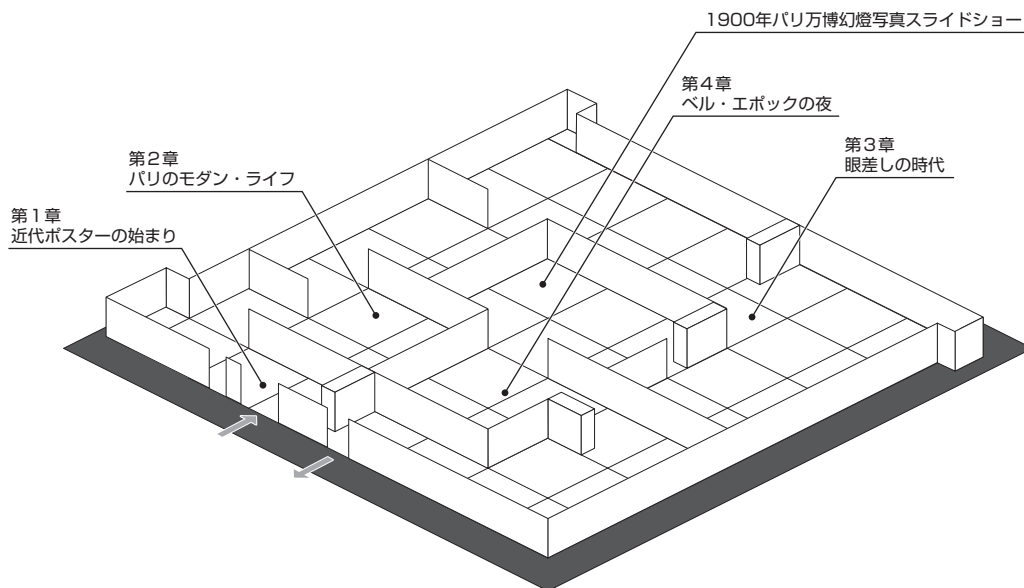
- ・美術鑑賞講座

「デザインって何？ 2023」

7月29日(土) 14:00~15:30 講堂

講師：藤田裕彦（新潟県立万代島美術館長）

参加者数：37名



「ロートレックと世紀末のポスター」
 8月19日(土) 14:00~15:30 講堂
 講師：平石昌子（当館専門学芸員）
 参加者数：55名

・親子で版画ワークショップ「リトグラフでミュシャのポスターをつくろう！」
 8月11日(金) ①9:30~12:00、②13:30~16:00
 講師：岡谷敦魚氏（長岡造形大学美術・工芸学科准教授）
 参加者数：①11名、②10名

・親子ふれあいデー 中学生以下の子を同伴する保護者（2名まで）の観覧料が無料
 7月9日(日)
 参加者数：保護者78名、子ども46名

・ぬりえコーナー 会期中設置

【図録】

『フランスのポスター 京都工芸繊維大学美術工芸資料館デザインコレクション2』
 編 著：平芳幸浩
 監 修：京都工芸繊維大学美術工芸資料館
 発行所：青幻舎 2022年



【関連記事】

●新聞

その他 妻有新聞（6/17）
 長岡新聞（6/10）
 十日町タイムス（6/18）
 十日町新聞（6/8）
 越南タイムズ（8/10）

●雑誌

月刊にいがた7月号 ART
 月刊新潟こまち9月号
 月刊山形ZERO6月27日号

●WEB

7月24日(月) WebSkip
 7月25日(火) 長岡造形大学ホームページ
 お知らせ「華麗なるパリ ベル・エポック展」のグラフィックを吉川准教授がデザインしました！」

●テレビ

7月1日(土) UX新潟テレビ21『まるどりっ！ up』『いまだり』
 7月25日(火) UX新潟テレビ21『スーパー Jにいがたプラスアイ』『早ミミ探検隊』
 6月30日(金) 佐渡テレビジョン

●ラジオ

FMながおか「長岡人の輪地域の和」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	5,219
	前売	867
無料観覧者数	招待	1,091
	無料	641
	免除	512
総観覧者数		8,330
有料率 (%)		73.1

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年
第1章 近代ポスターの始まり シェレそしてロートレック			
1	ジュール・シェレ	サクソレーヌ燈油	1894
2	ジュール・シェレ	サクソレーヌ燈油	1891
3	ジュール・シェレ	日本版画博覧会	1890
4	ジュール・シェレ	ル・モンド・アルティスト誌	1891
5	ジュール・シェレ	帽子の市	1892
6	ジュール・シェレ	風邪薬ジェローデル錠	1892
7	ジュール・シェレ	フランス海難者遺族の為の慈善祭	1893
8	ジュール・シェレ	P. L. M. 鉄道 オーヴェルニュ	1892
9	ジュール・シェレ	「1894年度謝肉祭第2回仮面舞踏会」オペラ劇場	1894
10	ジュール・シェレ	「華麗なるバントマイム」ミュゼ・グレヴァン	1892
11	ジュール・シェレ	「ロータスの花」フォリー・ベルジェール座	1893
12	ジュール・シェレ	「カミーユ・ステファール二公演」カジノ・ド・パリ座	1894
13	ジュール・シェレ	「パリーシカゴ」エッフェル塔劇場	1893
14	ジュール・シェレ	「ルイズ・バルティ公演」アルカザール・デ・テ座	1893
15	ジュール・シェレ	パレ・ド・グラス	1893
16	ジュール・シェレ	「無節操な婦人」ル・ラディカル誌掲載	1894
17	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892
18	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	「歓楽の女王」ヴィクトール・ジョズ著	1892
19	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	「ラ・ルヴュ・ブランシュ」誌	1895
第2章 パリのモダン・ライフ			
20	ジョルジュ・ド・フル	インド王宮紅茶	1894
21	A・ペルトラン	ストークの代用バター	1922頃
22	作者不詳	満月印 pasta	1922頃
23	ルネ・ルロン	濃縮牛乳オランダア	1922頃
24	作者不詳	エーグル農場の無菌牛乳	1895頃
25	フィルマン・ブイセ	リュのビスケット	1897
26	里見宗次	ブルターニュのクレープ・ダンテル	1929
27	アンリ・ギュスターヴ・ジョッソー	ディジョンの生姜入り菓子パン	1894
28	モリイ	極上F. B. コーヒー	1922頃
29	ジョルジュ・ムニエ	食前酒ロックス	1895
30	アルベール=アンドレ・ギョーム	黄金の葡萄酒	1895頃
31	アルベール=アンドレ・ギョーム	イヴリー酒店 ワイン、ビール、シードルなど	1895
32	M・シマス	リュディヴィアヌ・リキユール	1896
33	リオネット・カビエルロ	ル・ピュイ特産 食前酒モラン	1906
34	D・アン	食後酒ラ・ジュラシエンヌ	1922頃
35	ミシュ	規那入葡萄酒ミショー	1922頃
36	ジュール・イスナール・ドランシー	ニコラ葡萄酒店	1925頃
37	ジャノエル	コルマル名産、ジャコペール桜桃酒	1926
38	モーリス・レアリエ=デュマ	ガス燈ベック・アウアー	1892
39	イノー	耐熱・耐光塗料アゾル	1921
40	リオネット・カビエルロ	ル・ニル煙草	1912
41	ジョルジュ・デルヴァル	通のためのファップ・アニス酒	1925
42	アングレッシ	ル・ヴァテル社のコンロ	1922頃
43	アリ	驚印テニス・シューズ	1923
44	アルベール=アンドレ・ギョーム	帽子屋 デュリオン新装開店	1896以前
45	レム	クリシイ広場にて/季節の新商品	1899
46	アルベール=アンドレ・ギョーム	J. V. ボンの歯磨	1895頃
47	ヴィラ	シモン・クリーム 衛生と美容の為の粉石鹸	1922頃
48	作者不詳	中央自転車教習場	1894
49	ユーゴ・ダレジ	デコヴィーユ自転車	1895
50	アンリ・ティリエ	グリフィス自転車	1898
51	バル	リベラトル自転車・自動車	1895
52	作者不詳	クレマン自転車社製の自動車	1899頃
53	Ch・アレ	ヴァンデ、サントンジュ、大西洋沿岸への旅行。フランス国鉄	1922頃
54	ジュリアン・ラカース (?)	ピレーネ地方屈指の温泉保養地コーテレ	1922頃
55	マトシー	ノルマンディ地方へ	1934
56	ネヴィ (?)	ノルマンディーの女性があなたを歓迎します	1921頃
57	アドルフ・ムーロン・カッサンドル	エトワール・デュ・ノール (北の星号)	1927
58	アドルフ・ムーロン・カッサンドル	ノルマンディ号	1935
59	里見宗次	K. L. M. オランダ航空	1933
60	里見宗次	P. L. M. 鉄道コート・ダジュール	1934
61	シャルル・ルボ	ブジョー自動車	1926
62	ベルナルド・ヴィユモ	フランス航空 東京ーパリ間就航	1952
第3章 眼差しの時代			
63	ジョルジュ・ド・フル	『パリ年鑑』	1894
64	ルイ・アンクタン	ユーモア週刊誌『ル・リール』	1894

65	モーリス・ドニ	『ラ・デペーシュ』紙	1892
66	ピエール・ボナール	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌	1894
67	モーリス・レアリエ=デュマ	『パリ・モード』誌	1893
68	エドモン・プティジャン	『パリ・ヴィヴアン』誌	1890
69	ジャンオ (?)	絵入新聞、『自由の騎士』刊行	1895頃
70	アルベール=アンドレ・ギョーム	『ジル・ブラ』誌	1896
71	ジャン=ルイ・フォラン	女流芸術展「世紀のパリジェンヌ」産業館	1892
72	モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ	『ル・モンド・モデルヌ』3月	1896以前
73	アンリ・カロ=デルヴェイユ	月刊雑誌『ラール・デコラティブ』	1900頃
74	カルロス・シュヴァーベ	第1回薔薇+十字会展	1892
75	アドルフ・レオン・ヴィレット	商工業製品万国博覧会	1893
76	ジョルジュ・アントワヌ・ロシュグロス	「自動車・自転車・スポーツ展」グラン・パレ	1901
77	ウジュヌ=サミュエル・グラッセ	「第1回装飾芸術博覧会」ブチ・パレ	1904
78	ミスティ	「花祭」ブローニュの森	1896
79	F・ギャレ	パリ見本市	1920頃
80	ギィ・アルヌー	歴代フランス將軍大回顧展	1922
81	リオネット・カビエルロ	サロン・デ・ユモリスト展	1922
82	モリー	「第1回海外のフランス展」グラン・パレ	1935
83	エミール=アントワヌ・ブルデル	現代国際産業装飾美術博覧会 1925年	1925
84	シャルル・ルボ	現代国際産業装飾美術博覧会 1925年	1925
85	ソロー・マクドナルド	「戦争による傷痍芸術家の為のカナダ美術展」ジュ・ド・ボーム美術館	1927
86	ジャン=ヴィクトール・デズミュール	1931年パリ万国植民地博覧会	1931
87	D・デュフェリアヌ	大植民地博覧会	1922
88	ジャン・ドロワ	1924年 第8回パリ・オリンピック大会	1924以降
89	ジャン・ディラン	『レクレール』誌	1920
90	マニュエル・オラジ	「舞踏宮」1900年パリ万国博	1900
91	マニュエル・オラジ	「ロイ・フラー劇場」1900年パリ万国博	1900
*		1900年パリ万博幻燈写真スライドショー	

第4章 ベル・エポックの夜

92	ジョルジュ・ムニエ	「第3回仮面舞踏会」オペラ劇場	1895
93	パル	「トレダード女の掠奪」ブッフ・パリジャン劇場	1896頃
94	アンリ・グレイ	「第3回仮面舞踏会」オペラ劇場	1893
95	ルイ・アングタン	マルグリット・デュフェ公演	1891頃
96	ジグ・ブリュネ	「ミ・カレム仮面舞踏会」オペラ劇場	1922頃
97	ガブリエル・ドンク	「モリエール舞踏会」オペラ劇場	1922
98	アルベール=アンドレ・ギョーム	「ジゴレット」アンビーグ・コミック	1894
99	アルベール=アンドレ・ギョーム	「デュクレルク公演」アンバッサドゥール座	1895頃
100	ジョルジュ・ド・フォル	「エドメ・レズコ」カジノ・ド・パリ座	1890
101	ジョルジュ・ムニエ	「仮面舞踏会」プリエ舞踏場	1894
102	ロベール・デュボン	「ラ・グリユ」ニース・オペラ劇場	1910頃
103	ジョルジュ・アントワヌ・ロシュグロス	歌劇「ジスモンダ」	1890年代
104	ヤン・トーロブ	劇「救われたヴェネチア」	1895
105	シャルル・ジェスマール	レスリー	1924
106	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	「イヴェット・ギルベール公演」アンバッサドゥール座	1894
107	レーデル	夜会「流浪の芸術家」ムーラン・ルージュ	1897
108	レーデル	ラ・ルロット	1900以前
109	クレリス兄弟	オペレッタ「恋する三人娘」	1912
110	ジュール・グリユン	オペレッタ「ココロコ」	1913
111	R・ド・ヴァレリオ	オペレッタ「唇を重ねましょう」	1925
112	G・ルンデウ	「ポール・ウィットマン公演」アンバッサドゥール座	1926
113	シャルル・ルカス	「ピュティファー夫人」アテネ・コミック劇場	1900以降
114	H・ラシエール	オペレッタ「歌う風車」	1930頃
115	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	シャ・ノワール	1896
116	ジェオ・ドリヴァル	オペレッタ「離婚した女」	1920年代
117	ジョルジュ・ドラ	オペレッタ「マリツァ伯夫人」	1930
118	イヴ・マルヌリー	オペレッタ「小籠」	1930頃
119	ロジェ・シャンセル	オペレッタ「シャリヴィッチ」	1930年代
120	R・ラロッシュ	オペレッタ「あの女房」	1930-40年代
121	ウジュヌ=サミュエル・グラッセ	演劇「ジャンヌ・ダルク」	1889/90
122	アルフォンス・ミュシャ	ジスモンダ	1894
123	アルフォンス・ミュシャ	椿姫	1896
124	フェルディナン・バック	「イヴェット・ギルベール公演」スカラ座	1893
125	アルフレド・ミュラー	サダ・ヤッコ	1899-1900
126	パル	「ロイ・フラー・ショー」フォリィ・ベルジェール座	1900
127	フェルディナン・バック	「ロイ・フラー・ショー」フォリィ・ベルジェール座	1892
128	シャルル・ジェスマール	「ミスタンゲット」ムーラン・ルージュ	1926
129	シャルル・ジェスマール	「ヴェラ・セルジーヌ公演」パリ劇場	1927頃
130	シャルル・ジェスマール	ローズ・エイミー	1928以前
131	オルシ	「ラ・ルヴュ・ネーグル」エトワール劇場	1925
132	G・K・ベンダ	リリアン・パロン	1925頃



ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる

【趣旨】

目黒区美術館、高梁市成羽美術館との3館共同企画。各館の館蔵作家であり、戦前、パリ留学が主流であった中で、少数だがベルギーに留学した画家の太田喜二郎と児島虎次郎、新潟出身の彫刻家・武石弘三郎の作品を軸に構成。

太田と児島は、ともにゲントの市立美術学校に通い、ベルギーの印象派の画家、エミール・クラウスからも学ぶ。彼らが学んだベルギー印象派と日本におけるその受容について検証した。

武石は、ブリュッセル王立美術学校を優秀な成績で卒業し、帰国後は肖像彫刻家として人気を博した。武石の、アールヌーヴォーが興隆した当時のベルギー彫刻の影響が見られる作品を展示したほか、戦前の日本で「炭坑夫の彫刻家」として人気のあったベルギーの彫刻家、コンスタンタン・ムーニエの日本への紹介者としての一面にも焦点を当てた。

この3人の作家と彼らに関連するベルギーや日本の作家以外に、当時の印刷物による紹介や、日本とベルギーの繋がりを示す展覧会などにも着目し、様々な切り口から戦前の日本におけるベルギー美術の受容について検証した。

【総括】

●評価すべき点

- ・郷土作家に光を当てた学術性の高い展覧会の実施は、県立美術館として意義深いものである。学芸員による自主企画展を行う機会が少ない中、他館と情報交換しながら共同企画を実現できる貴重な機会となった。
- ・ベルギー美術受容の観点から、郷土作家の新たな一側面を紹介することができた。

●検討課題

- ・当館の観覧者のコアとなる愛好家層以外への集客につなげることができなかった。
- ・従来実施している以上の新しい広報のアイデア、広報手段の新規開拓を工夫。

【開催日・その他】

＝2023年9月16日(土)～11月12日(日) (50日間)＝

休館日：9月19日(火)、9月25日(月)、10月2日(月)、10月10日(火)、10月16日(月)、10月23日(月)、10月30日(月)、11月6日(月)

主催：ベルギーと日本展実行委員会、新潟県立近代美術館

助成：(一財)地域創造

後援：ベルギー大使館、新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日报社、長岡新聞社、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7

観覧料：一般……………1,200円(1,000円)

大学・高校生……………1,000円(800円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

【関連行事】

- ・リレートーク「つながる！太田君と児島君と武石君」

9月16日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：山田真規子氏(目黒区美術館学芸員)、碓京子氏(高梁市成羽美術館学芸員)、伊澤朋美(当館学芸員)

参加者数：28名

- ・ミニレクチャー&作品実地見学会「友情の双像」

10月21日(土) 10:00～12:00

集合場所、ミニレクチャー会場：中之島コミュニティセンター
見学場所：若宮神社

講師：伊澤朋美(当館学芸員)

参加人数：24名

- ・親子ふれあいデー 中学生以下の子を同伴する保護者(2名まで)の観覧料が無料

9月24日(日)

参加者数：保護者27名、子ども28名

【図録】

仕様：B5判 168頁

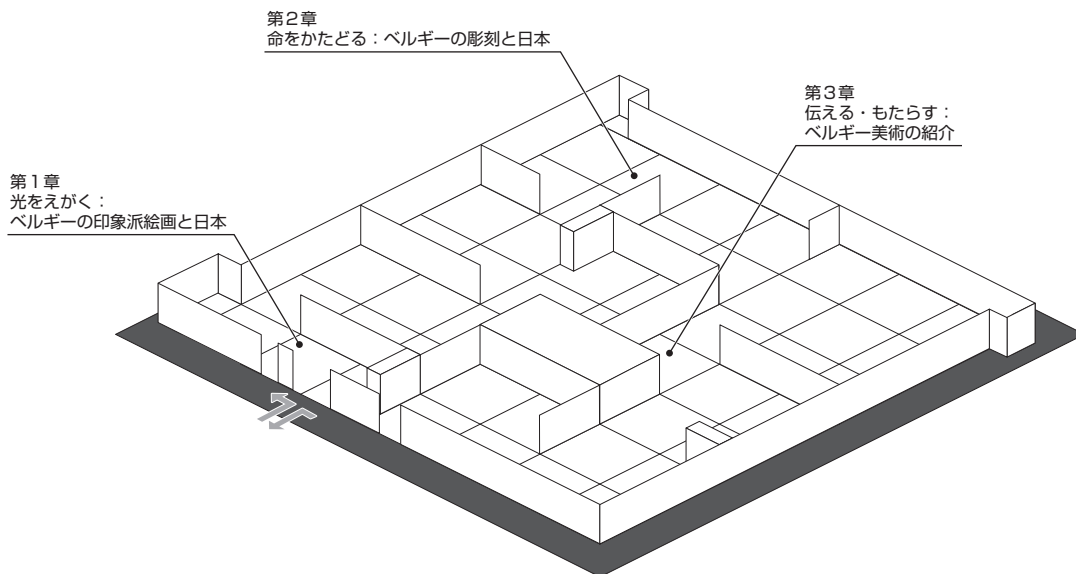
執筆：伊澤朋美(当館学芸員)

迫内裕司(小杉放電記念美術館学芸員)

山田真規子(目黒区美術館学芸員)

吉尾梨加(高梁市成羽美術館学芸員)





編集：伊澤朋美
 翻訳：水谷慶子
 デザイン：酒井田成之（酒井田デザイン事務所）
 印刷：山田写真製版所
 内容：「戦前の日本における近代ベルギー美術の受容」（山田真規子）

第1章 光をえがく：ベルギーの印象派絵画と日本

- 1 白馬会とウィッツマン
- 2 太田喜二郎と児島虎次郎のベルギー留学
 - [1] ベルギーの画家たち
 - [2] 太田喜二郎のベルギー留学
 - [3] 児島虎次郎のベルギー留学
- 3 日本の印象派
 - [1] 外光派と印象派
 - [2] 帰国後の児島虎次郎
 - [3] 帰国後の太田喜二郎
 - [4] 斎藤豊作と吉田苞

第2章 命をかたどる：ベルギーの彫刻と日本

- 1 武石弘三郎のベルギー留学
- 2 コンスタンタン・ムーニエの衝撃
 - [1] コンスタンタン・ムーニエ
 - [2] ムーニエに影響を受けた日本の彫刻家

第3章 伝える・もたらす：ベルギー美術の紹介

- 1 児島虎次郎によるベルギー美術の紹介
- 2 ベルギーと日本の友好の証：震災と震災のチャリティー展
 - [1] 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「恤兵美術展覧会」
 - [2] 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「欧州大家絵画展覧会」
 - [3] 関東大震災とベルギー大使ド・パッソンピエール
- 3 フェリシアン・ロップス：官能と諧謔
- 4 瀧口修造とルネ・マグリット

「武石弘三郎のベルギー」（伊澤朋美）
 「コンスタンタン・ムーニエと日本」（迫内祐司）
 「児島虎次郎と太田喜二郎」（吉尾梨加）
 作家解説
 戦前の日本における近代ベルギー美術の受容年表

戦後の主要参考文献
作品リスト

【関連記事】

- 新聞
 - 8月30日(水) 新潟日報
「友情の双像」見学しよう
 - 9月17日(日) 新潟日報
「彫刻家・武石弘三郎（長岡出身）ら企画展 ベルギー修業美の結晶」
 - 10月5日(木) 新潟日報
「展覧会へようこそ」 / 伊澤朋美

- その他 長岡新聞 (8/19)
 新潟日報 (8/30)
 十日町新聞 (9/7)
 妻有新聞 (9/16)

- 雑誌
 - 月刊にいがた 9月号

- WEB
 - 10月17日(火) WebSkip

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	1,817
	前売	—
無料観覧者数	招待	714
	無料	360
	免除	333
総観覧者数		3,224
有料率 (%)		56.4

担当 伊澤朋美

【出品リスト】

- 作品・資料名のうち、本展主催者による仮題のものには、*印を付した。
- 寸法については、平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行とし、単位をcmとした。
- 展示期間が限定されるものは、展示期間の欄に具体的な期間を記した。
- 会場によって、展示されない資料・作品がある。本会場で展示されないものについては、展示の有無の欄に×印を付した。

番号	制作者名	作品・資料名	制作・発行年	材質技法・形状	寸法	所蔵者	展示期間	展示の有無
第1章 光をえがく：ベルギーの印象派絵画と日本								
1 白馬会とウィッツマン								
1	中沢弘光（原作：ロドルフ・ウィッツマン）	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	80.2×100.1	東京藝術大学		
2	ロドルフ・ウィッツマン	水汲み婦、ブラバンの夕暮れ	19世紀	油彩・キャンバス	78.4×98.3	東京国立博物館	10/17 ～11/12	
3	ロドルフ・ウィッツマン	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	100.0×80.3	東京藝術大学		
4	ロドルフ・ウィッツマン	水に映ずる家	制作年不詳	油彩・キャンバス	81.9×66.1	石橋財団 アーティゾン美術館		
2 太田喜二郎と児島虎次郎のベルギー留学								
(1) ベルギーの画家たち								
5	ジャン＝ジョセフ・デルヴァン	連馬	制作年不詳	油彩・キャンバス	81.5×110.5	大原美術館		
6	エミール・クラウス	レイエ川の水飲み場	1897(明治30)年	油彩・キャンバス	90.5×117.0	姫路市立美術館		
7	エミール・クラウス	フランドル地方の収穫	1904(明治37)年頃	油彩・キャンバス	200.0×220.0	姫路市立美術館		
8	エミール・クラウス	冬の果樹園	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	89.3×116.3	大原美術館		
9	ヴィクトール・ド・ビュット	太田喜二郎の肖像	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	73.3×50.0	京都府(京都文化 博物館管理)	10/17 ～11/12	
(2) 太田喜二郎のベルギー留学								
10	太田喜二郎	エスコー河岸	1909-1910(明治42-43)年	油彩・キャンバス	52.0×73.0	高梁市成羽美術館		
11	太田喜二郎	雪の朝	1910-1911(明治43-44)年	油彩・キャンバス	74.2×50.0	目黒区美術館		
12	太田喜二郎	樹陰	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	89.0×115.0	京都市美術館		
13	太田喜二郎	乳屋の娘	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	101.0×75.0	京都国立近代美術館		
14	太田喜二郎	少女	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	100.0×80.0	京都府(京都文化 博物館管理)	10/17 ～11/12	
15	太田喜二郎	窓辺の婦人像	1911-1912(明治44- 明治45・大正元)年	油彩・キャンバス	131.0×97.0	京都府(京都文化 博物館管理)	9/16 ～10/15	
16	太田喜二郎	風景	1908-1913(明治41- 大正2)年	油彩・キャンバス	65.2×50.1	目黒区美術館		
17	太田喜二郎	赤い日傘	1912(大正元)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	新潟大学		
(3) 児島虎次郎のベルギー留学								
18	児島虎次郎	川辺の風景	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	32.0×40.0	高梁市成羽美術館		
19	児島虎次郎	ランプと暖炉	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	81.0×64.7	高梁市成羽美術館		
20	児島虎次郎	和服を着たベルギーの婦人	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	81.0×64.5	高梁市成羽美術館		
21	児島虎次郎	和服を着たベルギーの少女	1910(明治43)年	油彩・キャンバス	116.0×89.5	高梁市成羽美術館		
22	児島虎次郎	家族	1910(明治43)年	油彩・キャンバス	114.0×162.0	高梁市成羽美術館		
23	児島虎次郎	男の裸像(1)	1909(明治42)年頃	油彩・キャンバス	73.3×55.0	高梁市成羽美術館		
24	児島虎次郎	* 太田喜二郎旧蔵の板絵 (和服を着たベルギーの 少女 [小さな隣人])	制作年不詳	油彩・板	33.0×24.0	個人蔵		
25	児島虎次郎	* 太田喜二郎旧蔵の板絵 (緑陰)	制作年不詳	油彩・板	23.0×32.5	個人蔵		
26-1		* 太田喜二郎旧蔵の生命 と光 (Vie et Lumière) 第7回展の目録	1911(明治44)年	冊子	18.2×12.3	個人蔵		
26-2		* 太田の留学中の名刺	—	名刺	5.0×8.8	個人蔵		
27-1	児島虎次郎	* 止宿先の公園にて太田喜 二郎と虎次郎	1909(明治42)年頃	写真	17.5×13.0	個人蔵		
27-2	児島虎次郎	* 太田喜二郎のモデル	1909(明治42)年頃	写真	9.0×12.0	個人蔵		
27-3	児島虎次郎	* 虎次郎撮影のジャン＝ ジョセフ・デルヴァン	1909-1912(明治42-45)年	写真	17.5×13.0	個人蔵		
27-4	児島虎次郎	* 虎次郎撮影のエミール・ クラウス	1910(明治43)年4月	写真	12.0×9.0	個人蔵		
27-5	武石弘三郎	* 弘三郎撮影のエミール・ クラウス	制作年不詳	写真	9.0×12.0	個人蔵		
27-6		* 武石弘三郎下宿ユックル のリーグール邸に集う、武 石、太田、リーグール夫妻	1908(明治41)年6月	絵葉書	8.8×13.8	個人蔵		
3 日本の印象派								
(1) 外光派と印象派								
28	黒田清輝	昼寝	1894(明治27)年	油彩・キャンバス	49.8×61.0	東京国立博物館	9/16 ～10/15	
29	久米桂一郎	夏の夕(鎌倉)	1894(明治27)年	油彩・キャンバス	42.3×55.0	東京藝術大学		

(2) 帰国後の児島虎次郎						
30	児島虎次郎	花鋏を持つ婦人	1913(大正2)年	油彩・キャンバス	161.0×116.0	高梁市成羽美術館
31	児島虎次郎	酒津の農夫	1914(大正3)年	油彩・キャンバス	162.0×114.5	高梁市成羽美術館
32	児島虎次郎	親牛仔牛	1916(大正5)年	油彩・キャンバス	111.0×90.0	高梁市成羽美術館
33	児島虎次郎	酒津の秋	1917(大正6)年	油彩・キャンバス	87.5×115.0	高梁市成羽美術館
34	児島虎次郎	ブリュージュ舟宿	1920(大正9)年	油彩・キャンバス	130.0×162.5	高梁市成羽美術館
(3) 帰国後の太田喜二郎						
35	太田喜二郎	麦秋	1914(大正3)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	高梁市成羽美術館
36	太田喜二郎	暖かき日	1915(大正4)年	油彩・キャンバス	116.0×90.0	高梁市成羽美術館
(4) 斎藤豊作と吉田苞						
37	斎藤豊作	フランス風景Ⅲ	1910(明治43)年頃	油彩・キャンバス	41.0×47.0	埼玉県立近代美術館
38	斎藤豊作	羊飼い	1906-1912(明治39-明治45・大正元)年	油彩・キャンバス	45.3×38.0	目黒区美術館
39	吉田苞	朝のマロニへの道 (ベルギー・ブルージュ)	1921(大正10)年頃	油彩・キャンバス	100.0×80.5	個人蔵 (岡山県立美術館寄託)
40	吉田苞	赤い支那傘	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	91.0×116.8	岡山県立美術館
41	吉田苞	初秋	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	112.5×146.0	株式会社天満屋
42	吉田苞	酒津の庭	1927(昭和2)年	油彩・キャンバス	117.0×94.0	岡山県立美術館

第2章 命をかたどる：ベルギーの彫刻と日本

1 武石弘三郎のベルギー留学

43	藤島武二	T氏肖像	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	35.0×26.0	神奈川県立近代美術館
44	武石弘三郎	婦人像	1907-1911(明治40-44)年	大理石	45.0×48.0×24.0	神奈川県立近代美術館
45	武石弘三郎	長女萬里子の像	制作年不詳	大理石	41.0×31.7×28.0	神奈川県立近代美術館
46	武石弘三郎	母	1917(大正6)年	ブロンズ	35.0×20.5×25.5	当館
47	武石弘三郎	海	1928(昭和3)年	大理石	145.0×62.0×19.0~38.5	神奈川県立近代美術館寄託
48	武石弘三郎	裸婦浮彫	1939(昭和14)年	大理石	96.0×75.8×9.0~13.0	当館
49		『生活美術』1巻3号、アトリエ社	1941(昭和16)年11月	雑誌	25.8×18.1	当館
50	* 《武石弘三郎絵葉書 (加藤恒忠 [拓川] 関連資料より)》			はがき	各14.0×9.0程度	正岡子規研究所
50-1	* 武石弘三郎の肖像、ユックルにて 1908年2月8日					
50-2	* 《婦人像》(正面) 1905年4月5日					
50-3	* アトリエで大作を制作中のジュリアン・ディレンス 1904年10月10日					
50-4	* モデルを前に制作中の武石 1904年12月15日					
50-5	* 石膏像が陳列された美術学校の廊下 1905年7月13日					
50-6	* 武石弘三郎と堀口九萬一・スチナ夫妻、リグール夫妻、堀口岩 1908年12月2日					
50-7	* リエージュ万国博覧会 (Palais des Fêtes) 1905年8月10日					
50-8	* 武石弘三郎と野口駿尾、ユックルにて 1907年5月17日					
50-9	* イタリア旅行先からの葉書 (チェッリーニ《ベルセウス像》) 1909年4月8日 ?					
50-10	* ジュリアン・ディレンスの作品 1905年2月13日					
50-11	* ジュリアン・ディレンスのアトリエ 1906年10月10日					
50-12	* 自作と並ぶ武石弘三郎 ?年10月29日					
50-13	* 加藤恒忠に近況を伝える手紙 (ヨルダーンズ《酒を飲む王様》) 1908年1月9日					
50-14	* フランス旅行先からの葉書 (パリ、アレクサンドル3世通りの景観) 1904年5月18日					
50-15	* 自作と並ぶ武石弘三郎 1905年					
50-16	* ユックルでの饗宴 1907年11月21日					
50-17	* ユックルでの会合 1907年8月17日					
50-18	* ジュリアン・ディレンスのアトリエ 1905年2月13日					
50-19	* パリのサロンの絵葉書 (A. MAUGUET “LA CIGALE”) 1904年5月19日					
50-20	* フランス旅行先からの葉書 (ポール・デュボア《ポール・ボードリーの墓碑》) 1904年5月18日					
50-21	* ミッテルケルケの加藤夫婦に宛てた葉書 (アール・ヌーヴォー調のイラスト) 1905年9月22日					
50-22	* 武石弘三郎の肖像、ユックルにて 1906年3月14日					
50-23	* 男性肖像彫刻 1905年4月					
50-24	* 《婦人像》(斜め向き) 1905年4月4日					
50-25	* イタリア旅行先からの葉書 (ボンベイ遺跡) 1909年3月20日					
50-26	* リエージュ万国博覧会 (Promenade en gondole) 1905年8月4日					
特別出品	* ブリュッセル王立美術学校 最高試験 最高賞 金メダル			メダル	直径5.5	個人蔵
			1906(明治39)年発行 (1960(昭和35)年頃再発行)			

2 コンスタンタン・ムーニエの衝撃

(1) コンスタンタン・ムーニエ

51	コンスタンタン・ムーニエ	坑夫たち	1890年代	水彩、木炭・紙	30.4×22.8	姫路市立美術館
----	--------------	------	--------	---------	-----------	---------

9/16
~10/1

52	コンスタンタン・ムーニエ	炭坑夫の碎	制作年不詳	油彩・キャンパス	50.7×38.2	東京藝術大学
53	コンスタンタン・ムーニエ	坑夫 (平櫛田中旧蔵)	制作年不詳	ブロンズ	18.3×23.7	東京藝術大学
54	コンスタンタン・ムーニエ	*坑夫 (太田喜二郎旧蔵)	制作年不詳	ブロンズ	19.5×25.2	個人蔵
55	コンスタンタン・ムーニエ	摺錬工	制作年不詳	石膏着色	17.7×9.5×6.3	個人蔵
56		『白樺』1巻5号	1910(明治43)年8月 (1988年の復刻版)	雑誌	22.1×15.0	当館
57	武者小路実篤	『荒野』、警醒社書店	1908(明治41)年	書籍	19.2×13.0	調布市 武者小路実篤記念館
58		『學生 世界偉人号』4巻10号、富山房	1913(大正2)年9月	雑誌	22.3×15.0	当館
(2) ムーニエに影響を受けた日本の彫刻家						
59	荻原守衛	坑夫	1907(明治40)年	ブロンズ	47.5×45.5 ×33.5	東京国立近代美術館
60	藤井浩祐	トロを待つ坑婦	1914(大正3)年	ブロンズ	113.0×44.0 ×26.0	東京国立近代美術館
61	吉田三郎	老坑夫	1919(大正8)年	ブロンズ	105.0×67.0 ×118.0	東京国立近代美術館
62	吉田三郎	或る坑夫	1942(昭和17)年	ブロンズ	32.0×30.0 ×34.5	石川県立美術館
63	齋藤素蔵	丹那トンネル殉職慰霊碑レリーフ	1935(昭和10)年	石膏着色		小平市
63		左			78.0×107.0	
64		右			78.0×106.5	
65~ 68	齋藤素蔵	東京株式取引所本館建築装飾	1931(昭和6)年	ブロンズ		小平市
65		「農業」			61.5×29.0 ×33.0	
66		「商業」			61.5×31.0 ×31.0	
67		「工業」			65.0×31.0 ×30.0	
68		「交通」			64.0×29.0 ×35.0	
69	浅野孟府	労働者習作	1988(昭和63)年/ 1930(昭和5)年原型制作	ブロンズ	41.5×27.5 ×27.5	国立国際美術館
第3章 伝える・もたらす：ベルギー美術の紹介						
1 児島虎次郎によるベルギー美術の紹介						
70	レオン・フレデリック	花	1920(大正9)年	油彩・キャンパス	74.8×62.5	大原美術館
71	ウジェーヌ・ラルマン	小径	1918(大正7)年	油彩・キャンパス	141.5×103.0	大原美術館
72	フランソワ・パイク	*室内風景	1920(大正9)年頃	油彩・板	36.7×38.0	個人蔵
73	フランソワ・パイク	*古い切妻屋根の家並、ドラブ 通り、ゲント	1920(大正9)年頃	エッチング・紙	42.0×55.0	個人蔵
74	児島虎次郎	日記	1922(大正11)年9月30日	日記	19.0×12.7	個人蔵
75		『東京府美術館主催 泰西美術展 覧會圖録 大原孫三郎氏蒐集』	1928(昭和3)年2月1日発行	冊子	21.0×14.0	高梁市成羽美術館
76	カール・デ・コック	*ジャン・テルヴァンの肖像	1913(大正2)年	ブロンズ	10.5×15.5 ×4.5	個人蔵
2 ベルギーと日本の友好の証：戦災と震災のチャリティー展						
(1) 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え 「恤兵美術展覧會」						
77		『恤兵美術展覧會目録』	1914(大正3)年12月	冊子	18.5×12.8	久米美術館
78	ラファエル・コラン	夏の野	1888(明治21)年頃	油彩・キャンパス	46.6×55.6	久米美術館
79	黒田清輝	編物	1890(明治23)年	油彩・キャンパス	48.7×59.2	東京国立博物館 10/17 ~11/12
80	黒田清輝	庭	1890(明治23)年	油彩・キャンパス	47.0×62.0	東京国立博物館 9/16 ~10/15
81	澤部清二郎	初夏のカフェ	1912(明治45)年	油彩・板	32.5×24.7	目黒区美術館
(2) 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え 「欧州大家絵画展覧會」						
82-1		『三越』8巻6号	1918(大正7)年6月	雑誌	24.7×18.1	株式会社三越伊勢丹
82-2		『三越』8巻7号	1918(大正7)年7月	雑誌	24.7×18.1	株式会社三越伊勢丹
83	フランク・ブラングィン	パンを焼く男たち	1908(明治41)年	エッチング・紙	51.2×65.1	東京国立博物館
84	フランク・ブラングィン	ヘントの古い家	1906(明治39)年	エッチング・紙	55.3×60.4	東京国立博物館
85	フランク・ブラングィン	船を曳く人々	1906(明治39)年	エッチング・紙	53.8×79.9	東京国立博物館
(3) 関東大震災とベルギー大使ド・パッソンピエール						
86		『ヴァン・ド・レーヌ作品展覧會目録』	1934(昭和9)年12月	冊子	22.9×13.7	個人蔵
87		『歐洲繪畫展覧會目録』	1936(昭和11)年3月	冊子	28.0×22.8	個人蔵
88	ジュール・ヴァン・ド・レーヌ	鏡の前	1952(昭和27)年頃	油彩・キャンパス	90.1×69.9	石橋財団 アーティゾン美術館
89	ジュール・ヴァン・ド・レーヌ	牡丹	制作年不詳	油彩・板	50.0×60.0	姫路市立美術館

3 フェリシアン・ロップス：官能と諧謔							
90	原比露志	『ロップス研究 匂へる園 臨時増刊』	1932(昭和7)年9月	書籍	26.4×19.3	個人蔵	
91	原浩三	『ロップス画集』	1933(昭和8)年4月	書籍	26.4×19.0	個人蔵	
92	フェリシアン・ロップス	スフィンクス	1884(明治17)年	エリオグラヴール・和紙	16.2×24.0	姫路市立美術館	×
93	フェリシアン・ロップス	好奇心の強い女	1885(明治18)年	エリオグラヴール、ドライポイント・レイド紙	13.5×9.3	姫路市立美術館	×
94	フェリシアン・ロップス	生贄I	制作年不詳	エリオグラヴール、ソフトヴァーニッシュ、ルーレット、エッチング、ドライポイント・紙	24.1×16.1	姫路市立美術館	9/16 ~10/15
95	フェリシアン・ロップス	年老いた召使I(第5版)	1874-1875(明治7-8)年	エリオグラヴール、アクアチント、ドライポイント・紙	12.5×9.0	姫路市立美術館	10/17 ~11/12
96	フェリシアン・ロップス	誘惑(第2版)	1867(慶応3)年	エッチング、ドライポイント・紙	7.8×6.3	姫路市立美術館	×
97	フェリシアン・ロップス	リュパニー(第3版)	1867(慶応3)年	エッチング、ドライポイント・紙	9.5×5.9	姫路市立美術館	×
98	フェリシアン・ロップス	赤ちゃん(第1版)	1876(明治9)年	エッチング、ドライポイント・紙	12.1×9.0	姫路市立美術館	10/17 ~11/12
99	フェリシアン・ロップス	カルセルランプに照らされた女	1876(明治9)年	ソフトヴァーニッシュ・紙	22.6×16.9	姫路市立美術館	×
100	フェリシアン・ロップス	戦うビーナス	1875(明治8)年	ドライポイント・紙	15.1×10.3	姫路市立美術館	×
101	フェリシアン・ロップス	成熟	1887(明治20)年	ソフトヴァーニッシュ、ドライポイント、アクアチント・紙	16.7×12.8	姫路市立美術館	9/16 ~10/15
102	フェリシアン・ロップス	骸骨を見る女とジャックマールの門番	制作年不詳	エッチング、ソフトグランドエッチング、ドライポイント・ウォーヴ紙	10.5×14.8	姫路市立美術館	×
103	フェリシアン・ロップス	小さなモデル(第1版)	1879(明治12)年	エッチング、ドライポイント・紙	14.8×11.0	姫路市立美術館	×
104	フェリシアン・ロップス	毛皮の上に座る女	1875(明治8)年	エリオグラヴール・ウォーヴ紙	10.4×12.7	姫路市立美術館	10/17 ~11/12
4 瀧口修造とルネ・マグリット							
105		『海外超現実主義作品展目録』	1937(昭和12)年6月	冊子	19.0×13.3	個人蔵	
106		『みづゑ 臨時増刊 海外超現実主義作品集 Album Surréaliste』	1937(昭和12)年5月	雑誌	25.9×19.0	個人蔵	
107	瀧口修造	『みづゑ』第414号	1939(昭和14)年6月	雑誌	26.0×19.0	個人蔵	
108	ルネ・マグリット	《言葉と絵》『シュールレアリストの革命』第12号	1929(昭和4)年12月(1975年の複製版)	書籍	29.4×21.0	個人蔵	
109	ルネ・マグリット	博学な樹	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	65.0×75.0	新潟市美術館	
110	ルネ・マグリット	ジョルジェット	1935(昭和10)年	油彩・キャンバス	65.0×75.5	姫路市立美術館	
111	ルネ・マグリット	再開	1965(昭和40)年	油彩・キャンバス	40.5×33.0	東京富士美術館	





行為と詩情 — ACTION & POETRY

特別展示：尼崎市コレクション 白髪一雄

【趣旨】

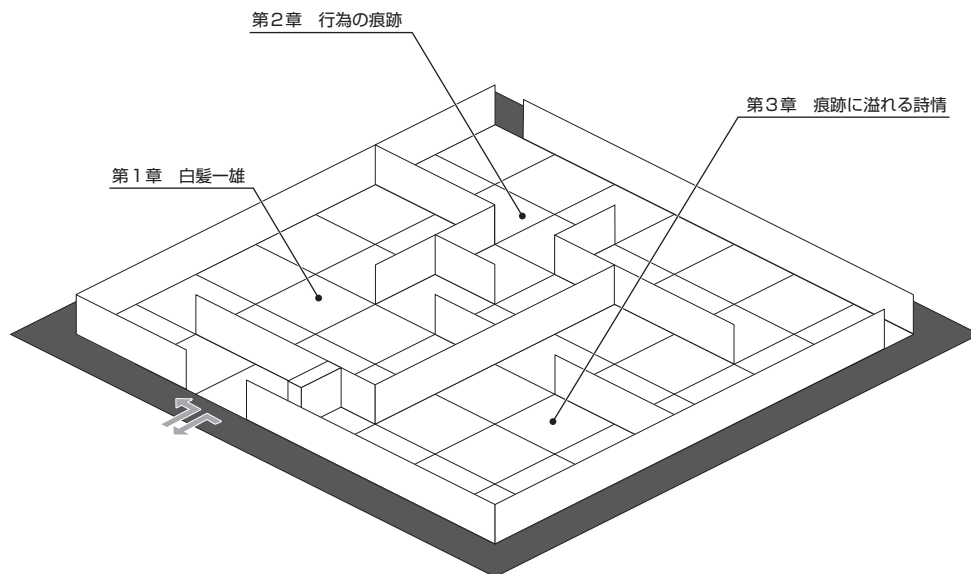
具体美術協会の中心メンバーとして戦後日本の前衛美術を牽引した白髪一雄の業績を広く発信することを目的とした兵庫県尼崎市の「白髪一雄発信プロジェクト」と当館との共同により開催。尼崎市と当館が所蔵する白髪作品に、当館所蔵の元永定正、斎藤義重、末松正樹、江口草玄、難波田龍起らの作品を加えた約80点を「白髪一雄」「行為の痕跡」「痕跡に溢れる詩情」の三部構成で展示した。

【総括】

- 評価すべき点
 - ・国際的に評価の高い白髪一雄の代表作を紹介できたほか、当館のコレクションを十分に活用し、所蔵作品についての理解も深めていただける機会となった。
 - ・尼崎市による輸送費・保険料の負担により、全体経費を抑えながら冬季の企画展を4年ぶりに開催することができた。
 - ・自主企画展が少ない中、他館と情報交換しながら共同で展覧会を実現できる貴重な機会となった。
 - ・展示作業期間中や会期中に能登半島地震の余震があったが、作品に事故なく会期を終えることができた。
- 検討課題
 - ・有料広告の展開は予算上不可能で、ポスターチラシも部数が少なかつたため、広報手段はかなり限られたものとなった。

【開催日・その他】

- ＝2024年1月13日(土)～2月25日(日) (38日間)＝
 休館日：1月15日(月)、1月22日(月)、1月29日(月)、2月5日(月)、
 2月13日(火)、2月19日(月)
 主催：新潟県立近代美術館、尼崎市
 後援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会
 観覧料：一般……………1,000円(800円)
 大学・高校生……………800円(600円)
 ※中学生以下は無料
 ※ () 内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

- ・講演会「白髪作品を味わう」
1月14日(日) 13:00～14:30 講堂
講師：平井章一氏（関西大学文学部教授）
参加者数：38名
- ・美術鑑賞講座「企画展より 白髪一雄と同時代の作品を見る。」
1月27日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：松矢国憲（当館学芸課長）
参加者名：28名
- ・作品解説会
①2月10日(土) ②2月25日(日)
各日14:00～15:00 企画展示室
参加者数 ①18名 ②12名
- ・親子ふれあいデー 中学生以下の子を同伴する保護者（2名まで）の観覧料が無料
1月14日(日)
参加者数：保護者25名、子ども26名

【関連記事】

- 新聞
1月14日(日) 新潟日報
「迫力の抽象画に心奪われ 長岡・県立近代美術館で企画展」

その他 十日町新聞（12/21）
妻有新聞（1/13）
- 定期刊行物
月刊ギャラリー1月号
「Special Exhibition3 行為と詩情—ACTION&POETORY
特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄」
- WEB
尼崎市公式ホームページ
尼崎市総合文化センターホームページ
WebSkip

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	805
	前売	—
無料観覧者数	招待	274
	無料	121
	免除	132
総観覧者数		1,332
有料率（%）		60.4

担当 今井有

【出品リスト】

第1章 白髪一雄						
作家名	作品名	制作年(和暦)	技法・素材	サイズ	所蔵者	
1	白髪一雄	無題	1959年(昭和34)	油彩・紙、キャンバス	90.0×72.0	尼崎市教育委員会(尼崎市立成文小学校)蔵
2	白髪一雄	無題	1960年(昭和35)	油彩・キャンバス	53.1×72.9	尼崎市蔵
3	白髪一雄	天傷星行者	1960年(昭和35)	油彩・キャンバス	183.0×273.0	尼崎市蔵
4	白髪一雄	天富星撲天雕	1963年(昭和38)	油彩・キャンバス	184.0×276.0	尼崎市蔵
5	白髪一雄	白色のひろがり	1965年(昭和40)	油彩・キャンバス	210.0×147.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)
6	白髪一雄	無題	1965年(昭和40)	油彩・キャンバス	45.5×53.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)
7	白髪一雄	大威徳尊	1973年(昭和48)	油彩・キャンバス	196.0×195.0	尼崎市蔵
8	白髪一雄	密呪	1975年(昭和50)	油彩・キャンバス	181.0×227.0	尼崎市蔵
9	白髪一雄	タチカラ男	1969年(昭和44)	油彩・キャンバス	114.0×88.0	加西市蔵(尼崎市に寄託)
10	白髪一雄	志賀#107	1973年(昭和48)	油彩・キャンバス	130.5×194.2	当館蔵
11	白髪一雄	梵天讃	1975年(昭和50)	油彩・キャンバス	90.2×71.3	個人蔵
12	白髪一雄	常行三昧	1975年(昭和50)	油彩・キャンバス	162.2×131.3	個人蔵
13	白髪一雄	随求陀羅尼	1975年(昭和50)	油彩・キャンバス	97.0×130.0	個人蔵
14	白髪一雄	文殊菩薩讃	1975年(昭和50)	油彩・キャンバス	162.2×130.0	個人蔵
15	白髪一雄	うすさま	1999年(平成11)	油彩・キャンバス	182.0×227.5	個人蔵
16	白髪一雄	酔獅子	1999年(平成11)	油彩・キャンバス	260.0×194.5	個人蔵
17	白髪一雄	天女の舞	2000年(平成12)	油彩・キャンバス	165.0×133.5	尼崎市蔵
18	白髪一雄	永徳《白髪一雄リトグラフィ集》より	1990年(平成2)	リトグラフ・紙	82.0×60.0	当館蔵
19	白髪一雄	蕪村《白髪一雄リトグラフィ集》より	1990年(平成2)	リトグラフ・紙	60.0×82.0	当館蔵
20	白髪一雄	遠州《白髪一雄リトグラフィ集》より	1990年(平成2)	リトグラフ・紙	82.0×60.0	当館蔵
21	白髪一雄	近松《白髪一雄リトグラフィ集》より	1990年(平成2)	リトグラフ・紙	82.0×60.0	当館蔵
22	白髪一雄	江漢《白髪一雄リトグラフィ集》より	1990年(平成2)	リトグラフ・紙	60.0×82.0	当館蔵
23	白髪一雄	國芳《白髪一雄リトグラフィ集》より	1990年(平成2)	リトグラフ・紙	60.0×82.0	当館蔵
24	白髪一雄	水神《白髪一雄リトグラフィ集「太古」》より	1991年(平成3)	リトグラフ・紙	60.0×82.0	当館蔵
25	白髪一雄	木精《白髪一雄リトグラフィ集「太古」》より	1991年(平成3)	リトグラフ・紙	82.0×60.0	当館蔵
26	白髪一雄	火精《白髪一雄リトグラフィ集「太古」》より	1991年(平成3)	リトグラフ・紙	60.0×82.0	当館蔵
第2章 行為の痕跡						
作家名	作品名	制作年(和暦)	技法・素材	サイズ	所蔵者	
27	比田井南谷	作品25	1956年(昭和31)	ラッカー、墨・ファイバーボード	73.0×91.0	当館蔵
28	井上有一	αNo.35	1954年(昭和29)	墨・紙	28.1×52.1	当館蔵
29	中村木子	作品	1950年代中頃	エナメル・紙	104.0×70.0	当館蔵
30	江口草玄	作品No.6	1955年(昭和30)	墨・紙	131.5×98.0	当館蔵
31	江口草玄	作品No.7	1955年(昭和30)	墨・紙	98.0×131.5	当館蔵
32	斎藤義重	作品1	1957年(昭和32)	油彩・板	165.5×112.2	当館蔵
33	斎藤義重	赤の跡	1959年(昭和34)	油彩・板	80.5×64.5	当館蔵
34	斎藤義重	作品(Blue)	1961年(昭和36)	油彩・合板	53.0×45.5	当館蔵
35	元永定正	作品 ピンク・赤・91	1960年(昭和35)	油彩・キャンバス	181.0×230.0	当館蔵
36	元永定正	作品	1965年(昭和40)	油性合成樹脂塗料・キャンバス	227.0×183.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)
37	田淵安一	輪舞	1961年(昭和36)	油彩・キャンバス	130.0×195.5	当館蔵
38	山口長男	作品	制作年不詳	墨・紙	51.0×31.0	当館蔵
39	山口長男	作品	制作年不詳	墨・紙	51.0×31.0	当館蔵
40	山口長男	作品	1981年(昭和56)	墨・紙	37.0×26.0	当館蔵
41	山口長男	作品	制作年不詳	墨・紙	37.0×26.0	当館蔵
42	山口長男	作品	1981年(昭和56)	墨・紙	37.5×27.5	当館蔵
43	坂本善三	構成	1980年(昭和55)	油彩・コラーージュ(紙、布)	26.8×27.6	当館蔵
44	向井修二	作品	1964年(昭和39)	油彩・板、キャンバス	180.0×180.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)
45	田中敦子	作品	1963年(昭和38)	合成樹脂エナメル塗料、キャンバス	194.8×130.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)

46	森本紀久子	作品I	1964年(昭和39)	油彩、クレヨン・板	180.5×244.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)
47	市村司	作品1	1965年(昭和40)	油彩・キャンバス	181.0×273.0	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵(当館に寄託)
48	小柏龍太郎	緑のマグマ	2000年(平成12)	油彩・キャンバス	36.0×25.4	当館蔵
49	小柏龍太郎	花嵐	2002年(平成14)	油彩・キャンバス	52.5×45.0	当館蔵
50	小柏龍太郎	顔	2002年(平成14)	鉛筆・紙	14.5×29.0	当館蔵
51	小柏龍太郎	雷雨月	2001年(平成13)	アクリル絵具・段ボール	119.0×220.0	当館蔵
52	小柏龍太郎	ミラーージュ	2002年(平成14)	アクリル絵具・キャンバス	161.5×129.4	当館蔵
53	富岡惣一郎	作品	1963年(昭和38)	油彩・キャンバス	161.8×130.8	当館蔵
54	佐藤敬	作品	1959年(昭和34)	油彩・キャンバス	73.0×60.0	当館蔵
55	赤穴宏	目-II	1963年(昭和38)	油彩・キャンバス	130.6×162.3	当館蔵
56	川端実	作品	1963年(昭和38)	油彩・キャンバス	130.5×162.0	当館蔵
57	田中田鶴子	マイクロコスム	1961年(昭和36)	油彩・キャンバス	129.0×160.8	当館蔵
58	杉全直	きっこう	1960年(昭和35)	油彩、ミクストメディア・キャンバス	60.6×72.6	当館蔵
59	野見山暁治	みんな嘘	1993年(平成5)	リトグラフ・紙	61.0×82.0	当館蔵
60	野見山暁治	誰も知らない	1993年(平成5)	リトグラフ・紙	61.0×82.0	当館蔵
61	野見山暁治	ホントのこと	1993年(平成5)	リトグラフ・紙	61.0×82.0	当館蔵
62	野見山暁治	ドジな約束	1993年(平成5)	リトグラフ・紙	61.0×82.0	当館蔵
63	江口草玄	窟	1956年(昭和31)	墨・紙	134.0×124.5	当館蔵
64	江口草玄	川	1963年(昭和38)	墨・紙	179.0×119.5	当館蔵
65	江口草玄	不動明王	1964年(昭和39)	墨・紙	180.0×240.0	当館蔵
66	比田井南谷	作品64-25	1964年(昭和39)	墨・紙(鳥の子紙)	127.0×93.5	当館蔵

第3章 痕跡にあふれる詩情

	作家名	作品名	制作年(和暦)	技法・素材	サイズ	所蔵者
67	中村木子	作品C	1950年代中頃	エナメル・紙	52.0×59.5	当館蔵
68	李禹煥	線より	1976年(昭和51)	油彩、岩絵具・キャンバス	181.5×227.0	当館蔵
69	高間惣七	海・風	1960年(昭和35)	油彩・キャンバス	61.0×73.0	当館蔵
70	高間惣七	海風	1959年(昭和34)	油彩・キャンバス	181.0×227.0	当館蔵
71	末松正樹	群青	1959年(昭和34)	油彩・キャンバス	99.8×199.8	当館蔵
72	末松正樹	歷程	1963年(昭和38)	油彩・キャンバス	181.7×227.2	当館蔵
73	難波田龍起	森の詩	1960年(昭和35)	油彩・キャンバス	40.5×32.0	当館蔵
74	難波田龍起	人と自然 1	1989年(平成元)	水彩・紙	49.0×63.2	当館蔵
75	難波田龍起	人と自然 2	1989年(平成元)	水彩・紙	48.8×63.2	当館蔵
76	難波田龍起	人と自然 3	1989年(平成元)	水彩・紙	52.0×68.5	当館蔵
77	難波田龍起	人と自然 4	1989年(平成元)	水彩・紙	52.0×68.7	当館蔵
78	難波田龍起	人と自然 5	1989年(平成元)	水彩・紙	59.7×81.6	当館蔵
79	難波田龍起	人と自然 6	1989年(平成元)	水彩・紙	53.8×37.9	当館蔵
80	難波田龍起	人と自然 7	1989年(平成元)	水彩・紙	56.6×76.0	当館蔵
81	難波田龍起	人と自然 8	1989年(平成元)	水彩・紙	43.8×37.8	当館蔵
82	難波田龍起	人と自然 9	1989年(平成元)	水彩・紙	71.0×155.9	当館蔵
83	難波田龍起	人と自然 10	1989年(平成元)	水彩・紙	71.0×155.7	当館蔵

共催展

第77回新潟県美術展覧会 長岡展

第25回亀倉雄策賞受賞記念展 岡崎智弘／三澤遥

【趣旨及び総括】

本県の美術の普及と向上を目的に1945年から始まった県内最大の公募展であり、本年度で77回を迎えた。日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門に、3,058点の応募があり、入選作品1,096点が選ばれた。

長岡展では、7部門の県展賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞の入賞作品、長岡市及び周辺地域の入選作品、並びに審査員、委員の作品、無鑑査作品を展示し、5日間で3,674名と多数の来館者があり、盛況であった。

【開催日・その他】

=2023年6月14日(水)～6月18日(日) (5日間)=

会場：新潟県立近代美術館 企画展示室

主催：新潟日報社、新潟日報美術振興財団、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、長岡市、上越市教育委員会

後援：新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市

特別協賛：東北電力グループにいがた

協賛：ナミックス株式会社

観覧料：600円、大学生以下無料

審査員：日本画・澤野慎平 中村 謙

洋画・遠藤彰子 大場再生

版画・有地好登 三井田盛一郎

彫刻・岡本敦生 三沢厚彦

工芸・春山文典 伯耆正一

書道・風岡五城 矢島峰月

写真・今森光彦 若子jet

【関連行事】

長岡展作品解説会

6月14日(水) (書道) 石丸雨虹

(書道) 鱈淵碧桃

(洋画) 今井 厚

6月15日(木) (書道) 内山玉延

(写真) 岡村國次

(写真) 松本明彦

6月16日(金) (書道) 佐藤海雲

(写真) 中條均紀

6月17日(土) (日本画) 浦上義昭

(版画) 小川 宏

(日本画) 坪谷幸作

6月18日(日) (彫刻) 松本保忠

(写真) 平澤実知雄

(書道) 目黒煌人

担当 金澤健志

【趣旨および総括】

JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイン協会）初代会長の故・亀倉雄策のコレクションを所蔵する館として、氏を讃えて創設された「亀倉雄策賞」の受賞作家作品展を開催し、更なるグラフィックデザインの発展に寄与する。

本年度も公立大学法人長岡造形大学、新潟県立近代美術館、JAGDAによる三者主催で実施した。

第25回亀倉雄策賞を受賞したのは、岡崎智弘の放送局の番組コンテンツ映像「デザインあneo あのテーマ」、および三澤遥の幼稚園のサイン計画「玉造幼稚園」で、亀倉雄策賞としては初めてとなる2作品の同時受賞だった。東京のクリエイションギャラリー G8で開催された両名の個展を新潟での展示にあわせ再編成した。例年同時開催していた「JAGDA新人賞」展は展示スペース等の都合から新潟では展示しなかった。

なお、第25回をもって亀倉雄策賞事務局は閉局となり、第26回以降の賞の主催・運営はJAGDAが行うこととなった。

【開催日・その他】

=2023年10月9日(月)～22日(日) (12日間)=

会場：新潟県立近代美術館ギャラリー

主催：長岡造形大学、新潟県立近代美術館、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）

協力：クリエイションギャラリー G8、亀倉雄策賞事務局、JAGDA新潟地区、新潟アートディレクターズクラブ

観覧料：無料

来場者数：266名

【関連行事】

・開催記念講演会

日時：2023年10月9日(月) 12:45～14:30

講師：岡崎智弘、三澤遥

会場：長岡造形大学 大講義室

参加者数：191名

担当 今井有

第54回新潟県ジュニア 美術展覧会 長岡展

【趣旨及び総括】

感性豊かな子どもの育成と美術振興をねらいとして継続している全県規模のコンクールである。県内の幼稚園・保育園、小・中学校などから23,051点の応募があり、選ばれた1,320点を新潟市、長岡市、柏崎市、上越市の4会場に巡回展示した。

長岡展会場である当館には、5日間の会期中に1,450名の入場があり、家族で美術鑑賞を楽しむ場となった。

【開催日・その他】

会 場：

- 新潟展 2023年11月25日(土)～12月7日(休)
新潟日報メディアシップ
- 長岡展 12月13日(水)～12月17日(日)
新潟県立近代美術館
- 柏崎展 2024年1月17日(水)～1月22日(月)
柏崎市立図書館（ソフィアセンター）
- 上越展 1月26日(金)～1月30日(火)
上越市市民プラザ

主 催：新潟日报社、新潟県教育委員会、新潟県立近代美術館、
新潟県美術教育連盟、新潟市教育委員会、長岡市教育
委員会、上越市教育委員会、柏崎市教育委員会

後 援：新潟日報美術振興財団

観覧料：無料

審査員（敬称略）：

- | | |
|---------|------------------|
| 幼稚園・保育園 | 椎橋元貴（白百合女子大学准教授） |
| 小学校1年 | 新野貴則（山梨大学教授） |
| 小学校2年 | 水島尚喜（聖心女子大学教授） |
| 小学校3年 | 加藤 修（千葉大学教授） |
| 小学校4年 | 岡田京子（東京家政大学教授） |
| 小学校5年 | 大泉義一（早稲田大学教授） |
| 小学校6年 | 西村德行（東京学芸大学准教授） |
| 中学校1～3年 | 三澤一実（武蔵野美術大学教授） |
| 特別支援学校 | 大嶋 彰（滋賀大学名誉教授） |

担当 金澤健志

第26回新潟県立美術館 友の会作品展

【趣旨及び総括】

友の会会員の制作した作品を募集し、会員の結束を図りながら、美術館の運営や活動に協力することを目的として、平成9年度に初めて企画して以来、開催を続けている。

第26回展では、会員の作品を中心に、美術館が過去に実施した展覧会ポスターなどを近代美術館ギャラリーに展示した。

また、来場者にもワークショップとして切り絵、編み物作品を作成してもらい、楽しんでいただいた。

展示作業および来場者の対応は会員が中心となっており、開催期間中に178名の来場者があった。

【開催日・その他】

＝2023年9月24日(日)～10月1日(日)（8日間）＝

会 場：新潟県立近代美術館ギャラリー

主 催：新潟県立美術館友の会

共 催：新潟県立近代美術館

観覧料：無料

担当 直江修子（友の会事務局）

企画展



原田治展「かわいいの発見」

【趣旨】

1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS（オサムグッズ）」の生みの親、原田治（1946～2016）の没後初となる全国巡回展。幼少期からの資料やイラストレーターとしてのデビュー当時の仕事、広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる約450点の作品に加え、エッセイ集『ぼくの美術帖』関連作家の作品も交えて展示し、原田治の全貌を紹介した。

【総括】

- 評価すべき展
 - ・作家の幅広い活動を網羅的に紹介するとともに、「かわいいの発見」というキーワードを通して、1980-2000年代の日本社会や文化的コンテクストを理解する機会となった。
 - ・施設内他社との協働を多角的に進めたことで、今後に繋がる新しい連携のあり方を開拓できた。
- 検討課題
 - ・展示プランを外部デザイナーに委託する場合、より多くの時間がかかるため、担当者が積極的に介入してスケジュールをコントロールすることが必要である。
 - ・会場内を全面撮影可としたことで広報効果や来館者の満足度が高まった反面、鑑賞の妨げにもなることから、引き続き両立に向けた検討を進める。

【開催日・その他】

=2023年4月1日(土)～5月7日(日) (33日間)=

※全体会期は1月28日(土)～5月7日(日) (88日間)

休館日：月曜日（ただし、5月1日は開館）

主催：新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、原田治展新潟実行委員会

後援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ほかほかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

協力：コージー本舗／トムズボックス／パレットクラブ／新潟県立美術館友の会

企画協力：世田谷文学館

企画制作：コスモマーチャンダイズィング

会場設計：五十嵐瑠衣

アートディレクション：服部一成

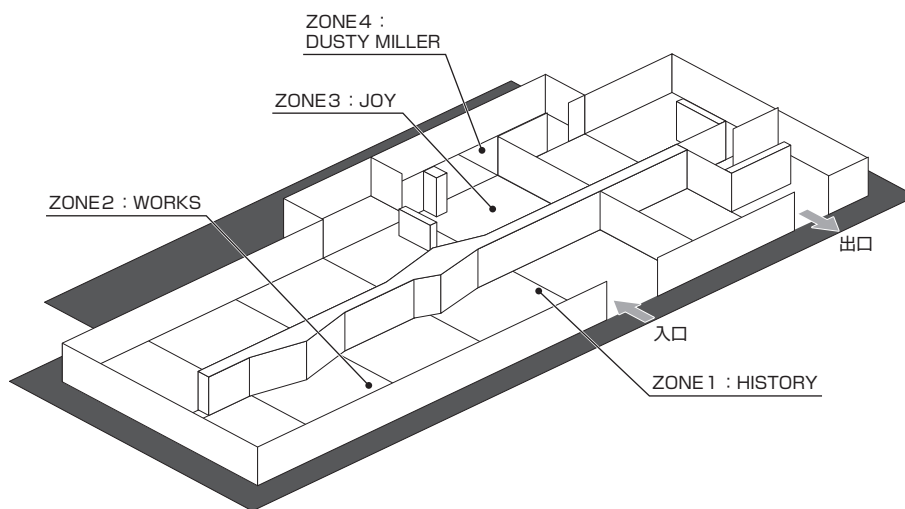
観覧料：一般……………1,200円(1,000円)〈1,000円〉

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【連携事業】

- ・原田治展 コラボレーションカフェ
 実施主体：ホテル日航新潟
 場所：スカイラウンジ パノラマ（万代島ビル31F Befco
 ばかうけ展望室）
 期間：3月21日(火・祝)～5月7日(日)

【図録】

- ・令和4年度年報に掲載

【関連記事】

- ・令和4年度年報に掲載

【観覧者数】

※4/1～5/7



有料観覧者数	当日	8,421
	前売	1,856
無料観覧者数	招待	1,241
	無料	946
	免除	573
総観覧者数		13,037
有料率 (%)		78.8

※全会期(1/28～5/7)

有料観覧者数	当日	18,857
	前売	4,032
無料観覧者数	招待	2,021
	無料	2,209
	免除	1,424
総観覧者数		28,543
有料率 (%)		80.2

※本展の出品リストは令和4年度年報を参照のこと。

担当 濱田真由美



糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。

【趣旨】

「刺繍」をテーマに、中・東欧の民俗衣装、イヌイットの壁掛け、現代の絵本原画やフランスのオートクチュール刺繍といった多彩な作品約230点を紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・刺繍というテーマのもと、バラエティに富んだ作品が紹介できたことに加え、豊富な関連イベントを実施したことで手工芸に関心のある層にアプローチすることができた。
- ・特別展示では、館の独自色をもたせることができ、これまでと違う地域との協働のあり方を示した。

●検討課題

- ・作品には触らないといった基本的な鑑賞ルールが守られない場面が目立った。従来の美術作品とは異なるジャンルの展示品であっても、作品保全のためのルールは変わらない。監視員の意見も踏まえながら、根気強く鑑賞のマナーやルールを来館者に伝えていく。

【開催日・その他】

＝2023年5月20日(土)～7月17日(月・祝)(55日間)＝

休館日：5月29日(月)、6月12日(月)、6月26日(月)、7月10日(月)

主催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、糸で描く物語新潟展実行委員会

協力：スロヴァキア民俗芸術制作センター、北海道立北方民族博物館、新潟県立美術館友の会

企画協力：株式会社イデッフ

後援：スロヴァキア共和国大使館、駐日ルーマニア大使館、カナダ大使館、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局

観覧料：一般……………1,400円(1,200円)〈1,200円〉

大学・高校生……………1,100円(900円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金

【関連行事】

- ・出品作家によるトークイベント

5月20日(土) 14:00～14:45 展示室

講師：蝸牛あや氏(本展出品作家)

参加者数：18名

- ・ワークショップ「私達のまち」の地図をつくろう

6月24日(土) 10:30～15:30 展示室、美術館ロビー

講師：秋山さやか氏(本展出品/当館所蔵作家)

参加者数：4組8名

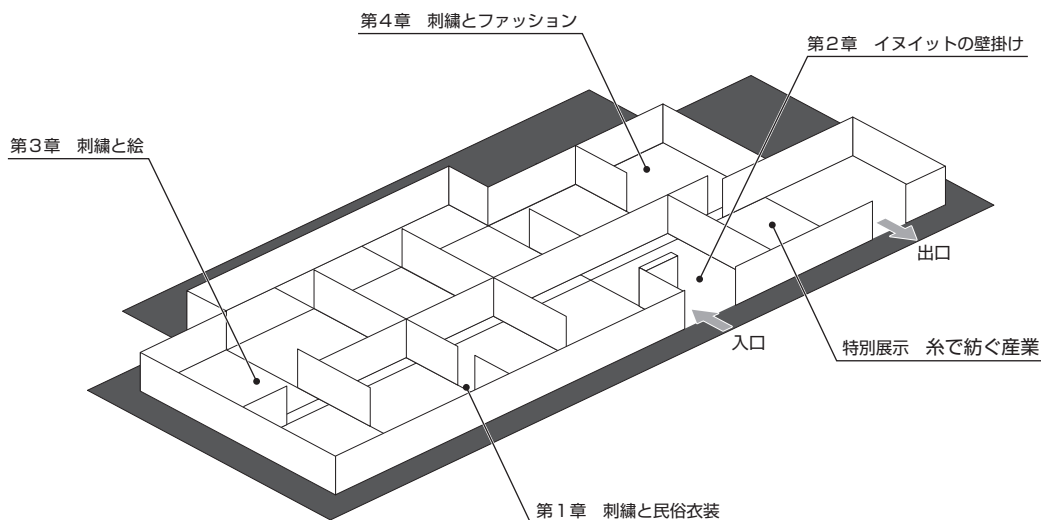
- ※6月25日(日)には、ワークショップでうまれた「まち」を作家が「あるく」、公開制作を実施。

- ・ワークショップ「刺繍の会」(子ども向け)

7月2日(日) 13:30～16:00 美術館ロビー

講師：近藤実可子氏(刺繍作家)

参加者数：6組12名



- ・ワークショップ「刺繍の会」(一般向け)
7月9日(日) 13:30~16:00 美術館ロビー
講師：近藤実可子氏(刺繍作家)
参加者数：8名
- ・ギャラリートーク
①6月3日(土) ②6月17日(土) ③7月15日(土)
各日14:00~
参加者数：①30名 ②21名 ③30名
- ・開館記念日 オリジナル缶バッジ プレゼント
7月12日(水) ※来館者全員

【連携事業】

コラボレーション企画「東欧ランチbuffet」
実施主体：ホテル日航新潟
場所：レストラン「セリーナ」(ホテル日航新潟3F)
期間：6月1日(木)~7月31日(月)



【目録】

仕様：A4判 120頁
執筆：谷崎聖子、笹倉いる美(北海道立北方民族博物館 学芸員)、富田康子(横須賀美術館 学芸員)、柴田勢津子(株式会社イデッフ)
翻訳：山本仁志
編集：富田康子(横須賀美術館 学芸員)、立浪佐和子(横須賀美術館 学芸員)、柴田勢津子(株式会社イデッフ)
アートディレクター：柿木原政広(株式会社10)、西川友美(株式会社10)
印刷：株式会社気生堂印刷所
発行：株式会社イデッフ
初版：2021年4月 2刷：2023年6月
内容：図版
第1章 刺繍と民俗衣装
第2章 イヌイットの壁掛け
第3章 刺繍と絵
第4章 刺繍とファッション
トランシルヴァニアの装いとつらえの文化/谷崎聖子
スロヴァキア民俗芸術制作センターとその活動/柴田勢津子
岩崎コレクションとイヌイットの布絵/笹倉いる美
樹田紅陽インタビュー/聞き手：富田康子、柴田勢津子・構成：富田康子
小林モー子インタビュー/聞き手・構成：富田康子
蝸牛あやインタビュー/聞き手・構成：富田康子
出展作家略歴(第3章)
メゾン・ヴェルモン刺繍コレクションと制作/柴田勢津子
刺繍の技法
作品リスト



【関連記事】

●新聞

- その他 村上新聞 (4/29)
朝日新聞 (4/29)
妻有新聞 (5/6)
毎日新聞 (5/9)
長岡新聞 (5/9)
十日町新聞 (5/18)
読売新聞 (5/20)
新潟日報おとなプラス (7/3)

●雑誌

- 芸術新潮 2022年12月号
月刊MOE 2023年2月号
美術の窓 2023年7月号

●テレビ

- 5月19日(金) TeNYテレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」中継
6月18日(日) NHK「新日曜美術館アートシーン」
その他 TeNYテレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」(5/12、
5/19、5/23、6/23、7/14)
TeNYテレビ新潟「NNNストレイトニュース」
(6/26、7/10)
NHK新潟放送局「新潟ニュース」(6/18)

●WEB

- 婦人画報ハースト
JAPAN TEXTILE NEWS
Artscape「カタログ&ボックス」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	6,278
	前売	1,612
無料観覧者数	招待	1,305
	無料	464
	免除	827
総観覧者数		10,486
有料率 (%)		75.2

担当 松本奈穂子

【出品リスト】

タイトル	制作年	制作地	所蔵先
第1章 刺繍と民俗衣装			
カロタセグ地方ハンガリー人ブラウス	20世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人エプロン	21世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人エプロン	20世紀半ば	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人木綿スカート「ムスイ（バガズィア）」	20世紀初め	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人ベスト	20世紀半ば頃	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人ベスト	20世紀後半	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人スカーフ	20世紀半ば	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人ボンネット	20世紀半ば	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人ボンネット	20世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人カーディガン	20世紀後半	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人ベスト	20世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
大平原地方ビハル県ルーマニア人ベスト	20世紀初頭	ルーマニア、大平原地方ビハル県	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
大平原地方ビハル県ルーマニア人ベスト	20世紀初頭	ルーマニア、大平原地方ビハル県	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
シビウ地方ザクセン人ベスト	1936年	ルーマニア、シビウ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
シビウ地方ザクセン人ブラウス	20世紀初頭	ルーマニア、シビウ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
大平原地方ルーマニア人ブラウス	20世紀半ば	ルーマニア、大平原地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方モーツ地域ルーマニア人ブラウス	20世紀半ば	ルーマニア、カロタセグ地方モーツ地域	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方モーツ地域ルーマニア人ブラウス	20世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方モーツ地域	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
シビウ地方ルーマニア人ボンネット	20世紀半ば	ルーマニア、シビウ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
大平原地方ルーマニア人スカート	20世紀半ば	ルーマニア、大平原地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人麻製タベストリー	1944年	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人木綿製タベストリー	20世紀半ば	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人木綿製婚礼用ロングクロス「ヴーフェーイケンドウ」	19世紀後半頃	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人木綿製ベッドカバー	20世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人木綿製婚礼用ロングクロス「ヴーフェーイケンドウ」	19世紀末~20世紀初頭	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
カロタセグ地方ハンガリー人麻製テーブルクロス	20世紀半ば	ルーマニア、カロタセグ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
ザクセン人麻製枕カバー	19世紀後半	ルーマニア、ピストリツァ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
ザクセン人木綿製枕カバー	1911年	ルーマニア、トランシルヴァニア	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
トランシルヴァニア、コヴァスナ県ハンガリー人麻製枕カバー	20世紀初頭	ルーマニア、トランシルヴァニア、コヴァスナ県	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
クンピア・トランシルヴァニエイ地方ルーマニア人ウール製ベッドカバー	20世紀初頭	ルーマニア、クンピア・トランシルヴァニエイ地方	谷崎聖子、シェレシュ・バーリント
クロスステッチパターン集		スロヴァキア	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1880年	スロヴァキア（中部）、デトヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1880年	スロヴァキア（中西部ニトラ地域）、ソルチャニ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1880年	スロヴァキア（北西部トレンチン地域）、リバニ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1900年	スロヴァキア（中部）、デトヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	20世紀初頭	スロヴァキア（北西部トレンチン地域）、ズリエホフ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1910年	スロヴァキア（北西部トレンチン地域）、メステチェコ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1910年	スロヴァキア（中部）、デトヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1920年	スロヴァキア（東部コシツェ地域）、コシツカー・ベラー	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1930年	スロヴァキア（北部ジリナ地域）、ファチュコフ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1930年	スロヴァキア（中部バンスカー・ピストリツァ地区）レシュチ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
パフスリーブ・ブラウス	1930年	スロヴァキア（西部トルナヴァ地域）、ピエシュチャニ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
女性用上着	1900年	スロヴァキア、コシツェ・ミスラヴァ（コシツェ近郊）	スロヴァキア民俗芸術制作センター
女性用上着	1880年	スロヴァキア東部	スロヴァキア民俗芸術制作センター
ベスト	1900年	スロヴァキア（西部セニカ地区）、チャタイ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
カバニカ（男性用コート）	1900年	スロヴァキア（中西部ニトラ地域）、ソルチャニ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
男性用シャツ	1920年	スロヴァキア（中部バンスカー・ピストリツァ地区）、ドブラ・ニヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1910年	スロヴァキア（西部トレンチン地域）、オムシェニエ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1920年	スロヴァキア（東部コシツェ地域）ニ・シュニー・クラートフ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1920年	スロヴァキア（北西部トレンチン地域）、ズリエホフ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1930年	スロヴァキア（東部コシツェ地域）、コシツカー・ベラー	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1930年	スロヴァキア（西部トレンチン地域）、ポシャーツァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1930年	スロヴァキア（西部）、トルナヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン	1940年	スロヴァキア（西部セニカ地区）、チャタイ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
エプロン		スロヴァキア	スロヴァキア民俗芸術制作センター
帽子	1920年	スロヴァキア北部（ジリナ地域）ファチュコフ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
帽子		スロヴァキア	スロヴァキア民俗芸術制作センター
帽子		スロヴァキア（西部）、トルナヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
帽子	1920年	スロヴァキア（北西部トレンチン地域）、モラフスケー・リエスコヴェー	スロヴァキア民俗芸術制作センター
リボン付きボウタイ	1930年	スロヴァキア（西部）、トルナヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍枕カバー		スロヴァキア（西部）、トルナヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍敷布		スロヴァキア（西部）、ヤブロニツァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
円形刺繍		スロヴァキア（西部トルナヴァ地域）、ドヴォルニーキ	スロヴァキア民俗芸術制作センター

フィレレース			スロヴァキア民俗芸術制作センター
装飾タオル	1920年頃	スロヴァキア (西部トルナヴァ地域)、ラドシヨフツェ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
祭礼用布	1930年	スロヴァキア (東部コシツェ地域)、コシツカー・ペラー	スロヴァキア民俗芸術制作センター
敷布用インサージョン	1910年頃	スロヴァキア (北部ジリナ地域)、チツマニ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍クロス	1968年	スロヴァキア (南西部トルナヴァ地域)、シヨボルニャ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍クロス	1970年	スロヴァキア (中部バンスカー・ピストリツァ地区)、ポロムカ・ホレフロニエ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍クロス	1970年頃	スロヴァキア (中部バンスカー・ピストリツァ地区)、ポロムカ・ホレフロニエ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍クロス	1972年	スロヴァキア (中部)、デトヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍クロス	1979年	スロヴァキア (西部セニカ地区)、チャタイ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍クロス	1979年	スロヴァキア (西部)、セニツァ地区	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍カーテン	1980年	スロヴァキア (西部)、ヤブロニツァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
刺繍絵 (四季)	1977年	スロヴァキア (南西部トルナヴァ地域)、シヨボルニャ	スロヴァキア民俗芸術制作センター
スロヴァキア各地方の民族衣装の人形 (53体)	2009年	スロヴァキア、ブラチスラヴァ	スロヴァキア民俗芸術制作センター

	作者	制作地	所蔵先
第2章 イヌイットの壁掛け			
布製壁掛け〈北極の幼年時代〉	ノーミー・イコーミアク	カナダ、オンタリオ州オタワ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈オレンジ色の大きな壁かけ〉	アイルン・アヴァーラーキアク・ティクタラク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈人の精たち〉	アイルン・アヴァーラーキアク・ティクタラク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈人と動物の顔に囲まれた精〉	アイルン・アヴァーラーキアク・ティクタラク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈赤いダブルの上の三つの精〉	アイルン・アヴァーラーキアク・ティクタラク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈三匹の北極フクロウ〉	ヴィクトリア・カユルユク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈大きな角をもつカリブー〉	メイ・ケナリク	カナダ、ヌナブト準州コパーメイン	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈赤ちゃんおんぶ〉	ティクタラク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ぼくのパーカはいつ出来るの〉	パウリナ・ウルルクシク・コリト	カナダ、ヌナブト準州ランキン・インレット	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈パーカの内着〉	ヘレン・コネク	カナダ、ヌナブト準州アルビアト	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈一族の顔〉	マーサ・ヒキニク	カナダ、ヌナブト準州ジョアヘブン	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈刺し方いろいろ〉	オリーブ・マク・インナカトシク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈アザラシを獲って氷の家に帰る〉	マーサ	カナダ、ヌナブト準州バンクナータング	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈今から狩りに出かける〉	ウニウクシャガク	カナダ、ヌナブト準州バンクナータング	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈グレートハンター〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈三匹のアザラシとカヤック〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ムチを振るハンターと犬〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈夏のテント〉	不詳	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈逆立ち〉	マーガレット・ギボンズ	カナダ、ヌナブト準州アルビアト	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ドラムダンサー〉	アニー・キラブク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ウサギを追いかけるワシ〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈流氷山〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈無題〉	不詳	カナダ、ヌナブト準州バンクナータング	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈春の兆し〉	マーサ・コグヴィク	カナダ、ヌナブト準州	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈アイスフィッシング〉	アリス・サキトナク・アカマック	カナダ、ヌナブト準州アルビアト	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈太ったおおかみ〉	マーサ・アブサク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈水くみに〉	N. プルキグナク (?)	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ベイカーレイクのワッペン〉	M.キルラーク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈イヌイットのまあるい世界〉	R. クエアティ	カナダ、ヌナブト準州ランキン・インレット	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈変身する人と動物〉	サラ・イヌクブク	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈お魚の話をするイヌイット〉	サラ・イヌクブク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈たのしい氷の家〉	サラ・イヌクブク	カナダ、ヌナブト準州ベイカーレイク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈夏の生活、冬の生活〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈犬ぞりと大きな氷の家〉	メイ・ケナリク	カナダ、ヌナブト準州コパーメイン	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈三つの犬ぞりが行く〉	ミナ・キングリク	カナダ、ケベック州イヌクジュアク	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈犬ぞりをけたてて行く狩りの旅〉	マーサ・マクバ・カウナク	カナダ、ヌナブト準州アークティック・ベイ	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ハンティング〉	アリス・サキトナク・アカマック	カナダ、ヌナブト準州アルビアト	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈あざらし狩り〉	アリス・サキトナク・アカマック	カナダ、ヌナブト準州アルビアト	北海道立北方民族博物館
ダブル製壁掛け〈ハンターと獲物〉	不詳	カナダ	北海道立北方民族博物館

第3章 刺繍と絵			
『武井武雄手藝図案集』	武井武雄	1928年	イデップ
『武井武雄手藝図案集』の刺繍より10点	大塚あや子(刺繍)/武井武雄(図案)	2016年	イルフ画館
柵の前の少年	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /バヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
通りの車	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /バヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
観客	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /バヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
小さな教会	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /バヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵

船を漕ぐ	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
城	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
サクソフォンを吹く月	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
小さな礼拝堂	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
20世紀	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
ロツジャ (屋根付きの柱廊)	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
ソクラテス 469 -399	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
良い人は人生でもあの世でも悪いことは起こり得ない	エヴァ・ブラズドヴァー (刺繍) /ハヴェル・ブラズダ (原案)	1957-58年	個人蔵
『コーヒーの泡から生まれたこねこ』 絵本原画	エヴァ・ヴォルフヴァー	2007年	作家蔵
『家から、庭から』 絵本原画	エヴァ・ヴォルフヴァー	2011年	作家蔵
『フリドリナーとアントニーナと小さなミナ』 絵本原画	エヴァ・ヴォルフヴァー	2019年	作家蔵
『危機一髪のジョン (糸の中のジョン)』 絵本原画	ホジェル・メロ	2006年	作家蔵
アンデルセン童話集より『亜麻の花』 絵本原画	ホジェル・メロ	2019年	作家蔵
Four Cubes	樹田紅陽	1981年	個人蔵
Six Cubes	樹田紅陽	1981年	作家蔵
Nine Cubes	樹田紅陽	1988年	個人蔵
飾箱《燦燦》	樹田紅陽	2000年	作家蔵
飾箱《碧光》	樹田紅陽	2000年	作家蔵
風炉先屏風《慈光》	樹田紅陽	2019年	作家蔵
几帳野筋藤花文 (京都迎賓館几帳・資料)	樹田紅陽	2005年	作家蔵
黒振袖《煌めく》	樹田紅陽	2004年	個人蔵
九寸帯《流水文》	樹田紅陽	2018年	個人蔵
祇園祭船鉾二番水引・東幕「岩に波図刺繍」 試作	樹田紅陽	2012年	作家蔵
祇園祭船鉾天水引「鳳凰図刺繍」 試作1	樹田紅陽	2017年	作家蔵
祇園祭船鉾天水引「鳳凰図刺繍」 試作2	樹田紅陽	2017年	作家蔵
祇園祭船鉾天水引刺繍糸	樹田紅陽		作家蔵
祇園祭船鉾天水引「鳳凰図刺繍」	樹田紅陽	2017年 (復元)	船鉾保存会
祇園祭船鉾檣下水引「鳳凰麒麟図刺繍」 試作	樹田紅陽	2019年	作家蔵
刺繍見本	樹田紅陽	2021年	作家蔵
『黒けだもの』 刺繍衣装	貝戸哲弥	2018年	作家蔵
『黒けだもの』 刺繍トートバック	貝戸哲弥	2019年	作家蔵
『黒のけもの』 スケッチ (参考展示)	貝戸哲弥	2021年	作家蔵
『黒のけもの』 原画	貝戸哲弥	2021年	作家蔵
あるく 私の生活基本形 千秋・長岡 2009年6月20日~28日	秋山さやか	2009年	新潟県立近代美術館・万代島美術館
あるく 新潟市と新潟島 2010年2月8日~3月7日	秋山さやか	2010年	作家蔵
地をうごく 2010年1月19日 十和田→八戸→大宮→新潟→東京→新宿→相模大野 2010年2月3日 相模大野→新宿→日暮里→上野→新潟	秋山さやか	2010年	作家蔵
新潟滞制作のなかで「出会ったもの」 2010年1月19日~3月9日	秋山さやか	2010年	作家蔵
《bird》	蝸牛あや	2001年	作家蔵
《雨の花》	蝸牛あや	2015年	メグミオギタギャラリー
《光の石》	蝸牛あや	2015年	作家蔵
《蝶》	蝸牛あや	2020年	作家蔵
《蝶》	蝸牛あや	2020年	作家蔵
《女Ⅱ》	蝸牛あや	2020年	作家蔵
《星々》	蝸牛あや	2020年	作家蔵
《星々Ⅱ》	蝸牛あや	2020年	作家蔵
《青》	蝸牛あや	2020年	作家蔵
『青』 (映像)	蝸牛あや	2020年	作家蔵
《王国Ⅰ》	蝸牛あや	2019年	作家蔵
シュナウザー (ブローチ)	小林モー子	2018年	作家蔵
柴犬 (ブローチ)	小林モー子	2010-11年	作家蔵
プードル (ブローチ)	小林モー子	2010-11年	作家蔵
ビーグル (ブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵
ポストンテリア (ブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵
チワワ (ブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵
メルシー (ブローチ)	小林モー子	2013年	作家蔵
ウィ (ブローチ)	小林モー子	2013年	作家蔵
骨 (ピン)	小林モー子	2017年	作家蔵
アデリーペンギン (ブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵
ヒゲペンギン (ブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵
ハネジロペンギン (ペンギンのブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵
エンペラーペンギンのヒナ (ブローチ)	小林モー子	2020年	作家蔵

エンペラーペンギン (ブローチ)	小林モ一子	2020年	作家蔵
マカロニペンギン (ブローチ)	小林モ一子	2020年	作家蔵
マゼランペンギン (ブローチ)	小林モ一子	2020年	作家蔵
喉がかわいた (ブローチ)	小林モ一子	2020年	作家蔵
元気? (ブローチ)	小林モ一子	2013年	作家蔵
音符 (ピン)	小林モ一子	2012年	作家蔵
連作「四季」より「夏」(国立西洋美術館アルチンボルド展ブローチ)	小林モ一子	2017年	作家蔵
連作「四季」より「秋」(国立西洋美術館アルチンボルド展ブローチ)	小林モ一子	2017年	作家蔵
「母の時間」(集英社『SPUR』誌2013年4月号掲載)	小林モ一子	2013年	作家蔵
「クリスマス飾る」(銀座三越会員誌GINZA STYLE 2013年11月号掲載)	小林モ一子	2013年	作家蔵
「season in」(銀座三越会員誌GINZA STYLE 2014年6月号掲載)	小林モ一子	2014年	作家蔵
「DNA」(SETAN GUIDE for STYLING 2013年9月号掲載)	小林モ一子	2013年	作家蔵
「カルティエ」(集英社『SPUR』誌2014年1月号掲載)	小林モ一子	2014年	作家蔵
「ウィングチップシューズ」(「リーガルペーパー」2017年夏号Vol.16掲載)	小林モ一子	2017年	作家蔵
レッスンカリキュラム〈Niveau1〉(刺繍見本)	小林モ一子	2010年	作家蔵
レッスンカリキュラム〈Niveau3〉(刺繍見本)	小林モ一子	2011年	作家蔵
レッスンカリキュラム〈Niveau7〉(刺繍見本)	小林モ一子	2014年	作家蔵

第4章			
男性用衣装部分 (刺繍見本)	不詳	18世紀	メゾン・ヴェルモン
男性用刺繍ジャケット〈オットーマン〉	不詳	19世紀末	メゾン・ヴェルモン
刺繍民俗衣装	不詳	20世紀初頭	メゾン・ヴェルモン
フリンジ付き赤マント	不詳	20世紀初頭	メゾン・ヴェルモン
刺繍イブニング	不詳	1920年代	メゾン・ヴェルモン
イブニング・ドレス〈ジェーン・パーキン〉	不詳	1960年代	メゾン・ヴェルモン
刺繍ジャケット〈花づくし〉	不詳	1980年代	メゾン・ヴェルモン
刺繍見本〈うさぎたち〉	メゾン・ヴェルモン	1960年頃	メゾン・ヴェルモン
刺繍見本〈ローズ・デ・ヴァン (風配図)〉	メゾン・ヴェルモン	2004年	メゾン・ヴェルモン
刺繍見本〈昆虫たち〉	メゾン・ヴェルモン	2016年	メゾン・ヴェルモン
刺繍見本〈日曜画家アンリ・ルソー〉	メゾン・ヴェルモン	2016年	メゾン・ヴェルモン
刺繍見本〈タロットカード13「死神」〉	メゾン・ヴェルモン	2017年	メゾン・ヴェルモン
刺繍見本〈ディオール レディ アート #4 アティ・パトラ・ルーガー〉	メゾン・ヴェルモン(刺繍) / アティ・パトラ・ルーガー(図案)	2018年	メゾン・ヴェルモン
刺繍バッグ〈ディオール レディ アート #4 アティ・パトラ・ルーガー〉	メゾン・ヴェルモン(刺繍) / アティ・パトラ・ルーガー(図案)	2018年	クリスチャン・ディオール・クチュール社
刺繍バッグ《ディオール レディ アート #3 荒神明香》	メゾン・ヴェルモン(刺繍) / 荒神明香(図案) / クリスチャン・ディオール・クチュール	2018年	合同会社マウスプラストゥ
刺繍バッグ《ディオール レディ アート #3 荒神明香》	メゾン・ヴェルモン(刺繍) / 荒神明香(図案) / クリスチャン・ディオール・クチュール	2018年	合同会社マウスプラストゥ

所蔵先

特別展示 糸で紡ぐ産業 —新潟の繊維産業より			
絹見本帖	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
絹見本帖 (現代)	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
古布	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
試作	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
亀田絹のワンピース	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
亀田絹の半纏	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
石本酒蔵羽織	亀田絹		亀田繊維工業協同組合
仲條正義《壁掛ケ忘レモノぼけっと》	五泉ニット		個人蔵
浅葉克己《卓球玉入れ/ラケットケース/靴入れ》	五泉ニット		五泉ニット工業協同組合
えぐちりか《へんしんブランケット》	五泉ニット		五泉ニット工業協同組合
えぐちりか《お花のセーター》	五泉ニット		五泉ニット工業協同組合
えぐちりか《「こ・ぼ・れ・た」シリーズ》	五泉ニット		五泉ニット工業協同組合
小玉文《No Title》	五泉ニット		五泉ニット工業協同組合
コード刺繍タベストリー	五泉ニット		有限会社田中刺繍
刺繍加工紹介 サンプルTシャツ	五泉ニット		有限会社田中刺繍
コード刺繍 御朱印帖/名刺入れ/袱紗	五泉ニット		有限会社田中刺繍
コード刺繍 シルクストール (レトロレース柄)	五泉ニット		有限会社田中刺繍
ししゅうのえほん	五泉ニット		株式会社塚野刺繍
ICHAKUシリーズ			
ノートカバー / ブックカバー / ブローチ / トートバック	五泉ニット		株式会社塚野刺繍
COZY PLANTS	五泉ニット		株式会社塚野刺繍
刺繍ミシン	五泉ニット		株式会社塚野刺繍



ヨシタケシンスケ展かもしえない

【趣旨】

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしえない』（2013年）以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。頭のなかに広がる果てしない妄想やアイデア、クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を細いペン先で描き続け、多くの人々をひきつけている。初の大規模個展となる本展では、絵本原画の他、作家の発想の源である小さなスケッチや本展のために考案した立体物、愛蔵のコレクションなど約400点を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいた。

【総括】

●評価すべき点

- ・作家の仕事の全容を初期作品や様々な資料とともに展示し、その発想と創作の源をたどる内容となった。
- ・作品の配置、壁面処理、作家自身が考案した造作物等、作家の世界観を伝えるための工夫が凝らされた展示空間が好評であった。
- ・会期中は混雑状況に合わせた入場整理方法を臨機応変に取り、想定を大きく上回る入場者数を混乱なく受け入れ運営することができた。

●検討課題

- ・本展は物販への関心も高かったことから、展示室内や入場整理方法に加え、ショップスペースの使用計画も事前に十分にシミュレーションし、関係者間で情報共有することが必要であると感じた。

【開催日・その他】

＝2023年7月29日(土)～9月24日(日) (55日間)＝

休館日：8月7日(月)、8月28日(月)、9月11日(月)

主催：新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、ヨシタケシンスケ展新潟実行委員会、朝日新聞社、白泉社
新潟展協賛：ホテル日航新潟

協力：アリス館、PHP研究所、ブロンズ新社、ポプラ社

後援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、NCV（株）ニューメディア、FM新潟77.5、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ほかほ
カラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

グラフィックデザイン：大島依提亜

会場構成：五十嵐瑠衣

観覧料：一般……………1,400円(1,200円)<1,200円>

大学・高校生……………1,100円(900円)

※中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金

【関連行事】

・親子ふれあいデー 小学生以下の子を同伴する保護者（2名まで）の観覧料が無料

8月7日(月)

参加者数：保護者182名、子ども167名



【連携事業】

- ・ヨシタケシンスケ展かもしれない カフェ at ホテル日航新潟
実施主体：ホテル日航新潟
場所：スカイラウンジ パノラマ（万代島ビル31F Befco
ばかうけ展望室）
期間：7月29日(土)～9月24日(日)

【関連記事】

●新聞

- 8月22日(火) 朝日新聞
「絵本 固定観念から心ほどく道具」

●ラジオ

- 8月2日(水) エフエム新津「なじらねラジオ」／池田珠緒

●テレビ

- 7月28日(金) 新潟テレビ21「スーパー Jにいがた」(内覧会)
- 8月19日(土) 新潟テレビ21「まるどりっ！ UP」(会場中継)
- 9月2日(土) テレビ東京・BSテレ東「新美の巨人たち」
「ヨシタケシンスケ『メメンとモリ』」(会場風景)

【図録】

『ヨシタケシンスケ展かもしれない 公式図録 こっちだった
かもしれない』

仕様：B6版変形（16.3×11.7cm）496頁

編集：白泉社、MOE編集部、木村帆乃

編集協力：原陽子

協力：朝日新聞社、世田谷文学館

ブックデザイン：大島依提亜、勝部浩代

撮 影：加藤新作

印 刷：図書印刷

発 行：白泉社

発行日：2022年4月9日 初版

2022年7月1日 2刷

内 容：ごあいさつ

原画かもしれない

『りんごかもしれない』

『ぼくのニセモノをつくるには』

『りゅうがあります』

『ふまんがあります』

『もう めげない』

『このあと どうしちゃう』

『なつみはなんにでもなれる』

『つままない つままない』

『あるかしら書店』

『こねて のばして』

『おしっこちょっぴりもれたろう』

『みえるとか みえないとか』

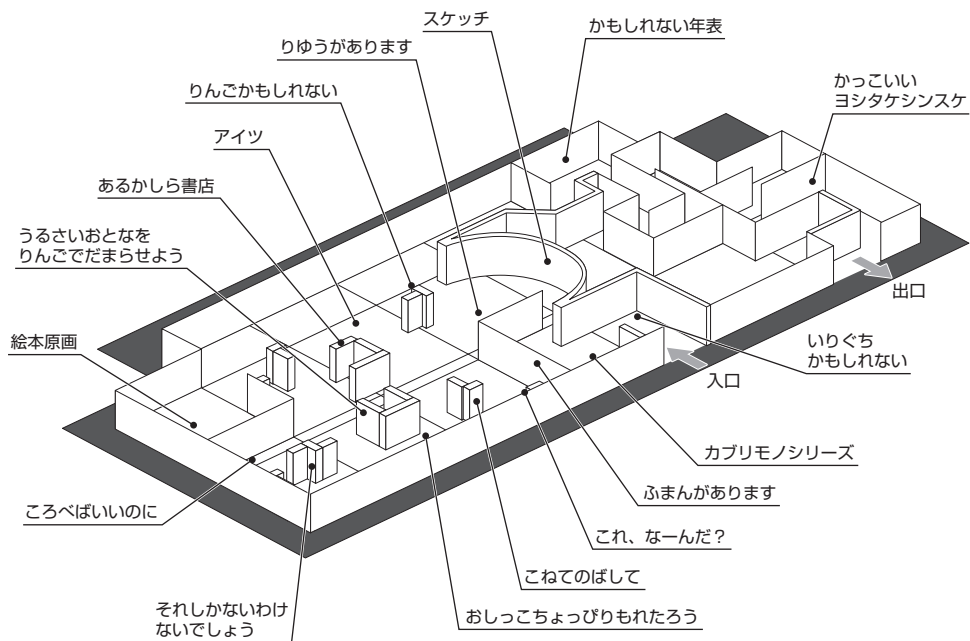
『それしか ないわけ ないでしょう』

『ころべばいいのに』

『わたしのわごむはわたさない』

『ものは言いよう』 [MOE 40th Anniversary 5人展]

『もしものせかい』



『あつかったら めげばいい』
 『にげて さがして』
 『あきらがあげてあげるから』
 『あんなに あんなに』
 『ヨシタケシンスケ展 かもしれない』ができるまで
 アトリエより
 こんなことやりたいかかったかもしれない
 こんなことやりたいけれどムリかもしれない
 ヨシタケシンスケ インタビュー
 こんなグッズだったかもしれない
 図録っぽいかもしれない
 1本の線からはじまる—これからヨシタケシンスケ
 に出逢う人のために 瀬川ゆき
 かもしれない時代に。ヨシタケシンスケ絵本論 広
 松由希子
 著作リスト
 ヨシタケシンスケのできるまで
 ヨシタケシンスケ略年譜
 ヨシタケシンスケのしくみ

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	28,351
	前売	7,824
無料観覧者数	招待	2,450
	無料	15,724
	免除	1,497
総観覧者数		55,846
有料率 (%)		64.8

担当 池田珠緒



【出品リスト】

絵本原画・資料				
タイトル等	種別	点数	材質等	サイズ
『りんごがもしれない』 ブロンズ新社 2013年	原画	10	紙・ペン	A4
	資料（編集者からのアイデア）	2	紙・インク・シャープペンシル	A4
	資料（ヨシタケからの提案）	1	紙・ペン	A4
	アイデアスケッチ	9	紙・シャープペンシル	A4
『ぼくのニセモノをつくるには』 ブロンズ新社 2014年	原画	8	紙・ペン	A4
『りゆうがあります』 PHP研究所 2015年	アイデアスケッチ	4	紙・シャープペンシル	A4
	原画	9	紙・ペン	A4
『ふまんがあります』 PHP研究所 2015年	アイデアスケッチ	3	紙・シャープペンシル	A4
	アイデアスケッチ	1	紙・ペン	A4
	原画	8	紙・ペン	A4
『もうぬげない』 ブロンズ新社 2015年	原画	8	紙・ペン	A4
	アイデアスケッチ	2	紙・シャープペンシル	A4
	本の設計図	1	紙・シャープペンシル	A4
	本の設計図	2	紙・ペン	A4
『このあと どうしちゃう』 ブロンズ新社 2016年	原画	5	紙・ペン	A4
『なつみはなんにでもなれる』 PHP研究所 2016年	アイデアスケッチ	7	紙・シャープペンシル	A4
	原画	5	紙・ペン	A4
『つままないつままない』 白泉社 2017年	アイデアスケッチ	9	紙・シャープペンシル	A4
	原画	8	紙・ペン	A4
『あるかしら書店』 ポプラ社 2017年	資料	1	紙・ペン	A4
	アイデアスケッチ	10	紙・シャープペンシル	A4
	原画	7	紙・ペン	A4
『こねてのぼして』 ブロンズ新社 2017年	アイデアスケッチ	2	紙・シャープペンシル	A4
	アイデアスケッチ	1	紙・ペン・シャープペンシル	A4
	本の設計図	5	紙・シャープペンシル	A4
	原画	5	紙・ペン	A4
『おしっこちょっぴりもれたろう』 PHP研究所 2018年	アイデアスケッチ	1	紙・シャープペンシル	A4
	原画	7	紙・ペン	A4
	原画	1	紙・ペン・シャープペンシル	A4
『みえるとか みえないとか』 アリス館 2018年	アイデアスケッチ	8	紙・シャープペンシル	A4
	原画	5	紙・ペン	A4
『それしかないわけ ないでしょう』 白泉社 2018年	原画	1	紙・シャープペンシル	A4
	アイデアスケッチ	4	紙・シャープペンシル	A4
	原画	5	紙・ペン	A4
『ころばいいのに』 ブロンズ新社 2019年	アイデアスケッチ	9	紙・シャープペンシル	A4
	原画	8	紙・ペン	A4
『わたしのわごむはわたさない』 PHP研究所 2019年	原画	5	紙・ペン	A4
『なんだろう なんだろう』 光村図書 2019年	原画	5	紙・ペン	A4
『ものは言いよう』 白線社 2019年	原画	4	紙・ペン	A4
『もしものせかい』 赤ちゃんとママ社 2020年	原画	2	紙・ペン	A4
『ねぐせのしくみ』 ブロンズ新社 2020年	原画	5	紙・ペン	A4
『あつかったらぬげばいい』 白泉社 2020年	原画	5	紙・ペン	A4
	原画	1	紙・ペン・シャープペンシル	A4
	アイデアスケッチ	6	紙・シャープペンシル	A4
	付録版（『MOE』2020年3月号）	1		A4
『にげて さがして』 赤ちゃんとママ社 2021年	原画	2	紙・ペン	A4
『あきらがあげてあげるから』 PHP研究所 2021年	原画	5	紙・ペン	A4
『あんなにあんなに』 ポプラ社 2021年	原画	7	紙・ペン	A4
	アイデアスケッチ	1	紙・シャープペンシル	A4
	スケッチ	3	紙・ペン	6穴手帳サイズ
『かみはこんなに くちゃくちゃだけど』 白泉社 2022年	原画	5	紙・ペン	A4

初期作品・その他		
タイトル等	種別	点数
トイキ（赤）学生時代	立体作品	1
トイキ（白）学生時代	立体作品	1
ぶくぶく観音学生時代	立体作品	1
無題 学生時代	立体作品	1
カブリモノシリーズ ACcess100 1995年	立体作品	1
カブリモノシリーズ BREATH 1996年	立体作品	1
カブリモノシリーズ GYRO HEAD 1995年	立体作品	1
カブリモノシリーズ WING 1996年	立体作品	1
カブリモノシリーズ 人という字 1997年	立体作品	1
カブリモノシリーズ DIVIDER 1996年	立体作品	1
カブリモノシリーズ GOOD EAR 1996年	立体作品	1
カブリモノシリーズ P.O.M.system 2 1994年	立体作品	1
カブリモノシリーズ AURORA 1995年	立体作品	1
カブリモノシリーズ HOOK ME 1996年	立体作品	1
手おくれ君 2000年頃	立体作品	1
西日 2007年頃	立体作品	1
強いんだか弱いんだか 2007年頃	立体作品	1
ハンガーなで肩	立体作品	1
作品	立体作品	一式
スケッチ	6穴手帳	一式
スケッチ（複製）	6穴手帳	一式
私物・書籍	—	一式
アイツ	造作物	1
ほんとうの会場はこっちかもしれない	造作物	1
あなたもりんごかもしれない	映像	1
『こねてのぼして』イメージ映像 歌：鈴木真海子	映像	1
これ、なーんだ？	造作物	1
うるさいおとなをりんごでだまらせよう	造作物、映像	1
『もうぬげない』イメージ映像	映像	1
つままないかおでしゃしんをとろう！	造作物	1
てんごくのふかふかみち	造作物	1
じごくのトゲトゲイス	造作物	1
ヨシタケシンスケのかもしれない年表	造作物	1
かっこいいヨシタケシンスケ	造作物	1
あなたのみらいはこれかもしれない	造作物	1



イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき

【趣旨】

イッタラ創立140周年を記念し、フィンランド・デザイン・ミュージアムが2021年に開催した展覧会を再構成し、日本との関係に焦点を当てた章を加えた約450点でイッタラの技術と哲学、デザインの美学に迫った。

新潟会場では当館の所蔵品から、日本を代表するグラフィックデザイナー・亀倉雄策（1915-1997）がコレクションしたイッタラ社関連のガラス作品を特別展示した。

【総括】

●評価すべき点

- ・イッタラ社のガラス工芸に焦点を絞って紹介したことで、展示意図を明確に伝えることができ、来館者の期待にも応えられた。
- ・当館の「亀倉雄策コレクション」をあわせて紹介することで、所蔵品を有効活用することができた。

●検討課題

- ・露出展示の箇所について、展示台に無意識に触れてしまう鑑賞者が後を絶たない。白線や結界をできる限り設置し、声掛け等も増やすことで接触禁止のルールを徹底する。

【開催日・その他】

=2023年10月7日(土)~12月10日(日) (61日間)=

休館日：10月16日(月)、10月30日(月)、11月13日(月)、11月27日(月)

主催：新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、イッタラ展新潟実行委員会、フィンランド・デザイン・ミュージアム、朝日新聞社

特別協力：littala

協力：新潟県立美術館友の会

後援：フィンランド大使館、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、NCV（株）ニューメディア、FM新潟77.5、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぼかぼかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

観覧料：一般……………1,500円(1,300円)<1,300円>

大学・高校生……………1,200円(1,000円)

※中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金

※< >内は前売券料金

【関連行事】

・学芸員によるギャラリートーク

①10月21日(土) ②11月19日(日) 各日14:00～

参加者数：①23名 ②43名

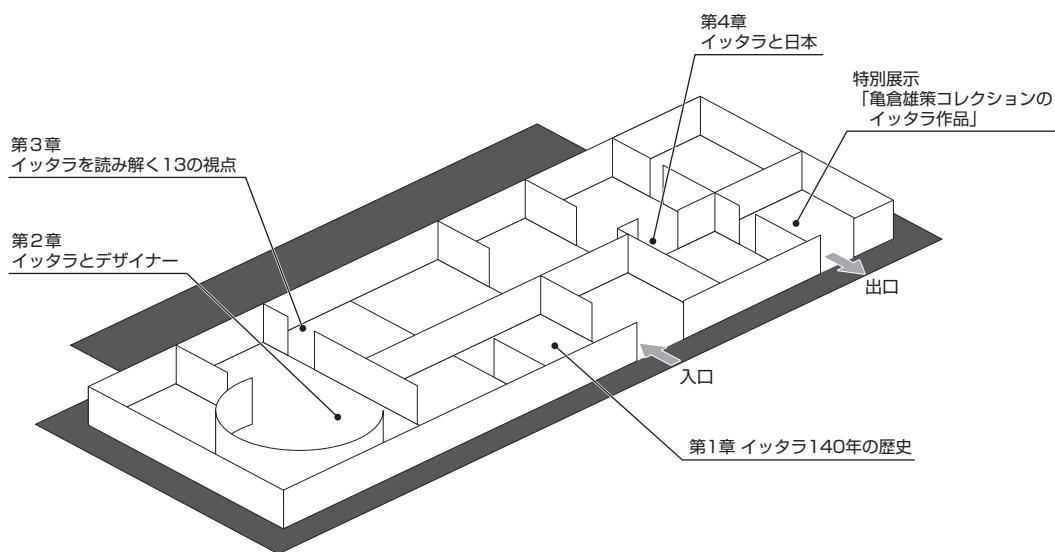
・親子で楽しむワークショップ「自分だけのガラスの箸置きをつくろう！」

10月29日(日) 11:00～/13:00～/15:00～ 美術館ロビー

講師：星名泉氏（ガラス作家）

参加者数：合計37名（申込制・定員あり）

・フィンランド独立記念日「イッタラ展」ポスタープレゼント
12月6日(水)（先着100名限定）



【連携事業】

- ・ コラボレーション企画「北欧ランチbuffet」
実施主体：ホテル日航新潟
場所：レストラン「セリーナ」（ホテル日航新潟 3F）
期間：11月1日(水)～11月30日(休)
- ・ 映画「アアルト」公開記念トークイベント「アアルト、そして北欧デザインについて」
実施主体：コミュニティシネマにいがた
日時：11月5日(日) 13:00～
会場：クロスパルにいがた4階映像ホール
登壇：塚越氏（フィンチアンドホーム）、井上氏（シネ・ウインド）
参加人数：11名

【図録】

仕様：A4変形（210×280mm）248頁
編集・構成：フィンランド・デザイン・ミュージアム、イッタラ／フィスカース、フィスカース ジャパン、朝日新聞社
執筆：ユッカ・サヴォライネン（フィンランド・デザイン・ミュージアム 館長）、ハリー・キヴィリンナ（フィンランド・デザイン・ミュージアム展覧会担当上席学芸員）、トゥイヤ・マッコネン（イッタラ140周年記念および関連企画プロジェクト・マネージャー）、長山美緒（高知県立美術館 学芸員）、高木友絵、枘内彩加（朝日新聞社文化事業部員）
翻訳：クリストファー・スティヴンス、中村雅子、和田侑子、中野勉
編集協力：向山美紗子、寺町英明、アイノ・ピシラ（フィンランド・デザイン・ミュージアム）、前田美紀子（イッタラ／フィスカース ジャパン）

撮影：アントン・スックスドルフ、上野菜々実（クロステック）
デザイン：米津菜津子
制作：保田美樹子（カルチュア・コンビニエンス・クラブ 美術出版社）、住谷美都子
印刷：日本写真印刷コミュニケーションズ
発行：朝日新聞社
内容：イッタラの歩み 創立から1980年代——ガラス製造者がデザインの先駆者へ／ハリー・キヴィリンナ
イッタラの歩み 1990年代から今日——暮らしに必要なアイテムとは何か、次世代に向けての再考／トゥイヤ・マッコネン
カイ・フランクと日本——来日時における旅行メモより／スサンナ・ティール
森と湖の国・フィンランドのガラスの郷をめぐって／長山美緒

- 1 イッタラ140年の歴史
- 2 イッタラとデザイナー
アイノ・アアルト／アルヴァ・アアルト／カイ・フランク／タピオ・ヴィルカラ／ティモ・サルパネヴァ／オイバ・トイッカ／アルフレッド・ハベリ／ハリ・コスキネン
- 3 イッタラを読み解く13の視点
素材としてのガラス／職人の技／型でつくる／マジック・リアリズム 自然や精霊との対話／気候と文化／陶磁器とガラス／アーキタイプ 基本のかたち／カラー／戦後フィンランドの外交とデザイン／広告イメージ 世界観を伝える／ミメシス 自然の模倣／連ねる、重ねる／リサイクルとサステイナビリティ

4 イッタラと日本

カイ・フランクと日本／イッタラ×イッセイ ミヤケ／
イッタラ×ミナ ペルホネン／隈研吾／1950～60年
代の日本におけるフィンランド・デザイン展

カイ・フランクのタコ (TAKO) ・カード
《バード バイ トイッカ》
《アアルト ベース》
皆川明インタビュー
隈研吾インタビュー
イッタラ・ガラス工場を訪ねて
《アアルト ベース》ができるまで
《バード》ができるまで

付録 Appendix

littala from Its Establishment to the 1980s: A
Glass Manufacturer Becomes a Design Forerunner/
Harry Kivilinna
littala from 1990s to the Present: Redefining the
Home Essentials for Future Generations/Tuija
Makkonen
Kaj Franck and Japan: Travel Notes from a Journey
to Japan/Susanna Thiel
Visiting a Village of Grass in Finland, Land of
Forests and Lakes/Mio Nagayama
Interview with Akira Minagawa
Timeless Designs, Strong Manufacturing
Interview with Kengo Kuma
Glass: A Puddle in the Forest

主要参考文献 Selected Bibliography／
作品リスト List of Works



【関連記事】

●新聞

10月20日(金) 朝日新聞
「フィンランドガラスの輝く魅力」／柘内彩加（朝日新聞社
文化事業部員）
10月22日(日) 毎日新聞
「フィンランドガラス工芸展」／内田帆ノ佳（記者）

その他 十日町新聞 (9/28)
妻有新聞 (9/30)

〈連載〉

朝日新聞「イッタラ展」作品紹介
「アアルト・ベース」(10/22)
「カンタレリ (アンズタケ)」(11/8)
「ヒーデンニユルッキ (悪魔のこぶし)」(11/19)
「バード・バイ・トイッカ」(12/1)
「KF1」(12/6)

●雑誌

月刊にいがた 10月号

●テレビ

10月6日(金) 新潟テレビ21「スーパー Jにいがた」
10月14日(土) 新潟テレビ21「まるどりっ!」
11月14日(火) 新潟テレビ21「スーパー Jにいがた」

●WEB

シネ・ウインド (イベント告知)
雑誌「LEE」公式サイト読者ブログ (展覧会紹介)
静岡新聞教育文化部「ライフ」(展覧会紹介)

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	11,082
	前売	3,699
無料観覧者数	招待	1,602
	無料	1,055
	免除	832
総観覧者数		18,270
有料率 (%)		80.9

担当 濱田真由美

【出品リスト】

・複製作品についても、作品情報はオリジナルの制作年と素材の情報を記載しています。
 ・所蔵先の記載がないものは、フィンランド・デザイン・ミュージアムによる所蔵です。
 ・欠番(1-1-9、1-3-5、1-4-2、1-4-10、1-5-5、3-2-27、3-5-1、3-5-39)は、展示の都合上出展されません。

作品番号	オブジェクト(作品名/製品名/製品/シリーズ名)(原語タイトル、意味)	作家名	発表年/制作年	製法	製造工場	所蔵先
第1章 イッタラ140年の歴史						
1881年～ イッタラ社の創業期						
1-1-1	皿《アメリカンスカ》(Amerikanska、アメリカン)	作者不詳	1913年	プレスガラス	イッタラ	
1-1-2、3	砂糖入れ、クリーマー《ヴァークナ》(Vaakuna、紋章)	アルフレッド・グスタフソン	1905年頃	プレスガラス	イッタラ	
1-1-4～7	クリスタルグラス《ソシエテ》(Société)	作者不詳	1900年	吹きガラス、クリスタル・カット	イッタラ	
1-1-8	写真資料 イッタラ製品カタログ		1889年		イッタラ	
1-1-10、11	写真資料 イッタラの工場で働く吹きガラス職人たち		1940年代			
1-1-12	写真資料 花器を制作するガラス彫り職人		1940年代			
1930年代 カルフラとイッタラ アアルト夫妻との共同作業						
1-2-1	写真資料 カルフラのカタログ		1938年			
1-2-2	写真資料 カルフラ=イッタラのパッケージ		1950年代			
1-2-3	タンブラー《ボルゲブリック》(Bölgeblick、水紋)	アイノ・アアルト	1932年	プレスガラス	カルフラ=イッタラ	
1-2-4	タンブラー《ボルゲブリック》(Bölgeblick、水紋)	アイノ・アアルト	1932年/1940年代	プレスガラス	カルフラ=イッタラ	
1-2-5	タンブラー《アイノ・アアルト》(Aino Aalto)	アイノ・アアルト	1932年/1986年	吹きガラス	イッタラ	
1-2-6	タンブラー《アイノ・アアルト》(Aino Aalto)	アイノ・アアルト	1932年/2022年	プレスガラス	イッタラ	
1-2-7	タンブラー《アイノ・アアルト》(Aino Aalto)	アイノ・アアルト	1932年/2022年	プレスガラス	イッタラ	
1-2-8	写真資料 アイノ・アアルトのガラス製品	アイノ・アアルト	1932年/1990年代			
1940年代 ガラス・デザイン・コンペティション						
1-3-1	タンブラー	カイ・フランク	1948年	吹きガラス、ソーダバブル	イッタラ	
1-3-2	ボトル	カイ・フランク	1948年	吹きガラス、ソーダバブル	イッタラ	
1-3-3	皿	カイ・フランク	1948年	吹きガラス、ソーダバブル	イッタラ	
1-3-4	写真資料 エングレーピングのためのスケッチ	カイ・フランク	1946年		イッタラ	
1-3-6	花器(カルヴォランカント)(Kalvolan kanto、カルヴォラの切り株)	タビオ・ヴィルカラ	1948年	吹きガラス	イッタラ	
1-3-7	映像資料(カルヴォランカント(カルヴォラの切り株)の制作風景)		1948年			
1950年代 サルパネヴァとiロゴ						
1-4-1	写真資料 イッタラのカタログ表紙のためのドローイング	ティモ・サルパネヴァ	1951年			
1-4-3	写真資料 カルフラ=イッタラ・ガラス工場のポスター	ティモ・サルパネヴァ	1951年		イッタラ	
1-4-4	写真資料 カルフラ・ガラスの瓶のポスター	ティモ・サルパネヴァ	1951年		イッタラ	
1-4-5～7	ボトル、タンブラー《i-ライン》	ティモ・サルパネヴァ	1956年	吹きガラス	イッタラ	
1-4-8	《i-ライン》のパッケージ	ティモ・サルパネヴァ	1956年	厚紙に印刷	イッタラ	
1-4-9	《i-ライン》のパッケージ	ティモ・サルパネヴァ	1956年	厚紙に印刷	イッタラ	
1-4-11	写真資料《i-ライン》のボトル製品のためのドローイング	ティモ・サルパネヴァ	1955年		イッタラ	
1-4-12	写真資料《i-ライン》のタンブラーとパッケージ	製品デザイン:ティモ・サルパネヴァ、 撮影:ピエティネン	1956年		イッタラ	
1960年代～1970年代 テクスチャーガラスによる革新						
1-5-1	花器《フィンランディア 3350》(Finlandia 3350)	ティモ・サルパネヴァ	1964年	吹きガラス	イッタラ	
1-5-2	写真資料 ティモ・サルパネヴァの制作風景		1964年		イッタラ	
1-5-3、4	写真資料《ウルティマ ツーレ(世界の果て)》の広告イメージ	製品デザイン:タビオ・ヴィルカラ	1968年		イッタラ	
1980年代 企業合併の時代						
1-6-1～4	《ランピ》(Lampi、池)	ケルトウ・ヌルミネン	1993年	吹きガラス	ヌー・タヤルヴィ/ イッタラ	
1-6-5	写真資料《バード・バイ・トイッカ》	製品デザイン:オイバ・トイッカ			ヌー・タヤルヴィ/ イッタラ	
1990年代～2000年代 イッタラ、世界へ市場を拡大						
1-7-1～4	タンブラー、ボウル《クルビ》(Klubi、クラブ)	ハハリ・コスキネン	1999年	吹きガラス	イッタラ	
1-7-5～10	タンブラー《リレーションズ》(Relations、関係)	コンスタンチン・グレンツ	1999年	プレスガラス	イッタラ	
1-7-11	写真資料《リレーションズ》(Relations、関係)	製品デザイン:カリーナ・セス・アンダーソン	1999年		イッタラ	
今日 ライフスタイル・コレクションの発売						
1-8-1～4	フォーク、ナイフ、スプーン《チッテリオ 98》(Citterio 98)	アントニオ・チッテリオ/ グレン・オリバー・レーヴ	1998年	ステンレス・スチール	イッタラ	
1-8-5、6	キャセロール、ソースパン《ツールズ》(Tools)	ビヨルン・ダールストローム	1998年	ステンレス・スチール	イッタラ	
第2章 イッタラとデザイナー						
アイノ・アアルト						
2-1-1～4	ジャグ、タンブラー、ショットグラス、ボウル《ボルゲブリック》(Bölgeblick、水紋)	アイノ・アアルト	1932年	プレスガラス	カルフラ	
アルヴァ・アアルト						
2-2-1	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	アルヴァ・アアルト	1936年/2022年	吹きガラス	イッタラ	
2-2-2	皿《アルヴァ・アアルト コレクション》	アルヴァ・アアルト	1936年/1950年代	吹きガラス	イッタラ	

カイ・フランク					
2-3-1	カラフェ《1610》	カイ・フランク	1954年/2016年	吹きガラス	イッタラ
2-3-2~4	タンブラー《キマラ》(Kimara、カクテル)	カイ・フランク	1953年	吹きガラス	ヌーヤルヴィ
タビオ・ヴィルカラ					
2-4-1~3	カラフェ、グラス、ボウル(ウルティマツレ)(Ultima Thule、世界の果て)	タビオ・ヴィルカラ	1968年/1969年	吹きガラス	イッタラ
ティモ・サルバネヴァ					
2-5-1~7	タンブラー、皿、ボウル、花器《i-ライン》	ティモ・サルバネヴァ	1956年	吹きガラス	イッタラ
オイバ・トイッカ					
2-6-1	オブジェ《スペシャルモデル》	オイバ・トイッカ	2003年	吹きガラス	イッタラ
2-6-2	オブジェ《シエッポ》(Sieppo、ヒタキ)	オイバ・トイッカ	1972年	吹きガラス	イッタラ
2-6-3	オブジェ《ラウルラスタス》(Laulurastas、ウタツグミ)	オイバ・トイッカ	1984年	吹きガラス	イッタラ
アルフレッド・ハベリ					
2-7-1~4	カラフェ、ワイングラス《エッセンス》(Essence、本質)	アルフレッド・ハベリ	2001年	吹きガラス	イッタラ
ハッリ・コスキネン					
2-8-1,2	キャンドルホルダー《ランタン》(Lantern)	ハッリ・コスキネン	1999年/2006年	吹きガラス	イッタラ
第3章 イッタラを読み解く13の視点					
素材としてのガラス					
3-1-1	ボトル	作者不詳	19世紀	吹きガラス	
3-1-2	花器	作者不詳	19世紀	吹きガラス	
3-1-3	酒入れ	作者不詳	19世紀	吹きガラス	
3-1-4	ボトル	作者不詳	1800~50年	吹きガラス	
3-1-5	ジャー	作者不詳	19世紀	吹きガラス	
3-1-6	ボトル	作者不詳	19世紀	吹きガラス	
3-1-7	ジャー	作者不詳	19世紀	吹きガラス	
3-1-8	ボトル	作者不詳	1881~1900年頃	吹きガラス	イッタラ
3-1-9	ボトル	作者不詳			
3-1-10	ジャグ《トゥパ》(Tupa、部屋)	カイ・フランク	1948年	吹きガラス	イッタラ
3-1-11~14	ボウル《カルティオ》(Kartio、円錐)	カイ・フランク	1953年/2011年	吹きガラス	イッタラ
3-1-15	ボウル《カステヘルミ》(Kastehelmi、露のしずく)	オイバ・トイッカ	1964年/2019年	プレスガラス	イッタラ
3-1-16	キャンドルホルダー《カーサ》(Kaasa、家)	イルッカ・スッパネン	2015年/2019年	吹きガラス	イッタラ
3-1-17	タンブラー	アイノ・アアルト	1932年/2019年	プレスガラス	イッタラ
3-1-18,19	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	アルヴァ・アアルト	1936年/2019年	吹きガラス	イッタラ
3-1-20	映像資料 素材をあつかう (Making of the Essentials)				
職人の技					
3-2-1,2	ガラスの加工道具		2021年	木	イッタラ
3-2-3,4	ガラスの加工道具 (ワイングラス用)		2021年	木	イッタラ
3-2-5,6	ガラスの加工道具		2021年	木	イッタラ
3-2-7	ガラス玉7個《バードパイ トイッカ》(カラフトライチョウ夏) 制作過程のサンプル	製品デザイン:オイバ・トイッカ	1995年	吹きガラス	イッタラ
3-2-8	オブジェ《アニユアルキューブ》	オイバ・トイッカ	2011年	吹きガラス	イッタラ
3-2-9	オブジェ《アニユアルキューブ》	オイバ・トイッカ	2008年	吹きガラス	イッタラ
3-2-10	オブジェ《ウウシ・アルエ》(Uusi Alue、新領域)	ハッリ・コスキネン	2009年	吹きガラス	イッタラ
3-2-11	ガラスの加工道具 (パブル用)		2021年	木	
3-2-12	ワイングラス	作者不詳	1883年/1947年	吹きガラス、カット	イッタラ
3-2-13	オブジェ《オルキデア》(Orkidea、蘭)	ティモ・サルバネヴァ	1954年	吹きガラス、スティックブロー	
3-2-14	オブジェ《トリエンナーレ》(Triennale)	ティモ・サルバネヴァ	1954年	吹きガラス、スティックブロー、鍍金仕上げ	イッタラ
3-2-15,16	オブジェ《東京》(Tokyo、トウキョウ)	タビオ・ヴィルカラ	1954年	吹きガラス、スティックブロー	カルアラ=イッタラ
3-2-17~19	ゴブレット《タピオ》(Tapio)	タビオ・ヴィルカラ	1954年	吹きガラス、スティックブロー	イッタラ
3-2-20~22	ワイングラス《サヴォイ》(Savoy)	ゴラン・ホンゲル	1941年	吹きガラス、エングレービング	カルアラ=イッタラ
3-2-23	花器	カイ・フランク	1947年	吹きガラス、エングレービング	イッタラ
3-2-24	ボトル《カイヴォンカツォヤ》(Kaivonkatsoja、水脈占い師)	カイ・フランク	1948年	吹きガラス、エングレービング	イッタラ
3-2-25	映像資料 バードのつくり方 (Making of Birds)				
3-2-26	映像資料 スティックブロー技法 (Stick blowing method)				
型でつくる					
3-3-1	スチール型		1913年	スチール	イッタラ イッタラ 伊ッタラ蔵
3-3-2	タンブラー《グレート・メン》(Great Men、偉人)	アルフレッド・グスタフソン	1900~13年	プレスガラス	イッタラ
3-3-3	スチール型		1973年	スチール	イッタラ 伊ッタラ蔵
3-3-4	グラス《ケッケリト》(Kekkerit、パーティー)	ティモ・サルバネヴァ	1973年	吹きガラス	イッタラ
3-3-5	グラファイト型		1968年	グラファイト/スチール	イッタラ
3-3-6	花器《ナルダス 2744》(Nardus 2744、茅)	ティモ・サルバネヴァ	1968年	吹きガラス	イッタラ
3-3-7	木型		1936年/1996年	木	イッタラ 伊ッタラ蔵
3-3-8	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	アルヴァ・アアルト	1936年/1996年	吹きガラス	イッタラ

3-3-9	スチール型		1936年/2000年代	スチール	イッタラ	イッタラ蔵
3-3-10	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	アルヴァ・アアルト	1936年/1996年	吹きガラス	イッタラ	
3-3-11	映像資料 アアルト ベースのつくり方 (Making of Aalto Vase)					
3-3-12	映像資料 プレスガラスのつくり方 (Making of Pressed Glass)					
マジック・リアリズム 自然や精霊との対話						
3-4-1	花器《イロスヌスムス》(Ylösousemus、復活)	グンネル・ニューマン	1947年	吹きガラス	イッタラ	
3-4-2	オブジェ《イントヒモ》(Intohimo、情熱)	ティモ・サルバネヴァ	1964年	吹きガラス	イッタラ	
3-4-3	オブジェ《ヒーデンケフト》(Hiidenkehto、悪魔のゆりかご)	ティモ・サルバネヴァ	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ	
3-4-4	オブジェ《ヒイシ シリーズ》(Hiisi series、悪魔シリーズ)	ティモ・サルバネヴァ	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ	
3-4-5	オブジェ《ヒーデンヘルミ》(Hiidenhelmi、悪魔の真珠)	ティモ・サルバネヴァ	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ	
3-4-6	オブジェ《ヒーデンニユルッキ》(Hiidennyrkki、悪魔のこぶし)	ティモ・サルバネヴァ	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ	
3-4-7	花器《ヒイシ》(Hiisi、悪魔)	ティモ・サルバネヴァ	1951年	吹きガラス、サンドブラスト、エッチング	イッタラ	
3-4-8	オブジェ《ウッコスパッコ》(Ukkospallo、雷電)	ティモ・サルバネヴァ	1957年	吹きガラス	イッタラ	
3-4-9	皿《イカヴァ》(Ikävä、憧憬)	ティモ・サルバネヴァ	1956年	蒸気吹きガラス	イッタラ	
3-4-10	花器《トゥオネラン ヴィルタ》(Tuonelan virta、黄泉の国の川)	タビオ・ヴィルカラ	1951年	吹きガラス、エングレービング	イッタラ	
3-4-11-13	タンブラー、ボトル、カップ《ファウナ》(Fauna、動物相)	オイバ・トイッカ	1970年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ	
3-4-14	ボウル《フルッタ》(Frutta、果物)	オイバ・トイッカ	1970年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ	
気候と文化						
3-5-1,2	オブジェ《パードリンヤー》(Paadarin jää、パードル湖の氷)	タビオ・ヴィルカラ	1960年	鑄造ガラス、カット	イッタラ	
3-5-3	オブジェ《ピルッキアヴァント》(Pilkkiaavanto、氷上釣りの穴)	タビオ・ヴィルカラ	1970年	鑄造ガラス、カット	イッタラ	
3-5-4~7	キャンドルホルダー《アーキペラゴ》(Arkipelago、フィンランド多島海域の群島)	ティモ・サルバネヴァ	1979年	鑄造ガラス、アーキペラゴ技法	イッタラ	
3-5-8	花器《ヤープオリ》(Jäävuori、氷山)	タビオ・ヴィルカラ	1952年	吹きガラス、カット	イッタラ	
3-5-9~11	花器《ラッピ》(Lappi、ラップランド)	エルッキ・ヴェサント	1958年	吹きガラス、アシッドエッチング	イッタラ	
3-5-12~15	ボウル《トゥントゥリッサ》(Tunturissa、ラップランド地方の山)	オイバ・トイッカ	1987年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ	
3-5-16	フィンランドディア・ウォッカのボトル	タビオ・ヴィルカラ	1969年	機械吹きガラス	カルフラ	
3-5-17~38	《ウルティマ ツーレ》(Ultima Thule、世界の果て)		2021年	吹きガラス	イッタラ	イッタラ蔵
陶磁器とガラス						
3-6-1~4	《キルタ BA》(BA, Kilta、ギルド)	カイ・フランク	1952~53年	ファイアンス	アラビア	
3-6-5	皿《ティーマ》(Teema、テーマ)	カイ・フランク	1981年	炆器	アラビア	
3-6-6~10	《ティーマ BAU》(BAU, Teema)	カイ・フランク	1981年	炆器	アラビア / 10のみイッタラ	
3-6-11~13	タンブラー《キマラ》(Kimara、カクテル)	カイ・フランク	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ / イッタラ	
3-6-14	タンブラー《カルティオ》(Kartio、円錐)	カイ・フランク		吹きガラス	イッタラ	
3-6-15,16	タンブラー《カルティオ》(Kartio、円錐)	カイ・フランク	1956年/2000年代	プレスガラス	ヌータヤルヴィ / イッタラ	
3-6-17	タンブラー《キマラ》(Kimara、カクテル)	カイ・フランク	1956年/2000年代	プレスガラス	ヌータヤルヴィ / イッタラ	
3-6-18,19	ピッチャー《1610》	カイ・フランク	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ	
3-6-20~24	花器《ルーツ》(Ruutu、ひし形)	ロナン&エルワン・ブルック	2015年	吹きガラス	イッタラ	
3-6-25~27	花器《ルーツ》(Ruutu、ひし形)	ロナン&エルワン・ブルック	2020年	セラミック	イッタラ	
3-6-28~33	グラス《エッセンス》(Essence、本質)	アルフレッド・ハベリ	2001年	機械吹きガラス	イッタラ	
3-6-34,35	皿《エッセンス》(Essence、本質)	アルフレッド・ハベリ	2021年	セラミック	イッタラ	
3-6-36,37	皿《エッセンス》(Essence、本質)	アルフレッド・ハベリ	2021年	プレスガラス	イッタラ	
3-6-39,40	デザインスケッチ (複製)	カイ・フランク	1949年	紙		
3-6-38,41~43	デザインスケッチ	カイ・フランク	38:1946年 41,42:1949年 43:1950年代	紙		
3-6-45~51	デザインスケッチ (タコ (Tako)・カード) (複製)	カイ・フランク	45,46:1960年代 47:1976年 48~51:1970年代	厚紙		
3-6-44,52~57	デザインスケッチ (タコ (Tako)・カード)	カイ・フランク	44:1967年 52~57:1970年代	厚紙		
アーキタイプ 基本のかたち						
3-7-1	カラフェ《2900-214》	タビオ・ヴィルカラ	1961年	吹きガラス	イッタラ	
3-7-2,3	ピッチャー《リレーションズ》(Relations、関係)	アンナリーナ・ハカティエ	1999年	吹きガラス	イッタラ	
3-7-4	カラフェ	タビオ・ヴィルカラ	1961年	吹きガラス	イッタラ	
3-7-5~7	ボウル《シルコ》(Silko、シルクのような)	ゴラン・ホンゲル	1938年	プレスガラス	カルフラ	
3-7-8~14	《コレクティブ ツールズ》(Collective Tools、道具)	アントニオ・チッテリオ / グレン・オリバー・レーヴ	2000年	ステンレス・スチール	イッタラ	
3-7-15	マグ		1874年	アーザンウェア (硬質陶器)、鑄込み成型、釉掛け	アラビア	

3-7-16	マグ《B2》		1874年	アーザンウェア(硬質陶器)、鑄込み成型、釉掛け	アラビア
3-7-17	ボトル《トゥパ》(Tupa、部屋)	カイ・フランク	1948年	吹きガラス	イッタラ
3-7-18	ショットグラス《トゥパ》(Tupa、部屋)	カイ・フランク	1948年	プレスガラス	イッタラ
3-7-19	ボウル	タビオ・ヴィルカラ	1950年	吹きガラス	イッタラ
3-7-20	ワイングラス	エーロ・O・エルッコ	1932年	吹きガラス	カルアラ/イッタラ
3-7-21~26	《ラーミ》(Raami、杵)	ジャスパー・モリソン	2019年	セラミック	イッタラ
3-7-27~29	ワイングラス《ラーミ》(Raami、杵)	ジャスパー・モリソン	2019年	吹きガラス	イッタラ
3-7-30、31	クリーマー、シュガーボウル《トゥパ》(Tupa、部屋)	カイ・フランク	1948年	吹きガラス、サンドブラスト	イッタラ
カラー					
3-8-1、2	カラフェ、ボウル《ラーミ》(Raami、杵)	ジャスパー・モリソン	2019年	プレスガラス	イッタラ
3-8-3	花器《サヴォイ》(Savoy)	アルヴァ・アアルト	1936年	吹きガラス	カルアラ=イッタラ
3-8-4	ランプ《レイム》(Leimu、炎)	マグヌス・ペターセン	2013年/2017年		イッタラ
3-8-5~7	ボトル《プロアルテ マンシッカパイッカ》(Pro Arte Mansikkapaikka、芸術のために いちご畑)	オイバ・トイッカ	1984年	吹きガラス、サンドブラスト	ヌータヤルヴィ
3-8-8~11	ジャグ、花器、ショットグラス《ボルゲブリック》(Bölgeblick、水紋)	アイノ・アアルト	1932年	プレスガラス	カルアラ=イッタラ
3-8-12	ランタン《カーサ》(Kaasa、家)	イルッカ・スツパネン	2015年	吹きガラス	イッタラ
3-8-13	ボウル《クル》(Kuru、山あい)	フィリップ・マルイン	2020年	プレスガラス	イッタラ
3-8-14~16	グラス《ビストロ》(Bistro、食堂)	サーラ・ホベア	1953年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-8-17~19	タンブラー《マルヤ》(Marja、ベリー)	サーラ・ホベア	1956年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-8-20	キャンドルホルダー《アトラス》(Atlas、アトラス神)	ハッリ・コスキネン	1999年	吹きガラス	イッタラ
3-8-21~24	ピッチャー《1609》	カイ・フランク	1954年	吹きガラス	ヌータヤルヴィ
3-8-25~28	タンブラー《i-ライン》	ティモ・サルパネヴァ	1956年	吹きガラス	イッタラ
3-8-29~34	タンブラー《4090》	タビオ・ヴィルカラ	1956年	プレスガラス	イッタラ
3-8-35	イッタラのカラーガラスのサンプル		2020年	鑄造ガラス	イッタラ
戦後フィンランドの外交とデザイン					
3-9-1	写真資料 第6回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	会場デザイン:アイノ・アアルト	1936年		
3-9-2	写真資料 第9回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	会場デザイン:タビオ・ヴィルカラ	1951年		
3-9-3	写真資料 第10回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	会場デザイン:タビオ・ヴィルカラ	1954年		
3-9-4	写真資料 第11回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	会場デザイン:ティモ・サルパネヴァ	1957年		
3-9-5	写真資料 第12回ミラノ・トリエンナーレのフィンランド・セクション	会場デザイン:アンツィエ・ヌルメスニエミ	1960年		
3-9-6	写真資料 アメリカとカナダ各地を巡回した「スキャンディナビアのデザイン展」	会場デザイン:エリック・ハーロウ	1954年		
3-9-7	写真資料 モントリオール万国博覧会のフィンランド・セクション	会場デザイン:ティモ・サルパネヴァ	1967年		
3-9-8	写真資料「フィンランディア展」、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館	会場デザイン:ティモ・サルパネヴァ	1961年		
広告イメージ 世界観を伝える					
3-10-1	写真資料《3341》の広告イメージ	製品デザイン:タビオ・ヴィルカラ、撮影:ピエティネン	1951年		イッタラ
3-10-2	写真資料《アテネの朝》の広告イメージ	製品デザイン:カイ・フランク、撮影:ピエティネン			イッタラ
3-10-3	写真資料《ヒーデンニルッキ(悪魔のこぶし)》と《ヒーデンケフト(悪魔のゆりかご)》の広告イメージ	製品デザイン:ティモ・サルパネヴァ、撮影:ピエティネン	1951年		イッタラ
3-10-4	写真資料《オルキデア(蘭)》の広告イメージ	製品デザイン:ティモ・サルパネヴァ、撮影:ピエティネン	1954年		イッタラ
3-10-5	写真資料《ランセティット(ランセット)》の広告イメージ	製品デザイン:ティモ・サルパネヴァ、撮影:ピエティネン	1952年		イッタラ
3-10-6~11	写真資料《i-ライン》の広告イメージ	製品デザイン:ティモ・サルパネヴァ、撮影:ピエティネン	1956年		イッタラ
ミメーシス 自然の模倣					
3-11-1	ボウル《レフティ》(Lehti、葉)	タビオ・ヴィルカラ	1954年	手仕上げクリスタル、櫛目状カット	イッタラ
3-11-2	ボウル《レフティ》(Lehti、葉)	タビオ・ヴィルカラ	1952年	手仕上げクリスタル、櫛目状カット	イッタラ
3-11-3	花器《バンブー》(Bambu、竹)	タビオ・ヴィルカラ	1952年	手仕上げクリスタル、櫛目状カット	イッタラ
3-11-4~7	花器《クッカ》(Kukka、花)	アルヴァ・アアルト	1939年/1980年代	吹きガラス、フレア/ラインカット	イッタラ

3-11-8,9	花器《9751》	アルヴァ・アアルト	1937年/2021年	吹きガラス、フレア/ ラインカット	イッタラ	
3-11-10	ボウル《ムナンクオリ》(Munankuori、卵の殻)	グンネル・ニューマン	1947年	吹きガラス、カット	イッタラ	
3-11-11	花器《レフト》(Lehto、木立)	オイバ・トイッカ	1989年/2010年	吹きガラス	イッタラ	
3-11-12	花器《レフト/ピンヤ》(Lehto、木立/Pinja、イタリアカサマツ)	オイバ・トイッカ	1989年	吹きガラス	ヌーヤルヴィ	
3-11-13	オブジェ《3342》	タビオ・ヴィルカラ	1950年	吹きガラス、フレア/ ラインカット	イッタラ	
3-11-14	オブジェ《3139》	タビオ・ヴィルカラ	1950年	吹きガラス、フレア/ ラインカット	イッタラ	
3-11-15	オブジェ《3334》	タビオ・ヴィルカラ	1950年	吹きガラス、フレア/ ラインカット	イッタラ	
3-11-16	オブジェ《ミニ・カンタレリ 3280》(Mini-Kantarelli 3280、アンスタケ)	タビオ・ヴィルカラ	1952年/1981年	吹きガラス、フレア/ ラインカット	イッタラ	
3-11-17,18	オブジェ《カンタレリ 3280》(Kantarelli 3280、アンスタケ)	タビオ・ヴィルカラ	1948年	吹きガラス、フレア/ ラインカット	イッタラ	
3-11-19,20	オブジェ《ハウエンレウカ》(Hauenleuka、カワカマスのあご)	カイ・フランク	1947年	吹きガラス	イッタラ	
3-11-21	灰皿《シンプukka》(Simpukka、貝殻)	タビオ・ヴィルカラ	1947年	吹きガラス	イッタラ	
3-11-22,23	花器《バンブー》(Bambu、竹)	オイバ・トイッカ	1966年/2021年	吹きガラス	イッタラ	
連ねる、重ねる						
3-12-1~3	グラス、ボウル《アールネ》(Aarne)	ゴラン・ホンゲル	1954年	吹きガラス	イッタラ	
3-12-4	カラフェ&タンブラー《リレーションズ》(Relations、関係)	コンスタンティン・グルチッチ	1999年	プレスガラス	イッタラ	
3-12-5,6	タンブラー《リレーションズ》(Relations、関係)	コンスタンティン・グルチッチ	1999年	プレスガラス	イッタラ	
3-12-7~11	ボウル《マルセル 3270》(Marcel 3270)	ティモ・サルバネヴァ	1993年	吹きガラス	イッタラ	
3-12-12~21	タンブラー《パヌ》(Panu)	エルッキ・ヴェサント	1962年	吹きガラス	イッタラ	
3-12-22~26	タンブラー《フォレスト》(Forest、森)	タビオ・ヴィルカラ	1962年	吹きガラス	イッタラ	
3-12-27~31	花器《2773》	リサ・ヨハンソン・パッペ	1962年	吹きガラス	イッタラ	
3-12-32~34	ゴブレット《ティーマ》(Tiima、時)	タビオ・ヴィルカラ	1958年	吹きガラス	イッタラ	
3-12-35,36	ゴブレット《カルティオヤルカ》(Kartiojalka、円錐形の脚)	タビオ・ヴィルカラ	1956年	吹きガラス	イッタラ	
リサイクルとサステイナビリティ						
3-13-1~3	カラフェ、タンブラー《ラーミ》(Raami、粹)	ジャスパー・モリソン	2019年	プレスガラス、100% リサイクルガラス	イッタラ	
3-13-4,5	タンブラー《カステヘルミ》(Kastehelmi、露のしずく)	オイバ・トイッカ	2019年	プレスガラス、100% リサイクルガラス	イッタラ	
3-13-6	オブジェ《ティリ》(Tirri、コアジサシ)	オイバ・トイッカ	2020年	吹きガラス、100% リサイクルガラス	イッタラ	
3-13-7	リサイクル用ガラス片		2022年		イッタラ	イッタラ蔵
第4章 イッタラと日本						
カイ・フランクと日本						
4-1-1	皿《KF3》	カイ・フランク	1958年	アーザンウェア(硬質陶 器)、鑄込み成型、釉掛け	アラビア	
4-1-2,3	皿《KF1》	カイ・フランク	1957年	アーザンウェア(硬質陶 器)、鑄込み成型、釉掛け	アラビア	
4-1-4	皿《KF2》	カイ・フランク	1957年	アーザンウェア(硬質陶 器)、鑄込み成型、釉掛け	アラビア	
4-1-5	ケトル	カイ・フランク	1956年	セラミック	アラビア	
4-1-6	ケトル	カイ・フランク	1956年	セラミック	アラビア	
4-1-7	ケトル	カイ・フランク	1957年	セラミック	アラビア	
4-1-8	ケトル	カイ・フランク	1956年	セラミック	アラビア	
1950~60年代の日本における フィンランド・デザイン展						
4-2-1	写真資料 日本セクションの和室(ヘルシンキ・アート・ギャラリー)		1955年			
4-2-2~8	写真資料「フィンランドデザイン展」会場(日本橋白木屋)	会場デザイン:ティモ・サルバネヴァ	1964年			
イッタラ × イッセイ ミヤケ						
《イッタラ × イッセイ ミヤケ》コレクション						
1~3: マグ(セラミック)						
4~9: 皿(セラミック)						
4-3-1~16	10: 花器(吹きガラス)		2016年		イッタラ	
11: ナブキン(布)						
12: テーブルクロス(布)						
13: テーブルフラワー(布)						
14~16: バッグ(布)						
イッタラ × ミナベルホネン						
4-4-1,2	オブジェ《ガラスバード》	イッタラ × ミナベルホネン	2020年	鑄造ガラス	イッタラ	
4-4-3~5	トートバッグ、ポーチ	イッタラ × ミナベルホネン	2020年	布	イッタラ	
4-4-6,7	ボウル、皿	イッタラ × ミナベルホネン	2020年	セラミック	イッタラ	
4-4-8	オブジェ《ガラスバード》	イッタラ × ミナベルホネン	2021年	鑄造ガラス	イッタラ	
4-4-9~11	皿、マグ	イッタラ × ミナベルホネン	2020年	セラミック	イッタラ	イッタラ蔵
4-4-12~17	皿、マグ、ボウル	イッタラ × ミナベルホネン	2021年	セラミック	イッタラ	イッタラ蔵
4-4-18	映像資料 皆川明インタビュー		2022年			
隈研吾 イッタラ表参道ストア&カフェのデザイン						
4-5-1~3	ランプ	隈研吾	2020年	ガラス		イッタラ蔵

4-5-4,5	木型/ランプ	隈研吾	2020年	木、ガラス	イッタラ蔵
4-5-6	映像資料	隈研吾インタビュー	2022年		

第5章 インスタレーションなど

アアルト ベース

5-1-1~3	《アアルト ベース》のためのドローイング (複製)	アルヴァ・アアルト	1936年	クレヨン、紙、厚紙	
5-1-4~20	花器《アルヴァ・アアルト コレクション》	アルヴァ・アアルト	1936年	吹きガラス	イッタラ蔵
パード バイトイッカ					
5-2-1	オブジェ《メツォ》(Metso, ヨーロッパオオライチョウ 雄)	オイバ・トイッカ	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-2	オブジェ《コッペロ》(Koppelo, ヨーロッパオオライチョウ 雌)	オイバ・トイッカ	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-3	オブジェ《ヤンカティリ》(Jänkätirri, 湿地のコアジサシ)	オイバ・トイッカ	2000年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-4	オブジェ《ファサーニ》(Fasaani, 雉)	オイバ・トイッカ	1981年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-5	オブジェ《ヴィリヨウツェネット》(Villijoutsen, コブハクチョウ)	オイバ・トイッカ	1994年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-6	オブジェ《カルヤラン ラウルヨウツェネット》 (Karjalan laulujoutsen, カレリア地方のオオハクチョウ)	オイバ・トイッカ	2004年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-7	オブジェ《ハラッカ》(Harakka, カササギ)	オイバ・トイッカ	1990年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-8	オブジェ《クルタキューフキュ》(Kultakyyhky, ゴールドフィンチ)	オイバ・トイッカ	2001年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-9	オブジェ《ヘルミカナ》(Helmikana, ホロホロチョウ)	オイバ・トイッカ	2002年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-10	オブジェ《シニソツカ》(Sinisotka, 青スズガモ)	オイバ・トイッカ	2004年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-11	オブジェ《ティルヒ》(Tilhi, キレンジャク)	オイバ・トイッカ	2005年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-12	オブジェ《タリティンティ》(Talitintti, ヨーロッパシジュウカラ)	オイバ・トイッカ	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-13	オブジェ《ナーッカ》(Naakka, ニシコクマルガラス)	オイバ・トイッカ	1996年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-14	オブジェ《タヴィン ポイカネン》(Tavin poikanen, ベビー コガモ)	オイバ・トイッカ	2004年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-15	オブジェ《ピックポヨ》(Pikku Pöllö, フクロウ (子))	オイバ・トイッカ	2004年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-16	オブジェ《トゥルキンカナ》(Turkinkana, トルコ鶏)	オイバ・トイッカ	2005年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-17	オブジェ《ヴィーリアイネン》(Viiriäinen, ヨーロッパウズラ)	オイバ・トイッカ	2008年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-18	オブジェ《ハーカ》(Haahka, ホンケワタガモ)	オイバ・トイッカ	1992年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-19	オブジェ《カルヤラン ラウルヨウツェネット》 (Karjalan laulujoutsen, カレリア地方のオオハクチョウ)	オイバ・トイッカ	2004年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-20	オブジェ《ピルヴィティエーラ》(Pilvitiira, 雲のアジサシ)	オイバ・トイッカ	2007年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-21	オブジェ《プル》(Pulu, ハト)	オイバ・トイッカ	2008年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-22	オブジェ《クリーク》(Kriikku, カイツブリ)	オイバ・トイッカ	2008年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-23	オブジェ《レフトクルッパ》(Lehtokurppa, ヤマシギ)	オイバ・トイッカ	2007年	吹きガラス	ヌータルヴィ/ イッタラ イッタラ蔵
5-2-24	オブジェ《ルイクリ》(Luikuri, ウィローカール)	オイバ・トイッカ	2008年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-25	オブジェ《タヴィタル》(Tavitar, コガモ 雌)	オイバ・トイッカ	1999年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-26	オブジェ《ソルサウロス》(Sorsauros, カモ 雄)	オイバ・トイッカ	1994年	吹きガラス	ヌータルヴィ イッタラ蔵
5-2-27	オブジェ《ヨウヒソルサ》(Jouhisorsa, オナガガモ)	オイバ・トイッカ	1996年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-28	オブジェ《サティーンカーリントゥ》(Sateenkaarilintu, 虹の鳥)	オイバ・トイッカ	2007年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-29	オブジェ《ファサーニ》(Fasaani, 雉)	オイバ・トイッカ	1981年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-30	オブジェ《ヴィヒレヒュイッパ》(Viherhyypä, チドリ 緑)	オイバ・トイッカ	2005年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-31	オブジェ《タヴィタル》(Tavitar, コガモ 雌)	オイバ・トイッカ	1999年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-32	オブジェ《ティルッティ》(Tiltti, そよ風)	オイバ・トイッカ	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-33	オブジェ《プナヴァルプネン》(Punavarpunen, ローズフィンチ)	オイバ・トイッカ	2001年	吹きガラス	イッタラ蔵
5-2-34	オブジェ《コトukkanポイカ》(Kotkanpoika, ベビーイーグル)	オイバ・トイッカ	2000年	吹きガラス	イッタラ蔵

カステヘルミ

5-3-1	《カステヘルミ》のタワー	製品デザイン:オイバ・トイッカ	2022年	カステヘルミのキャン ドルホルダー 325個	イッタラ イッタラ蔵
-------	--------------	-----------------	-------	---------------------------	---------------

特別展示 亀倉雄策コレクションのイッタラ作品

S-1	花器	作者不詳	制作年不詳	ガラス	ヌータルヴィ 新潟県立近代 美術館・万代 島美術館蔵
S-2	花器《ピラーリ KF250》	カイ・フランク	1958年	ガラス	ヌータルヴィ 新潟県立近代 美術館・万代 島美術館蔵
S-3	水差し《1609》	カイ・フランク	1954-65年	ガラス	ヌータルヴィ 新潟県立近代 美術館・万代 島美術館蔵
S-4	花器《KF243》	カイ・フランク	1957年	ガラス	ヌータルヴィ 新潟県立近代 美術館・万代 島美術館蔵

S-5	花器《KF240》	カイ・フランク	1958年	ガラス	ヌータヤルヴィ	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-6	花器《泡》	サーラ・ホベア	1957年	ガラス	ヌータヤルヴィ	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-7~9	バード	オイバ・トイッカ	1972年以降	ガラス	イッタラ	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-10~15	蝶	ルート・ブリュック	1958年頃	セラミック	アラビア	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-16	蜜蜂の蓋付きジャー	ウラ・プロコッペ	1957年	セラミック	アラビア	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-17	オブジェ《カンタレリ 3280》	タビオ・ヴィルカラ	1957年	ガラス	イッタラ	個人蔵
S-18	オブジェ《3139》	タビオ・ヴィルカラ	1958年	ガラス	イッタラ	個人蔵
S-19	オブジェ《3366》	タビオ・ヴィルカラ	1958年	ガラス	イッタラ	個人蔵
S-20	「くらしのデザイン5 フィンランドのガラス工芸」『婦人画報』	亀倉雄策	1959年5月号	印刷物		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-21	「くらしのデザイン6 六月の庭」『婦人画報』	亀倉雄策	1959年6月号	印刷物		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-22	「くらしのデザイン7 フィンランドの蝶」『婦人画報』	亀倉雄策	1959年7月号	印刷物		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-23	「美のあるところ24」(書誌不詳)	亀倉雄策	1950年代頃	印刷物		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-24	「ガラスのコレクション」『芸術新潮』	亀倉雄策	1959年7月号	印刷物		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-25	「私のテーブルセッティング」『家庭画報』	亀倉雄策	1974年10月号	印刷物		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-26	山中湖の山荘		1971年頃	写真		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-27	亀倉デザイン研究室の風景		1962年頃	写真		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-28	自宅の亀倉雄策		1960年代後半	写真		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-29	自宅できつろぐ亀倉雄策		1960年代前半	写真		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
S-30	事務所で仕事をする亀倉雄策		1994年	写真		新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵





JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点

【趣旨】

ファッションデザイナー・コシノジュンコの創造の原点である高校時代に描いた絵画や1960年に最年少で受賞した装苑賞の受賞作をはじめ、現在にいたる多彩で挑戦に満ちた活動の全貌を紹介する過去最大規模の展覧会。衣装やデザイン画、写真パネル、映像演出など約200点をとおして、コシノジュンコの創造の軌跡と魅力に迫る。

【総括】

- 評価すべき点
 - ・令和6年度まで継続のため、同年度年報に掲載
- 検討課題
 - ・令和6年度まで継続のため、同年度年報に掲載

【開催日・その他】

＝2024年2月22日(木)～3月31日(日) (35日間)＝
 ※全体会期は～5月26日(日) (86日間)
 休館日：月曜日（ただし3月25日は開館）
 主催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、コシノジュンコ新潟展実行委員会
 協力：見附市、見附ニット工業協同組合
 後援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、FM新潟77.5
 特別協力：JUNKO KOSHINO Inc.
 観覧料：一般……………1,600円(1,400円)<1,400円>
 大学・高校生…………1,300円(1,100円)
 ※中学生以下無料
 ※（ ）内は有料20名以上の団体料金
 ※ < > 内は前売券料金

【関連行事】

- ・「コシノジュンコ トークイベント」
 2月25日(日) 11:00～12:00 朱鷺メッセ2F 中会議室201
 講師：コシノジュンコ氏（本展出品作家）
 司会：松本亜美氏（TeNYアナウンサー）
 参加者数：175名（申込制・定員あり）
- ・「県内学生を対象としたコシノジュンコによるギャラリートーク+展覧会鑑賞」
 3月18日(月・休館日) 13:30～16:00 展示室、美術館ロビー
 講師：コシノジュンコ氏（本展出品作家）
 参加者数：69名

【連携事業】

- ・コシノジュンコ 原点から現点 スペシャルスイーツ
 実施主体：ホテル日航新潟
 場所：スカイラウンジ パノラマ（万代島ビル31F Befco ばかうけ展望室）
 期間：2月22日(木)～3月31日(日)
- ・コラボレーション企画「越乃寒梅」特別ボトル
 実施主体：石本酒造
 ※Befcoばかうけ展望室ほかにて限定販売

【図録】

仕様：256×181mm 192頁
 執筆：宇都宮壽、加藤登紀子、児島幹規、クリスティーヌ・シペール、クリスティーヌ・ブロン、マリアン・ボヴァン

編集：宇都宮壽（大分県立美術館）
 鈴木弘之、鈴木順之、竹田季代、島海斗、中道宏幸、
 野中昭宏（JUNKO KOSHINO inc.）
 竹内清乃（平凡社）、水越弘（広隆社）

校閲：栗原功
 翻訳：オフィス宮崎
 アートディレクション：武田健吾
 プリンティングディレクション：熊倉桂三
 印刷・製本：山田写真製版所
 発行：平凡社
 内容：原点から現点／コシノジュンコ

PROLOGUE/PSYCHEDELIC 原点から世界へ
 コシノジュンコの革命／加藤登紀子
 CONTRAST 対極の美
 軽やかさの香り／クリスティーヌ・シペール
 POROPORO/SPIKE DRESS 重なりあう円・天衣
 無縫
 COLLECTION 世界への挑戦とクリエイション
 バリ、コシノジュンコ／クリスティーヌ・ブロン
 DRUM TAO 音と人間の美のデザイン
 JAPONISM 美の中の日本
 ART 原点から現点
 History JUNKO KOSHINO
 コシノジュンコの創作の「原点から現点」を探る／宇
 都宮壽
 見たことのない景色のために、デザインで壁を壊し続
 ける。／児島幹規
 光り輝く日は明日 生地之谜—衣服の感情／マリア
 ン・ポヴァン
 謝辞

【関連記事】

●新聞

2月22日(木) 読売新聞
 「コシノジュンコさん展覧会」
 3月21日(木) 新潟日報
 「展覧会へようこそ JUNKO KOSHINO コシノジュンコ
 原点から現点」／澤田佳三

その他 村上新聞 (1/13)
 長岡新聞 (1/30)
 新潟日報 (2/9、22)
 十日町新聞 (2/15)
 妻有新聞 (2/17)
 日本教育新聞社 (2/26)

●雑誌

月刊にいがた 2月号
 キャレル 3月号
 週刊現代 3月30日号

広報みつけ 3月号
 Komachi 4月号
 螢雪時代 4月号

●テレビ

2月22日(木) TeNY新潟「夕方ワイド新潟一番」／コシノ
 ジュンコ
 3月17日(日) TeNY新潟「新潟一番サンデープラス」

●WEB

12月20日(木) FASHION PRESS
 12月24日(日) アートアジェンダ
 12月28日(木) Euphoric
 1月4日(木) fashion bible
 2月21日(木) 美術展ナビ
 2月28日(木) 見附市HP
 3月5日(火) &Komachi
 3月22日(金) シティリビングWeb
 月日不明 ArtSticker
 月日不明 イロハニアート

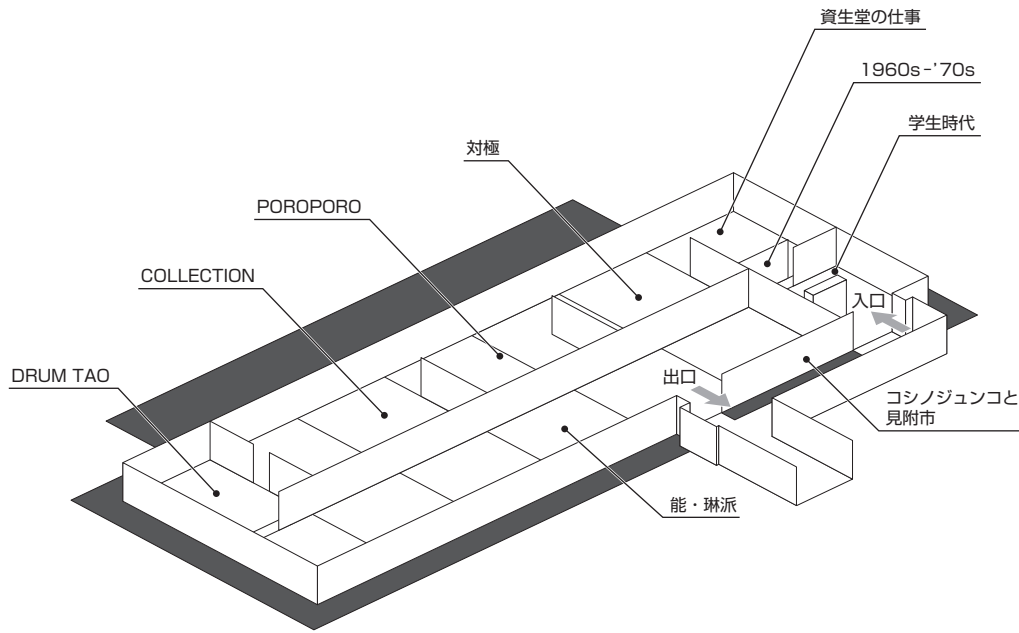
【観覧者数】

※2/22～3/31

有料観覧者数	当日	3,301
	前売	434
無料観覧者数	招待	576
	無料	321
	免除	370
総観覧者数		5,002
有料率 (%)		74.7

担当 澤田佳三





【出品リスト】

作品名	制作年	点数	所蔵
コシノジュンコと見附市			
JUNKO KOSHINO 見附コレクション チラシ・記録写真	1991年	13	見附市・見附ニット工業協同組合
JUNKO KOSHINO 見附コレクション'93 記録写真	1993年	14	見附市・見附ニット工業協同組合
JUNKO KOSHINO 見附コレクション'96 チラシ・記録写真	1996年	13	見附市・見附ニット工業協同組合
コシノジュンコ Tシャツデザインコンテスト2002 受賞作	2002年	1	大箭歩氏
学生時代			
高校時代に描いたヌードデッサン (複製)	1956-58年	12	JUNKO KOSHINO株式会社
高校時代に描いた油彩画	1956-58年	9	JUNKO KOSHINO株式会社
高校時代のスケッチブック	1956-58年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
装苑賞受賞作品	1960年	1	文化服装学院
1960s-'70s			
日本万国博覧会 (大阪万博) タカラ・ビューティリオン館ユニフォーム	1970年	1	日本万国博覧会記念公園事務所
日本万国博覧会 (大阪万博) ペプシ館ユニフォーム	1970年	1	日本万国博覧会記念公園事務所
日本万国博覧会 (大阪万博) 生活産業館ユニフォーム	1970年	1	日本万国博覧会記念公園事務所
資生堂の仕事			
資生堂「ベネフィーク」広告	1974-75年	14	天野幾雄氏
雑誌「花椿」	1972-73年	11	資生堂企業資料館
対極			
1989 春夏パリコレクション衣装「対極」	1989年	4	JUNKO KOSHINO株式会社
「対極」漆	1985年	10	JUNKO KOSHINO株式会社
「対極」ポスターデザイン	1994年	14	JUNKO KOSHINO株式会社
「JUNKO KOSHINO ART FUTURE」(メトロポリタン美術館で開催されたショーのポスター)	1990年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
POROPORO			
POROPORO	1990年	10	JUNKO KOSHINO株式会社
COLLECTION			
Cuba Collection 衣装	1996年	4	JUNKO KOSHINO株式会社
Spike Dress	2010年	4	JUNKO KOSHINO株式会社
2014 春夏コレクション ワンピース	2014年	2	JUNKO KOSHINO株式会社
ビスチェ	2000年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
竹を素材にやたら編みの技法で制作 (大分県の伝統工芸とのコラボレーション)			
ビスチェとスカート	2019年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
山葡萄の蔓を素材に編み組細工の技法で制作 (福島県の伝統工芸とのコラボレーション)			
FUKUSHIMA PRIDE バルーンコート	2019年	2	JUNKO KOSHINO株式会社
THE TOUR OF MISIA JAPAN SOUL QUEST, 2011-2012 衣装	2011年	4	
LA MODE デザイン画	2019年	10	JUNKO KOSHINO株式会社
「KIMONO」(ギメ東洋美術館で開催されたショーのポスター)	2017年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
作品が掲載された雑誌、書籍		7	JUNKO KOSHINO株式会社
ショーの案内状			JUNKO KOSHINO株式会社

DRUM TAO			
DRUM TAO ステージ衣装		24	DRUM TAO
DRUM TAO 衣装デザイン画	2018年	8	DRUM TAO
能・琳派			
2015 琳派誕生400年記念祭「能とモード」衣装 / 2017「KIMONO」展 衣装 / 2018「Theatre 能 et mode」衣装 / 2020「能+ファッション」衣装	2015-20年	27	JUNKO KOSHINO株式会社
JAPONISMコレクション デザイン画	2000-20年	7	JUNKO KOSHINO株式会社
翁 衣装	2015年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
風神 衣装	2015年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
雷神 衣装	2015年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
「紅葉狩 鬼揃」シテの衣装	2020年	1	観世宗家
観世三郎太 衣装	2020年	1	観世宗家
風神雷神 衣装 デザイン画	2015年	2	JUNKO KOSHINO株式会社
「紅葉狩 鬼揃」シテの衣装 デザイン画	2020年	3	JUNKO KOSHINO株式会社
観世三郎太 衣装 デザイン画	2015年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
格闘家 武尊 ガウン	2018年	1	
プロボクサー 寺地拳四朗 ガウン	2020年	1	
寺地拳四朗の拳を象った記念品	2024年	1	
影のコンポジションⅠ	2021年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
影のコンポジションⅡ	2021年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
影のコンポジションⅢ	2021年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
影のコンポジションⅣ	2021年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
一本の光Ⅲ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
金の影Ⅰ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
金の影Ⅱ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
金の影Ⅲ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
金の隙間Ⅰ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
金の隙間Ⅱ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
金の隙間Ⅲ	2022年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
幻Ⅰ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
幻Ⅱ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
幻Ⅲ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
緊張Ⅰ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
緊張Ⅲ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
緊張Ⅳ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
緊張Ⅴ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
緊張Ⅵ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
黒の合理Ⅰ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
黒の合理Ⅲ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
黒の合理Ⅳ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
琳Ⅷ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
琳Ⅹ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
琳Ⅺ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社
琳Ⅻ	2023年	1	JUNKO KOSHINO株式会社





新潟県立近代美術館 30周年マーク



新潟県立万代島美術館 20周年マーク

近代美術館開館30周年・万代島美術館開館20周年記念事業

【趣旨】

新潟県立近代美術館は1993年7月15日に開館して以来30周年、万代島美術館は2003年7月12日に開館してから20周年を迎えた。両館共同で記念ロゴマークを制作し、マークをあしらったノベルティを開館記念日に来館者にプレゼントするなど、記念年にふさわしい周年イベントを催した。さらに近代美術館ではコレクション展における特集展示、30年間の企画展ポスター展を行った他、在庫図録や美術古書を販売する「ボン・ボン・マルシェ」を友の会と協力して開くなど、多彩な内容を展開した。記念事業を実施するにあたり、美術館を支えていただいた美術愛好者の方々への感謝を表すことに加えて、美術館の原点復帰と将来への展望につながる年とできるよう特に心がけた。

【総括】

●評価すべき点

- ・コレクション展2期において、展示室1では「ニイガタキンビ誕生の頃」、展示室2では「大光コレクション」、展示室3では「亀倉雄策」と題して、それぞれ近代美術館の歴史や収蔵品の特徴をひもとくテーマ展示を実施した。長年の美術ファンには開館当時を懐古する場となり、新しい世代の方々には美術館を知るきっかけを提供できたことは意義深い。

【内容】

■コレクション展 第2期 6月27日(火)～9月3日(日)(51日間)

- 展示室1：開館30周年を記念して ニイガタキンビ誕生の頃
- 展示室2：大光コレクション
- 展示室3：亀倉雄策
- 〈観覧者数〉3,316人（有料1,639人）

■教育普及事業

- ①開館記念日のコレクション展の観覧料無料
- ②周年ロゴマーク作成
デザイン：五十嵐祐太（アドハウスパブリック）
- ③近代美術館30年間の企画展ポスター展
6月8日(木)～9月3日(日) 講堂前およびコレクション展もぎり前
- ④近代美術館30年間の記録写真による活動紹介（スライドショー）
6月27日(火)～9月3日(日) 美術館ロビー
- ⑤キッチンカー（コーヒー）の設置
7月15日(土) 近代美術館エントランス前
- ⑥ボン・ボン・マルシェ
7月15日(土)～17日(金・祝) 近代美術館の過去の図録の割引販売および友の会との共催による「古本市」という二つの書籍のブースを設置して3日間販売 美術館ロビー
- ⑦ロゴマーク入り缶バッジプレゼント
近代美術館＝7月15日(土)～17日(月・祝)のコレクション展観覧者にプレゼント
万代島美術館＝7月12日(火)「糸で描く物語」展の観覧者にプレゼント
- ⑧ロゴマーク入りオリジナルトートバッグの製作・販売
万代島美術館のショップによる受注製作・販売（令和5年8月～令和6年3月）



30年間の企画展ポスター展



コレクション展 第2期 展示室1

【関連記事】

●新聞

5月30日(火) 長岡新聞 県立近代美術館 開館30周年で記念コレクション展 多彩な展示が魅力

6月24日(土) 妻有新聞 県立近代美術館開館30周年記念コレクション展開催

7月6日(木) 新潟日報 近代30年万代島20年 県立美術館いまこれから(上)

7月7日(金) 新潟日報 近代30年万代島20年 県立美術館いまこれから(中)

7月11日(火) 新潟日報 近代30年万代島20年 県立美術館いまこれから(下)

8月11日(金祝) 新潟日報 記者つれづれ 行って応援 公立美術館

8月13日(日) 新潟日報 社説 県立美術館 文化拠点の役割は大きい

9月5日(火) 新潟日報 ニックちゃんクイズ 7月で開館30周年を迎えた県立美術館は?

その他 越南タイムズ (2/15、2/22)

担当：平石昌子、長嶋圭哉、伊澤朋美、
飯島沙耶子、濱田真由美

イベント

講演会等

開催日	時間	関連展覧会名	イベント名	担当/講師	会場	内容	参加者数
7月1日(土)	14:00~15:30	華麗なるバリ ベル・エポック展 ーフランス・モダン・ ポスター	講演会 「ベル・エポックとデザイ ンーアール・ヌーヴォー からアール・デコまで」	平芳幸浩氏 (京都工芸繊維大学美術工 芸資料館教授)	講堂	ベル・エポック、アール・ヌー ヴォー、アール・デコをキー ワードにデザインの流れにつ いて講演。	37
9月16日(土)	14:00~15:30	ベルギーと日本 ー光をえがき、命を かたどる	リレートーク 「つながる！太田君と児島 君と武石君」	山田真規子氏 (目黒区美術館学芸員) 碓京子氏 (高梁市成羽美術館学芸員) 伊澤朋美 (当館主任学芸員)	講堂	友人同士だった芸術家の作品 を所蔵する3館の学芸員によ るリレートーク。	28
10月21日(土)	10:00~12:00	ベルギーと日本 ー光をえがき、命を かたどる	ミニレクチャー& 作品実地見学会 「友情の双像」	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	中之島コ ミュニティ センター、 若宮神社	武石弘三郎を支援した、兄・ 貞松と、外交官・堀口九萬一。 《友情の双像》を、ミニレク チャー後、現地にて見学。	24
1月14日(日)	13:00~14:30	行為と詩情—ACTION & POETRY 特別展 示：尼崎市コレクション 白髪一雄	講演会 「白髪作品を味わう」	平井章一氏 (関西大学文学部教授)	講堂	白髪一雄の特異な画法がどう やって生まれたのかや、作品 の見どころを、分かりやすく 解説。	38

計127名

美術鑑賞講座 会場：当館講堂

開催日	時間	関連展覧会名	講座名	講師	内容	参加者数
5月20日(土)	14:00~15:30	望郷の画家 橋本龍美展 ー神も、庶民も、バ ケモノも	橋本龍美の世界 ー神も、庶民も、バケモ ノも	宮下東子 (当館専門学芸員)	「異色」といわれたユーモアあふれる龍美 の作品について解き明かす。	60
5月27日(土)	14:00~15:30	コレクション展 第1期	いつか見たい 日本画家・ 横山操の傑作30選	長嶋圭哉 (当館主任学芸員)	県外所蔵の作品、所在不明の作品、壁画な ど、展覧会ではなかなか見ることのできな い作品を多数紹介、横山操の全貌に迫る。	40
7月29日(土)	14:00~15:30	華麗なるバリ ベル・エポック展 ーフランス・モダン・ ポスター	デザインって何？ 2023	藤田裕彦 (万代島美術館館長)	「デザイン」の意味について、19世紀末から 2023年現在の事例まで、わかり易く紹介。	37
8月19日(土)	14:00~15:30	華麗なるバリ ベル・エポック展 ーフランス・モダン・ ポスター	ロートレックと世紀末の ポスター	平石昌子 (当館専門学芸員)	《ムーラン・ルーージュ、ラ・グーリュ》でロ ートレックの名は一躍有名に。ロートレック 芸術の真骨頂であるポスターの魅力に迫る。	55
10月7日(土)	14:00~15:30	ベルギーと日本 ー光をえがき、命を かたどる	武石弘三郎の作品を訪ねる	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	中之島村長呂（現長岡市）出身の彫刻家・ 武石弘三郎。スライドで作品を訪ねながら、 武石の仕事を紹介。	34
10月28日(土)	14:00~15:30	コレクション展 第3期	異国に渡った新潟ゆかり の画家たち	飯島沙耶子 (当館主任学芸員)	落谷虹児や土田麦僊ら新潟ゆかりの画家た ちを取り上げ、異国に渡った経験が画業に もたらした影響を探る。	21
1月27日(土)	14:00~15:30	尼崎市コレクション 白髪一雄	企画展より 白髪一雄と 同時代の作品を見る。	松矢国憲 (当館学芸課長)	白髪の作品を通覧するとともに、同時代の 他作家による、熱き思いのたぎる抽象絵画 の表現を鑑賞する。	28

計275名

ワークショップ

開催日	時 間	関連展覧会名	ワークショップ名	担 当	会 場	内 容	参加者数
5月1日(月)	14:00～ 15:00	望郷の画家 橋本龍美展 一神も、庶民も、バ ケモノも	さがすとみつかる 作者の ココロがみえてくる!?	宮下東子 (当館専門学芸員)	企画展示室	橋本龍美の作品を鑑賞し、み んなで見つけたものを教え合 い、楽しく語り合う。	7
5月5日(金・祝)	14:00～ 16:00	望郷の画家 橋本龍美展 一神も、庶民も、バ ケモノも	こどもワークショップ 「お絵描き好き な子 集ま れ 変身! お化け地蔵」	宮下東子 (当館専門学芸員)	講座室	紙をボタンと倒して変身す る、そんな仕掛けのあるお地 蔵さんを描いて遊ぶ。	9
6月27日(火)～ 9月3日(日)	常時	コレクション展 第2期	親と子のワクワクオリエ ンテーリング	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	コレクショ ン展示室	作品にまつわるワークシート を解きながら、親子で楽しく 展覧会をめぐる。	—
8月11日(金・祝)	①9:30 ～12:00 ②13:30 ～16:00	華麗なるパリ ベル・エポック展 —フランス・モダン・ ポスター	親子で版画ワークショッ プ「リトグラフでミュシャ のポスターをつくらう!」	岡谷敦魚氏 (長岡造形大学美術・工芸 学科准教授)	ギャラリー	アルミ板を使って、ミュシャ のようにアール・ヌーヴォー 風の模様で装飾された素敵な ポスターづくりを体験。	21
1月21日(日)	14:00～ 15:30	コレクション展 第4期	大人のための日本画ワー クショップ 第1回「実践 掛け軸の扱い方・飾り方」	神尾顕斗氏 (表具師)	ギャラリー	高校生以上を対象としたワー クショップ。毎回ごとに参加 者を募る。	12
2月4日(日)	14:00～ 16:00	コレクション展 第4期	大人のための日本画ワー クショップ 第2回「構造 を知る ミニ掛け軸を作 ろう」	宮下東子 (当館専門学芸員)	ギャラリー	高校生以上を対象としたワー クショップ。毎回ごとに参加 者を募る。	12
2月18日(日)	14:00～ 16:00	コレクション展 第4期	大人のための日本画ワー クショップ 第3回「構造 を知る ミニ屏風を作ろ う」	宮下東子 (当館専門学芸員)	ギャラリー	高校生以上を対象としたワー クショップ。毎回ごとに参加 者を募る。	12
3月3日(日)	14:00～ 16:00	コレクション展 第4期	大人のための日本画ワー クショップ 第4回「素材 を知る 岩絵具を使って みよう」	財田翔悟氏 (日本画家)	ギャラリー	高校生以上を対象としたワー クショップ。毎回ごとに参加 者を募る。	12
3月17日(日)	14:00～ 16:00	コレクション展 第4期	大人のための日本画ワー クショップ 第5回「素材 を知る 金銀箔を使って みよう」	財田翔悟氏 (日本画家)	ギャラリー	高校生以上を対象としたワー クショップ。毎回ごとに参加 者を募る。	10

計95名

映画鑑賞会 会場：当館講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	タイトル	内 容	参加者数
7月30日(日)	14:00～ 15:30	華麗なるパリ ベル・エポック展 —フランス・モダン・ ポスター	ディリリとパリの時間旅行	2018年 / 94分	41

計41名

館外活動・地域との連携

出前講座

本年度の出前講座は、前年度と比べて依頼件数が半減した。原因は判然としないが、学校団体の来館者数も半減していることから、学校側の事情ではないかと考えられる。依頼内容も定番プログラムがほとんどを占め、広がりは見られなかった。交通費の関係で依頼を取りやめたケースもあり、予算のあり方が問われる。

No.	分類	月 日	時 間	対 象	内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	一般	6月6日(火)	11:10~12:40	新潟デザイン専門学校 モンセラート美術大学 学生及び教員25+3名	日本画の基礎知識	1	28	万美 池田
2	学校	6月14日(水)	13:35~14:20 14:25~15:10	長岡市立上組小学校 6年生37+37名	学芸員のお仕事	2	74	長嶋
3	学校	6月27日(火)	14:00~14:45	燕市立小池小学校 3年生36名	「みる」って、楽しい!!	1	36	金澤
4	学校	6月29日(木)	9:30~10:15 10:35~11:20	小千谷市立片貝小学校 3年生20名、4年生22名	「色や形を楽しもう」	2	42	宮下
5	学校	7月6日(木)	9:35~10:20 10:40~11:25 11:30~12:15	十日町市立中条小学校 5年生2クラス (25+21名)、6年生1クラス (25名)	「色や形を楽しもう」	3	71	金澤
6	学校	9月5日(火)	10:40~11:25	小千谷市立千田小学校 4年生22名	「色や形を楽しもう」	1	22	金澤
7	学校		9:30~10:15	小千谷市立千田小学校 1年生18名	「みる」って、楽しい!!	1	18	
			11:30~12:15	小千谷市立千田小学校 2年生26名	「色や形を楽しもう」	1	26	
8	学校	9月20日(水)	9:35~10:20 10:40~11:25	小千谷南小学校 1年生12名、2年生13名	「みる」って、楽しい!!	2	25	長嶋
9	一般	9月30日(土)	13:30~16:00	新潟市芸術創造村・国際青少年センター「ゆいぽーと」	「武石弘三郎一人物と作品 竹内式 部像実地見学」	1	13	伊澤
10	学校	10月4日(水)	9:35~10:20 10:35~11:20 11:25~12:10	長岡市立栖吉小学校 3年生3クラス (28+27+27名)	「みる」って、楽しい!!	3	82	宮下
11	学校	10月19日(木)	9:35~10:20 10:40~11:25	新潟市立坂井輪小学校 6年生4クラス (29+29+30+29名)	学芸員のお仕事	2	117	飯島
12	学校	10月19日(木)	10:45~11:30 11:35~12:20	長岡市立阪之上小学校 4年生2クラス (24+22名)	「色や形を楽しもう」	2	46	今井
13	学校	10月19日(木)	9:35~10:20 10:40~11:25	長岡市立希望が丘小学校 4年生2クラス (31+30名)	「色や形を楽しもう」	2	61	金澤
14	学校	11月21日(火)	9:30~10:15	柏崎市立鯖石小学校 1・2年生 (6+9名)	「みる」って、楽しい!!	1	15	宮下
			10:35~11:20	柏崎市立鯖石小学校 3・4年生 (8+4名)	「色や形を楽しもう」	1	12	宮下
			11:25~12:10	柏崎市立鯖石小学校 6年生 (10名)	「日本の“美” 絵巻のおはなし」	1	10	宮下

合計27コマ 698名

NIIGATAアートリンク

NIIGATAアートリンク2023

■連絡会議

- 第1回：2023年 5月23日(火) 15:00 新潟市新津美術館
 第2回：2023年10月12日(木) 14:30 新潟県立近代美術館
 第3回：2024年 2月 6日(火) 15:00 新潟市美術館

Web会議：

2023年 7月12日(水) (「華麗なるパリの〇〇な話」
 打合せ)

■教育普及部会

- 第1回：2023年 4月24日(月) 14:00 新潟県立万代島美術館
 第2回：2023年10月12日(木) 13:30 新潟県立近代美術館
 第3回：2024年 2月 6日(火) 13:30 新潟市美術館

その他(研修会打ち合わせ会議)：

2023年 7月 6日(木) 14:00 新潟県立近代美術館

■NIIGATAアートリンク共催事業 トークイベント

「華麗なるパリの〇〇な話」

2023年 7月29日(土) 14:00 新潟市新津美術館

■NIIGATAアートリンク主催美術教育研修会

「令和5年度 学校×NIIGATAアートリンク 鑑賞と美術館一
 活用のための研修会」

2023年 8月 7日(月) 13:00～17:00 新潟県立近代美術館

参加者：学校教員 21名

学芸員 10名

担当 飯島沙耶子、宮下東子

図書館との連携

企画展関連書籍コーナーの設置

■華麗なるパリ ベル・エポック展

- | | |
|-------------|-------------------|
| 新潟県立図書館 | 7月4日(火)～7月30日(日) |
| 長岡市立中央図書館 | 6月27日(火)～8月30日(水) |
| 柏崎市立図書館 | 7月1日(土)～8月27日(日) |
| 燕市立図書館 | 7月1日(土)～7月30日(日) |
| 長岡造形大学付属図書館 | 7月3日(月)～7月31日(月) |

■ベルギーと日本

- | | |
|------------|---------------------|
| 新潟県立図書館 | 10月13日(金)～10月29日(日) |
| 柏崎市立図書館 | 9月26日(火)～10月31日(火) |
| 長岡市立中央図書館 | 9月20日(水)～11月12日(日) |
| 長岡市立中之島図書館 | 9月1日(金)～11月12日(日) |

ボランティア活動

■近代美術館開館30周年事業

「ボン・ボン・マルシェ」内「古本市」を友の会と共同で企画し、
 同会ボランティアが3日間の運営をおこない、ほぼ完売になる
 成果を得た。

期間：7月15日(土)～7月17日(月・祝)

参加者：延べ31名(14日設営6名、15日8名、16日6名、
 17日7名、18日撤収4名)

刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
令和5年度 年間スケジュール	令和5年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベントなどをまとめたもの	225×376mm(展開サイズ) 蛇腹4つ折り	32,000部	2023年 4月1日	
新潟県立近代美術館 だより 「雪椿通信」56号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A5判 蛇腹4つ折り	5,000部	2023年 4月18日	特集1 新潟県立近代美術館開館30周年 特別寄稿 ①新潟県立近代美術館のこと／特集2 新潟県立近代美術館開館30周年 特別寄稿②「展覧会の絵」を聴きながら／特集3 新潟県立近代美術館開館30周年 近代美術館建設と開館の頃／特集4 新潟県立近代美術館開館30周年 関連イベントが目白押し／記念ロゴマークについて／表紙の作品／望郷の画家 橋本龍美―神も、庶民も、バケモノも／コレクション展「没後50年 横山操展」に寄せて／2023年度の展覧会から／編集部からのひとこと
令和4年度年報	令和4年度の活動報告	131頁	電子データ	2024年 3月1日	
企画展 「望郷の画家 橋本龍美展―神も、庶民も、バケモノも」図録	「望郷の画家―橋本龍美展―神も、庶民も、バケモノも」の公式図録	250×250mm 104頁	800部	2023年 4月15日	ごあいさつ／謝辞／橋本龍美の画業―望郷・望郷・望郷……懐かしい加茂での体験を糧に／図版／資料編／出品目録
橋本龍美展鑑賞資料 「鑑賞に+1 (かんじょうにプラスワン)」	橋本龍美展の見どころを示し、自分で実際に探しながら鑑賞できるシート	A4判パウチ 4種類×各5部 (展示室に配置)		2023年 4月14日	内容 「日本の家紋に興味アリ！」 「仏壇のカチは 妖しげ…」 「家ごとに、それぞれの暮らし」 「すみずみにまで ちょっと怖いモノが！」
親と子のワクワクオリエンテーリングワークシート	設問に取り組みながら、所蔵作品や作家に興味を持つ機会を作り出すシート	A4判両面刷り		2023年6 月27日(実 施期間：6 月27日～ 9月3日)	

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。なおコレクション展解説会は、本年度から土曜午後、原則として月1回、各展示室の展示担当者が行うことに変更した。

企画展（日曜日 14:00～）
コレクション展（土曜日 14:00～）

【企画展】

展覧会名	期日	人数
望郷の画家 橋本龍美展		
	4月16日	15
	5月14日	25
	6月4日	35
小計		75
華麗なるバリ ベル・エボック展 ※実施せず		
ベルギーと日本 ※実施せず		
行為と詩情—ACTION & POETRY		
	2月10日	18
	2月25日	12
小計		30
企画展合計		105

【コレクション展】

展覧会名	期日	人数
展示室1 近代美術館の名品		
展示室2 命脈—命と美のつながり—		
展示室3 堺時雄 ピクトリアリズムへの招待		
	4月1日	1
令和4年度第4期(継続展示分)小計		1
展示室1～3 没後50年 横山操展		
	4月15日(展示室1～3)	9
	5月6日(展示室1～3)	23
	6月3日(展示室1～3)	30
第1期小計		62
展示室1 開館30周年を記念して ニイガタキンピ誕生の頃		
展示室2 大光コレクション		
展示室3 亀倉雄策		
	7月8日(展示室1)	8
	7月22日(展示室2・3)	5
	8月12日(展示室1)	5
	8月26日(展示室2・3)	8
第2期小計		26
展示室1 近代美術館の名品—新収蔵品を中心に		
展示室2 異国に渡った芸術家たち		
展示室3 三芳悌吉 絵本の仕事—科学の眼差し		
	9月23日(展示室1)	13
	10月14日(展示室2)	4
	11月4日(展示室3)	9
第3期小計		26
展示室1・2 近代美術館の日本画の名品		
展示室3 反戦への思い		
	1月20日(展示室1・2)	13
	2月3日(展示室3)	11
	2月24日(展示室1・2)	12
第4期小計		36
コレクション展合計		151

団体の受入れ

団体の来館者を受け入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。

*印は、解説あるいは対話による鑑賞を実施した団体

●一般団体

※教員研修会に伴う観覧4件は「学校教育との連携」に記載した。

コレクション展第1期

4月14日(金)	キンセイ産業	49名
6月14日(水)	年金者組合 阿賀野支部	*11名
6月16日(金)	大野ゆっくり歩こう会	43名
計3団体		小計 103名

橋本龍美展

5月16日(火)	加茂市公民館絵画基礎特別講座	*23名
5月23日(火)	加茂市社会教育委員・公民館運営審議会委員・公民館分館長・主事合同研修視察	*13名
計2団体		小計 36名

華麗なるパリ ベル・エポック展

7月11日(火)	佐渡市新穂地区民児協	12名
10月1日(日)	FKツアーズ	12名
計2団体		小計 24名

コレクション展第2期

8月4日(金)	阪急交通社 クリスタルハート【極】	15名
計1団体		小計 15名

コレクション展第3期

9月24日(日)	南部体育協会	34名
10月4日(水)	社会福祉法人 新潟しなの福祉会 あどぼんす	29名
計2団体		小計 63名

ベルギーと日本

10月6日(金)	公益財団法人長岡市国際交流協会	23名
10月25日(水)	新潟教弘友の会	*37名
10月26日(木)	新潟教弘友の会	*36名
10月28日(土)	(株)たちばな	9名
計4団体		小計 105名

コレクション展第3期

11月23日(木・祝)	新潟市北区郷土博物館 市民ボラ ンティア	12名
計1団体		小計 12名

●大学

華麗なるパリ ベル・エポック展

7月8日(土)	長岡造形大学	*202名
計1団体		小計 202名

●幼稚園・保育園・こども園

コレクション展第4期

3月14日(木)	みどりこども園	21名
計1団体		小計 21名

総合計 17団体 581名

学校教育との連携

●教育課程及び部活動での利用

学校のカリキュラムにより来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。

対話による鑑賞を再開したが、授業としての来館数は多くなく、部活動での土・日曜日の来館が目立った。

【対話による鑑賞／解説】（児童・生徒367名+引率35名）

コレクション展第2期／華麗なるパリ ベル・エポック展

7月 4日(火)	小千谷市立千田小学校	5年生	21名 (2名)
7月 7日(金)	小千谷市立南小学校	5年生	12名 (1名)
7月12日(水)	新潟県立長岡明德高等学校	社会人クラス	7名 (1名)
7月28日(金)	新潟県立長岡商業高等学校	美術部	6名 (2名)
8月 8日(火)	新潟県立長岡工業高等学校	美術部	16名 (1名)

コレクション展第3期／ベルギーと日本

9月21日(木)	小千谷市立東小千谷小学校	5年生	43名 (2名)
9月21日(木)	小千谷市立東山小学校	5年生	4名 (1名)
10月26日(木)	小千谷市立小千谷小学校	5年生	59名 (4名)
10月27日(金)	小千谷市立片貝小学校	5年生	34名 (2名)
11月 1日(木)	小千谷市立小千谷小学校	5年生	57名 (4名)

コレクション展第3期／ジュニア展

12月13日(水)	長岡市立柿小学校	1～6年生	92名 (13名)
-----------	----------	-------	-----------

コレクション展第4期

3月13日(水)	柏崎市立北条小学校	6年生	16名 (2名)
----------	-----------	-----	----------

【自由鑑賞】（児童・生徒278名+引率19名）

コレクション展第1期／望郷の画家 橋本龍美展

6月 3日(土)	魚沼市立小出中学校	美術部	24名 (1名)
----------	-----------	-----	----------

コレクション展第1期

6月17日(土)	創進学園高等学校	2年生	28名 (2名)
----------	----------	-----	----------

コレクション展第2期／華麗なるパリ ベル・エポック展

7月15日(土)	新潟市立白根北中学校	美術部	13名 (1名)
8月 8日(火)	見附市立西中学校	美術部	25名 (1名)
8月23日(水)	南魚沼市立六日町中学校	美術部	8名 (2名)

コレクション展第3期／ベルギーと日本

11月10日(金)	長岡英智高等学校	1～3年生	66名 (4名)
-----------	----------	-------	----------

コレクション展第3期

9月15日(金)	長岡市立中之島中央小学校	3年生	63名 (3名)
12月 1日(金)	長岡市立宮内中学校	特別支援学級	3名 (2名)
12月 2日(土)	長岡市立江陽中学校	美術部	13名 (1名)
12月 2日(土)	長岡市立東北中学校	美術部	25名 (1名)
12月 2日(土)	長岡市立越路中学校	美術部	10名 (1名)

●教員研修会の受け入れ

要望があった場合、学校教員の研修会の会場として館の施設を提供。研修会の講師を務めた。それぞれ展示室で対話による鑑賞を体験した。(館外で実施した研修会については、「調査・研究」の「講演・講義等」項を参照のこと)

5月10日(水) 長岡市教員研修講座 (講師：宮下東子) 7名

8月22日(火) 三条市学校教育研究協議会 図工・美術部会 (講師：宮下東子) 18名

8月 9日(水) 公孫会北魚支部 図工・美術サークル (講師：宮下東子) 4名

11月 9日(木) 長岡市三島郡美術教育研究会 24名

【館外】

11月 8日(水) 燕市・西蒲原郡中学校教育研究会 (講師：宮下東子) 4名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期間	日数	開催企画展名称	企 画 展								コレクション展								月計				
				学 校 等						障がい者	介助	親子 ふれあい デー	合計	学 校 等							障がい者	介助	マイナ ンバー カード （伏見）	合計
				小中			高校							小中			高校							
				校数	児童・ 生徒	引率	校数	生徒	引率					校数	児童・ 生徒	引率	校数	生徒	引率					
4	1~2	2											0	0	0	0	0	0	3	2		5		
	11~14	4											0	0	0	0	0	0	5	1		6		
	15~30	14		0	0	0	0	0	0	48	7	55	0	0	0	0	0	0	40	6		46		
5	1~31	27	橋本龍美展	0	0	0	0	0	0	104	21	125	0	0	0	0	0	0	97	22		119		
6	1~4	4		0	0	0	0	0	0	27	5	32	1	0	1	0	0	0	24	4		29		
	6~18	12											0	0	0	1	24	2	34	5		65		
	27~30	4											0	0	0	0	0	0	0	0		0		
7	1~30	26		3	(46)	4	2	13	3	157	23	78	2	(33)	3	2	17	3	108	21	2	154		
8	1~27	25	ベル・エポック展	2	(33)	3	1	16	1	176	38		2	(33)	3	1	16	1	120	33	11	184		
	29~31	3											0	0	0	0	0	0	3	0		3		
9	1~3	3											0	0	0	0	0	0	0	0		0		
	12~15	4											1	(63)	3	0	0	0	3	0		6		
	16~30	13		2	(47)	3	0	0	0	52	12	27	2	(47)	3	0	0	0	40	9		52		
10	1~31	26	ベルギーと日本	2	(93)	6	0	0	0	84	13	103	2	(93)	6	0	0	0	86	12		104		
11	1~12	11		1	(57)	4	1	66	4	35	11	120	1	(57)	4	1	66	4	29	6		109		
	14~30	15											0	0	0	0	0	0	13	2		15		
12	1~17	15											5	(143)	18	0	0	0	11	5		34		
	26~28	3											0	0	0	0	0	0	2	1		3		
1	4~12	8											0	0	0	0	0	0	8	2		10		
	13~31	16	白髪一雄							40	11	25	76	0	0	0	0	0	41	12		53		
2	1~25	22								44	12	56	0	0	0	0	0	0	41	10		51		
	27~29	3											0	0	0	0	0	0	2	0		2		
3	1~31	27											1	16	2	0	0	0	28	3		33		
合 計	287			10	(276)	20	4	95	8	767	153	130	1,173	17	(453)	43	5	123	10	738	156	13	1,083	2,256

* 小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒は観覧料無料のため、免除者数には含まない。(表中カッコ書きの数値)

* 上記のほか、7月15日の開館記念日はコレクション展観覧料を免除とした(観覧者数292名)。

博物館実習

【趣旨】

学芸員資格取得を目指す学生等のための博物館実習を実施し、3名の実習生を受け入れた。美術館学芸員の諸業務に関する講義のほか、各分野の作品の取り扱いについて実習を行った。また「作品展示実習」として、自分で選んだ作品について、キャプション作成、展示、照明設置、撤収までを体験する演習を行ったほか、「作品解説会」の実習では、実際に開館中の展示室内で来館者を前に実習生一人一人が解説会を行うなど、学芸業務を実際に体験させることに重点をおいた。

【実習期間】

7月19日(水)～7月27日(木) ※土・日を除く計7日間

【実習生の所属および受け入れ人数】

長岡造形大学 3名

【カリキュラム】

月 日	時限	内 容	担 当
7月19日(水)	1	開講式／オリエンテーション	館長・副館長・飯島
	2	企画展見学／コレクション展見学	平石／飯島
	3	講義：博物館運営に関わる法律・現在の博物館を取り巻く状況	松矢
	4	バックヤード見学	飯島
7月20日(木)	1	講義：ミュージアムエデュケーション	宮下
	2		
	3	講義：学芸課の業務 展覧会の企画から礼状まで	松矢
	4	実習：作品解説会準備① (各室の分担決め)	飯島
7月21日(金)	1	実習：作品の取り扱い・点検 (平面作品) ※保存修復含	飯島・松矢
	2		
	3	実習：作品の取り扱い・展示 (工芸)	長嶋
	4	実習：作品解説会準備② 研究	飯島
7月24日(月) (休館日)	1	実習：作品の取り扱い・展示 (軸・屏風)	長嶋
	2		
	3	実習：作品展示実習① 作品選定	飯島・長嶋・伊澤
	4		
7月25日(火)	1	講義：作品の調査研究	平石
	2	講義：総務課の業務 (含館内で働く人々)	中村
	3	実習：作品解説会準備③ 研究	飯島・長嶋・伊澤
	4	実習：作品解説会本番	学芸課
7月26日(水)	1	講義：作品の収集・分類・保管／データベース管理	今井／飯島
	2	実習：作品展示実習② キャプション作成	飯島・長嶋・伊澤
	3		
	4		
7月27日(木)	1	実習：作品展示実習③ 作品搬入、展示作業	飯島・長嶋・伊澤
	2		
	3		
	4	実習：作品展示実習④ 撤収作業／閉講式	飯島・長嶋・伊澤／館長

8時50分出勤 実習場所は会議室を基本とする

①9:10～10:30 (80分) ②10:50～12:10 (80分)

③13:10～14:30 (80分) ④14:50～16:10 (80分)

担当 飯島沙耶子

イベント

講演会等

開催日	時間	関連展覧会名	講座名	講師	会場	内容	対象等	参加者数
5月20日(土)	14:00～ 14:45	糸で描く物語	出品作家による トークイベント	蝸牛あや氏(本展 出品作家)	展示室	出品作品を中心に解説した。	一般 要観覧券	18
2月25日(日)	11:00～ 12:00	コシノジュンコ	コシノジュンコ トークイベント	コシノジュンコ氏 (本展出品作家) /司会:松本亜美 氏(TeNYアナウ ンサー)	朱鷺メッセ2F 中会議室201	創作活動の軌跡と展覧会の内 容について解説した。	一般 要観覧券 要申込	175
3月18日 (月・休館日)	13:30～ 16:00	コシノジュンコ	県内学生を対象と したコシノジュン コによるギャラ リートーク+展覧 会鑑賞	コシノジュンコ氏 (本展出品作家)	展示室、 美術館ロビー	ファッションデザインを学ぶ 県内の大学生・専門学校生を 中心としたギャラリートーク と質疑応答後、展覧会を自由 鑑賞した。	一般 要観覧券 要申込	69

計262名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	ワークショップ名	講師	会場	内容	対象等	参加者数
6月24日(土)	10:30～ 15:30	糸で描く物語	「私達のまち」の 地図をつくろう	秋山さやか氏 (本展出品作家)	展示室、 美術館ロビー	みんなで考えながら1つの 「まち」を作り、地図に描き 起こして糸や布を使い自分の 家を建てる。翌日には、ワー クショップでうまれた「まち」 を作家が「あるく」公開制作 を行い、会期中、館内に作品 を展示した。	一般親子 要申込	8
7月2日(日)	13:30～ 16:00	糸で描く物語	刺繍の会 (子ども向け)	近藤実可子氏 (刺繍作家)	美術館ロビー	やさしい図柄を刺繍して、ヘ アゴムまたはブローチに仕上 げた。	一般親子 有料・ 要観覧券 要申込	12
7月9日(日)	13:30～ 16:00	糸で描く物語	刺繍の会 (一般向け)	近藤実可子氏 (刺繍作家)	美術館ロビー	ハンカチにワンポイント刺繡 をした。	一般 有料・ 要観覧券 要申込	8
10月29日(日)	①11:00 ～12:00 ②13:00 ～14:00 ③15:00 ～16:00	イッタラ展	自分だけのガラスの 箸置きをつくろう!	星名泉氏 (ガラス作家)	美術館ロビー	色とりどりのガラス素材を組 み合わせて、オリジナルのガ ラスの箸置きを制作し、講師 が工房で焼き上げて後日郵送 した。	小中学生 (保護者可) 有料 要申込	37

計65名
総合計327名

館外活動・地域との連携

出前講座

学校や各種団体の依頼に応じて、展覧会や県出身作家等をテーマとして実施した。

No.	月日	時間	対象	内容	コマ数	受講者数	担当者
1	6月6日(火)	11:10~12:40	新潟デザイン専門学校	「日本画の基礎知識」	1	28	池田
2	6月9日(金)	18:15~19:00	金沢大学同窓会新潟支部	「糸で描く物語展」	1	30	松本
3	8月31日(木)	11:00~11:55	新潟県立新潟商業高等学校 2年生	「ヨシタケシンスケ展かもしれない鑑賞事前授業」	1	74	池田

合計3コマ 132名

図書館との連携

企画展関連書籍コーナーの設置

■原田治展

新潟県立図書館 4月1日(土)~23日(日)
※全体期間は3月28日(火)から

■糸で描く物語

新潟県立図書館 5月30日(火)~7月2日(日)

■ヨシタケシンスケ展かもしれない

新潟県立図書館 8月29日(火)~9月24日(日)
妙高市立図書館 8月1日(火)~31日(木)
柏崎市立図書館 (期間不明)
糸魚川市民図書館 7月29日(土)~9月24日(日)
糸魚川市能生図書館 (期間不明)
糸魚川市青海図書館 (期間不明)

NIIGATAアートのリンク

※69ページを参照

担当 濱田真由美、松本奈穂子

刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
令和5年度年間スケジュール	令和5年度の企画展の日程及び内容などをまとめたもの	A4判 巻き三つ折り	40,000部	2023年 4月1日	企画展予定/開館カレンダー/観覧料免除/小さなお子様連れ・障害者向け施設案内/友の会案内/新潟県立近代美術館の企画展/交通案内/駐車場案内
新潟県立近代美術館 研究紀要 第22号	学芸員による研究報告	A4判 72頁	350部	2024年 3月1日	・長嶋圭哉「下村観山の新潟旅行(明治42年)について—新出作品《普賢文殊》を起点に」 ・松矢国憲「江口草玄の未公開資料(一) 昭和三十三年(一九五八) — 六十年(一九八五)」 ・英文要旨

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会の会期中に展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるよう学芸員による作品解説会等を行った。

企画展 糸で描く物語		企画展 イッタラ展		総合計	
期日	人数	期日	人数		
6月 3日(土)	30名	10月21日(土)	23名		
6月17日(土)	21名	11月19日(日)	43名		
7月15日(土)	30名				
(3回)		(2回)		5回	
小計	81名	小計	66名	147名	

団体の受入れ

団体来館のうち、希望に応じて作品解説や施設紹介等を行った。一覧は把握した団体のみを記載。

*印は解説等を行った団体

●一般団体

原田治展 「かわいい」の発見

4月 4日(火)	放課後ディサービス アートキャンプ	8名
4月 8日(土)	日中一時支援オハナ	15名
計2団体	小計	23名

糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。

5月25日(木)	新潟日報カルチャースクールメディアシップ教室	*16名
5月27日(土)	福祉事業所ハーモニー	16名
5月28日(日)	スイムリーダー愛	15名
6月10日(土)	NPO法人こころ楽楽	12名
6月19日(月)	アートキャンプ新潟えるも	8名
6月24日(土)	日中一時支援オハナ	17名
7月 8日(土)	NPO法人こころ楽楽	17名
7月11日(火)	チューリップ会	10名
7月12日(水)	孫の手トラベル	*15名
計9団体	小計	126名

ヨシタケシンスケ展かもしれない

8月 2日(水)	アートキャンプ みいむ	*11名
8月 3日(木)	日比野音療研究所	21名
8月 4日(金)	放課後等ディサービス Room荻川	13名
8月 5日(土)	せきかわ歴史とみちの館	21名
8月 6日(日)	NPO法人こころ楽楽	7名
8月 8日(火)	地域活動支援センターフリースペースのみり	*15名
8月 8日(火)	放課後ディサービス オハナ魁	*19名
8月11日(金)	日中一時支援オハナ	13名
8月17日(木)	アートキャンプ みいむ	*7名
8月22日(火)	福祉事業所ハーモニー	7名

8月23日(水)	放課後ディサービスアートキャンブいすか	9名
8月25日(金)	三条組みのり会	15名
8月26日(土)	NPO法人こころ楽楽	10名
8月27日(日)	新潟県立美術館友の会	*5名
8月27日(日)	NPO法人こころ楽楽	19名
8月29日(火)	福祉施設シロヤマ	9名
8月29日(火)	みんなの家ととも	10名
8月29日(火)	福祉作業所青山ファクトリー	6名
8月31日(木)	福祉作業所ハーモニー	5名
9月 6日(水)	新潟市小学校教育研究協議会図画工作部	*66名
9月12日(火)	シニアカレッジ25A同期会	8名
9月13日(水)	障害福祉サービス事業メイブルかめだ	6名
9月20日(水)	中之口地区ボランティアグループ連絡協議会	28名
計23団体	小計	330名

イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき

10月 7日(土)	岡山商工会議所女性会	8名
10月22日(日)	NPO法人こころ楽楽	6名
10月24日(火)	長岡地区更生保護女性会	29名
10月25日(水)	きたかた中央大学(老人大学)	34名
11月 3日(金)	アートキャンブいすか	6名
11月 4日(土)	NPO法人こころ楽楽	8名
11月 5日(日)	新潟県立美術館友の会	*30名
11月 7日(火)	新潟市美術教員研修会	*7名
11月11日(土)	国際ソロプチミスト喜多方	11名
11月18日(土)	けんしん会	10名
12月 7日(木)	新潟日報カルチャースクールメディアシップ教室	*8名
12月 8日(金)	寺泊町商工会女性部	9名
計12団体	小計	166名

合計 46団体 645名

学校教育との連携

●**図工・美術の授業及び部活動での利用－展覧会の鑑賞**
 学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。
 特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

[学芸員による作品解説を行った学校] **503名**
 (児童・生徒449名+引率者54名)

- 原田治展「かわいい」の発見
 4月28日(金) 長岡造形大学 (3~4年) 21名
- 糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。
 6月14日(水) 学校法人大塚学園開志学園高等学校 (1~3年) 15名(3名)
 6月16日(金) 学校法人大塚学園開志学園高等学校 (1~3年) 7名(2名)
 6月19日(月) 新潟市立宮浦中学校 (2~3年) 13名(1名)
 7月4日(火) 新潟県立豊栄高等学校 (2年) 14名(1名)
- ヨシタケシンスケ展かもしれない
 7月31日(月) 上越市立城西中学校 (1~3年) 25名(2名)
 8月1日(火) 村上市立荒川中学校 (1~3年) 16名(1名)
 8月2日(水) 新潟市立南浜中学校 (1~3年) 11名(1名)
 8月4日(金) 阿賀野市立笹神中学校 (1~3年) 6名(1名)
 8月8日(火) 上越市立柿崎中学校 12名(2名)
 8月8日(火) 見附市立西中学校 (1~3年) 25名(1名)
 8月8日(火) 小千谷市立小千谷中学校 30名(3名)
 8月8日(火) 村上市立村上第一中学校 (1~3年) 15名(1名)
 8月9日(水) 三条市立第三中学校 (1~3年) 11名(1名)
 9月1日(金) 長岡市立高等総合支援学校 (3年) 37名(15名)
 9月7日(木) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 67名(3名)
 9月13日(水) 新潟市立山の下の小学校 (2年) 33名(3名)
 9月13日(水) 新潟県立東新潟特別支援学校中等部 (2~3年) 3名(5名)
 9月19日(火) 日本アニメ・マンガ専門学校 (2年) 10名
 9月22日(金) 新潟市立東曾野木小学校 (1~2年) 47名(5名)
- イッたら展 フィンランドガラスのきらめき
 10月26日(木) 新潟県立小千谷西高等学校 (1~3年) 9名(1名)
 10月26日(木) 新潟県立栃尾高等学校 (1~2年) 3名(1名)
 10月26日(木) 新潟県立高田北城高等学校 (1~3年) 19名(1名)
- [展覧会鑑賞のみの学校]** **156名**
 (児童・生徒139名+引率者17名)
- 原田治展「かわいい」の発見
 4月21日(金) 長岡造形大学 21名
- 糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。
 5月20日(土) 南魚沼市立塩沢中学校 (1~2年) 15名(1名)
 6月8日(水) 国際トータルファッション専門学校 28名
 7月14日(金) 新潟県立西浦高等特別支援学校 (2年) 32名(13名)
- イッたら展 フィンランドガラスのきらめき
 10月12日(木) 新潟デザイン専門学校 15名
 10月26日(木) 新潟県立有恒高等学校 (1~3年) 5名(1名)
 10月26日(木) 新潟県立見附高等学校 (1~3年) 17名(1名)
 12月8日(金) 新潟県立新潟翠江高等学校 (1~3年) 6名(1名)

●**校外学習・総合学習**
 学校教育、特に中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて施設や職業に関する質問への対応や案内を行った。

[学芸員による解説を行った学校] **54名**
 (児童・生徒46名+引率者8名)

- 原田治展「かわいい」の発見
 4月26日(水) 新潟市立中野小屋中学校 (2年) 3名(1名)
- 糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。
 7月6日(水) 新潟市立鳥屋野中学校 (2年) 3名
 7月7日(金) 新潟市立小針中学校 (3年) 6名
- ヨシタケシンスケ展かもしれない
 9月6日(水) 精華学園高等学校新潟中央校 (1~3年) 14名(2名)
- イッたら展 フィンランドガラスのきらめき
 10月12日(木) 新潟市立関屋中学校 (2年) 5名(1名)
 10月27日(金) 新潟市立下山中学校 (2年) 12名(1名)
- JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点
 2月29日(木) 新潟県立新潟よつば学園高等部 (3年) 3名(3名)

[展覧会鑑賞のみの学校] **189名**
 (児童・生徒181名+引率者8名)

- 原田治展「かわいい」の発見
 4月18日(火) 新潟市立曾野木中学校 (2年) 5名
 4月21日(金) 新潟市立岩室中学校 (2年) 4名
 4月25日(火) 新潟市立関屋中学校 (2年) 35名
 4月25日(火) 新潟県立駒林特別支援学校高等部 (3年) 6名(5名)
 4月26日(水) 新潟市立大江山中学校 (2年) 27名
 4月26日(水) 湯川村立湯川中学校(福島県) (2年) 8名(1名)
- 糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。
 5月24日(水) 新潟市立木崎中学校 (2年) 19名
 7月5日(水) 新潟市立五十嵐中学校 (1年) 30名
 7月12日(水) 汕頭(しゃんとう)大学 17名
- ヨシタケシンスケ展かもしれない
 9月14日(木) 企業主導型保育園ひかりキッズ 19名
- イッたら展 フィンランドガラスのきらめき
 10月11日(水) 新潟市立関屋中学校 (3年) 2名(1名)
 10月12日(木) 新潟市立葛塚中学校 (2年) 4名
 11月2日(木) 新潟大学附属特別支援学校高等部 5名(1名)

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第12条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展覧会名	会期	日数	学 校 等						障がい者	介助	合 計
			小中・特			高校					
			校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率			
原田治展「かわいい」の発見	4月1日～5月7日	33	6	(82)	2	1	6	5	427	134	574
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	5月20日～7月17日	55	6	(86)	2	3	68	19	592	147	828
ヨシタケシンスケ展かもしれない	7月29日～9月24日	55	12	(234)	26	3	118	20	1,011	322	1,497
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	10月7日～12月10日	61	4	(23)	3	7	64	7	606	152	832
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	2月22日～3月31日	35	0	(0)	0	1	3	3	285	79	370
合 計		239	28	(425)	33	15	259	54	2,921	834	4,101

* 小学校、中学校及び特別支援学校（初等部・中等部）の児童生徒は観覧料無料のため、合計には含まない。（表中カッコ書きの数値）

サポートメンバー

(新潟県立万代島美術館ボランティア組織)

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、新潟県立万代島美術館サポートメンバーを組織している。本年度は下記のとおり活動を行った。

【ねらい】

- 1 来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
- 2 美術館の活動を共有し、美術館への関心と関りを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

【登録人数】 (R6年3月現在)

12名

【活動内容】

万代島美術館の活動や展覧会業務で必要な活動への協力。

- ・広報活動（ポスター、チラシ、年間スケジュールの発送作業）への協力
- ・イベント運営の補助

【課題】

多様な活動内容を用意し、各人の興味や得意分野に応じた協力を促していく必要がある。

博物館実習

【趣旨】

学芸員資格取得を目指す学生のために博物館実習を実施し、4名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導も行った。研究課題として所蔵品を使った展覧会企画を一人ずつ発表し、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。

【実習期間】

10月18日(水)～25日(水) ※土・日を除く計6日間

【実習生の所属および受入人数】

長岡造形大学 1名
和洋女子大学 1名
東北芸術工科大学 1名
お茶の水女子大学 1名 合計4名

【カリキュラム】

月日	曜日	時間	内容	担当
10月18日	水	1	開校式／館長挨拶／オリエンテーション／施設案内	館長・松本(課員)
		2	展示室案内・企画展「イッたら展」見学	濱田
		3	調査研究／作品収集／保存・修復	澤田
		4	研究課題(課題説明、テーマ・作品検討)	松本(池田)
10月19日	木	1	万代島美術館の現状と課題	館長
		2	展覧会の企画・運営／総論	館長
		3	作品の点検・取扱い(立体・写真)	館長
		4	研究課題(資料作成)	松本(池田)
近代美術館 10月20日	金	1	10:20～11:00 施設見学	松本(飯島)
		2	11:15～12:00 展覧会見学	伊澤
		3	13:00～14:20 教育普及①	宮下
		4	14:40～16:00 教育普及②	宮下
10月23日	月	1	受付・監視の仕事	囃託員
		2	総務担当の業務について(予算・人事等)	榎
		3	作品の点検・取扱い(平面)	澤田
		4	研究課題(資料作成)	松本(池田)
10月24日	火	1	刊行物／ホームページ	濱田
		2	作品の点検・取扱い(日本画)	池田
		3	友の会・サポートメンバー／作家資料の保管	池田
		4	研究課題(スライド作成)	松本(池田)
10月25日	水	1	連携・協働／広報／所蔵品貸出／データベース	松本
		2	研究課題(発表準備・配布資料準備)	松本(池田)
		3	課題発表／講評	学芸
		4	閉校式	館長・松本(課員)

※10:10出勤 実習場所：準備室

①10:10～11:30(80分) ②11:50～13:10(80分)

③14:15～15:35(80分) ④15:55～17:15(80分)

担当：松本奈穂子、池田珠緒

新潟県立近代美術館

【調査】

展覧会関連

- 長嶋圭哉 ジブリパークとジブリ展会場調査
神戸市立博物館 6月9日～10日
- 飯島沙耶子 白髪一雄展会場調査
尼崎市文化センター、北九州市立美術館
6月9日～10日
- 今井有 亀倉雄策賞受賞記念展岡崎智弘視察
クリエイションギャラリー G8 6月22日
- 平石昌子 モーリス・ドニと日本洋画（仮）作品調査
国立西洋美術館 7月4日
- 今井有 山下清展視察 SOMPO美術館
亀倉雄策賞受賞記念展三澤澤視察
クリエイションギャラリー G8 7月22日

作品・作家調査

- 長嶋圭哉 金子孝信作品調査 新潟市個人宅 5月9日
- 長嶋圭哉・飯島沙耶子 金子孝信作品調査 にいがた文化の記憶館、
新潟市潟東樋口記念美術館 6月28日
- 桐原浩 水島爾保布関連調査
柏崎市立図書館ソフィアセンター 7月4日
- 長嶋圭哉 浅野赤城作品調査 長岡市内 9月1日
- 長嶋圭哉 金子孝信作品調査
新潟市潟東樋口記念美術館 9月26日
- 長嶋圭哉 小島丹濛作品調査
阿賀野市水原ふるさと農業歴史資料館 他
10月16日
- 長嶋圭哉 金子孝信作品調査 新潟市潟東樋口記念美術館
10月31日
- 長嶋圭哉 小島丹濛作品調査 新潟市個人宅 他
11月20日
- 長嶋圭哉 下村観山文献調査（神奈川県立図書館）
12月24日
- 長嶋圭哉 栢森義作品調査 小金井市個人宅
1月28日
- 長嶋圭哉 小島丹濛作家調査 湯沢町内 2月9日
- 伊澤朋美 山内倉蔵作品調査 五泉市個人宅 3月5日
- 松矢国憲 作品調査 新潟市個人宅 3月13日

【図録執筆】

- 宮下東子 「橋本龍美の画業——望郷・望郷・望郷……懐かしい加茂での体験を糧に」『望郷の画家 橋本龍美展』図録
- 伊澤朋美 「武石弘三郎のベルギー」『ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる』図録

【研究紀要】

- 新潟県立近代美術館研究紀要 第22号 2024年3月1日発行
- 長嶋圭哉 「下村観山の新潟旅行（明治42年）について——新出作品《普賢文殊》を起点に
- 松矢国憲 「江口草玄の未公開資料（一） 昭和三十三年（一九五八）— 六十年（一九八五）」

【寄稿】

- 宮下東子 「橋本龍美をつくるもの」および、作品解説14点（《祭鉦》、《お化け地蔵》、《ガマチソウ》、《カラスウリ》、《化くらべ》、《冬門》、《赤壁》、《草深し》、《町づら、裏づら》、《宮山の四季》、《万華》、《大地漫行》、《御祭奠》、《メツチャカおんど》 成川美術館『橋本龍美展～妖怪と、ユーモアと、共感と、信仰と～』図録 3月14日発行
- 宮下東子 新美術新聞「望郷の画家 橋本龍美展—神も、庶民も、バケモノもふるさとよ—妖怪と、ユーモアと、共感と、信仰と」3月27日付
- 宮下東子 新潟日報「展覧会へようこそ 郷愁、悲哀に潜むかわいさ」4月25日付
- 長嶋圭哉 「土田麦僊 作品解説、主要展覧会、主要所蔵先、書誌」『日本アーティスト事典』（ベータ版）9月28日公開
- 伊澤朋美 新潟日報「展覧会へようこそ 3人の芸術家が架け橋に」10月5日付
- 長嶋圭哉 加茂市史だより48号「洋画家・栢森義の『雪女』シリーズ」3月発行
- 松矢国憲 藝術文化雑誌『紫明』第54号「白髪一雄作品に見る自他一如」3月28日発行

当館ホームページ内寄稿記事

「学芸員コラム」

- 長嶋圭哉 ⑱ 「横山操の戦前作品—《隅田河岸》と《渡船場》」4月26日
- 宮下東子 ⑳ 「橋本龍美「芸術には完成はない」!?」5月4日
- 飯島沙耶子 ㉑ 「白髪一雄を巡る旅 一身体性を取り戻すために」6月17日
- 松矢国憲 ㉒ 「開館30年を振り返って。（異聞）——幻の3つめの県立美術館の建設」7月1日
- 平石昌子 ㉓ 「ルートレックを巡るモノローグ—たかがポスター、されどポスター」8月8日
- 桐原浩 ㉔ 「120年前、ベルギーに留学した彫刻家・武石弘三郎がみていたかもしれない、ブリュッセルの街並みとロダンの初期作品について(1)」9月14日
- 桐原浩 ㉕ 「120年前、ベルギーに留学した彫刻家・武石弘三郎がみていたかもしれない、ブリュッセルの街並みとロダンの初期作品について(2)」10月2日
- 桐原浩 ㉖ 「120年前、ベルギーに留学した彫刻家・武石弘三郎がみていたかもしれない、ブリュッセルの街並みとロダンの初期作品について(3)」10月19日
- 伊澤朋美 ㉗ 「ヨーロッパにて 武石弘三郎が出会った人と作品」11月2日

- 桐原浩 ㉔ 「120年前、ベルギーに留学した彫刻家・武石弘三郎がみていたかもしれない、ブリュッセルの街並みとロダンの初期作品について(4)」 11月13日
- 桐原浩 ㉕ 「120年前、ベルギーに留学した彫刻家・武石弘三郎がみていたかもしれない、ブリュッセルの街並みとロダンの初期作品について(5)」 12月2日
- 金澤健志 ㉚ 「改めて「反戦への思い」」 2月26日
- 今井有 ㉛ 「作品を誰かと一緒に見る。」 3月25日

【講演・講義等】

- 伊澤朋美 「ベルギーと日本」リレートーク「つながる！太田君と児島君と武石君」 目黒区美術館 4月29日／高梁市成羽美術館 7月8日

新潟大学教育学部（日本・東洋美術史）非常勤講師

- 飯島沙耶子 「近世初期風俗画」 5月15日
- 飯島沙耶子 「浮世絵の誕生と展開」 6月12日

長岡造形大学「現代芸術論」補講

- 松矢国憲・平石昌子
当館 7月8日

新潟大学人文学部（美術史概説A）非常勤講師

- 桐原浩 ③ 「盛期ルネサンス（1400年代後半以降）イタリア」 10月25日
- 桐原浩 ④ 「北方ルネサンス ネーデルラント・ドイツ」 11月8日
- 桐原浩 ⑤ 「マニエリスム・バロック イタリア」 11月15日
- 今井有 ⑥ 「バロック オランダ・フランドル美術」 11月22日
- 平石昌子 ⑦ 「近代美術 18世紀フランス美術」 11月29日
- 平石昌子 ⑧ 「近代美術 ロマン主義」 12月6日
- 平石昌子 ⑨ 「近代美術 レアリズム」 12月13日
- 平石昌子 ⑩ 「近代美術 世紀末美術」 12月20日
- 桐原浩 ⑬ 「20世紀美術3 ドイツ表現主義を中心に」 1月24日
- 今井有 ⑭ 「20世紀美術4 バウハウスを中心に」 1月31日

教員研修会講師

- 宮下東子 長岡市教育センター（当館） 5月10日
- 宮下東子 小千谷市公孫会北魚支部図工サークル（当館） 8月9日
- 宮下東子 三条市学校教育研究会（当館） 8月22日
- 宮下東子 燕市・西蒲原郡中学校教育研究会 11月8日
- 宮下東子 長岡市三島郡美術教育研究会美術鑑賞研修(当館) 11月9日

【研 修】

- 松矢国憲 国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会 オンライン開催 6月22日
- 今井有 令和5年度美術館を活用した鑑賞教育充実のための指導者研修 国立国際美術館ほか 8月7日～8日
- 長嶋圭哉 足場の組み立て等作業従事者に対する特別教育 8月28日

【審査等】

- 今井有 教育の日ロゴ審査 新潟県庁 9月11日、10月13日
- 桐原浩 にいがたデジコングランプリ2023 オンライン開催 10月20日
- 松矢国憲 上越市美術資料収集委員会（書面）小林古径記念美術館 11月1日
- 金澤健志 中越教育美術展一次審査会 長岡市立上組小学校 11月22日
- 松矢国憲 上越市美術資料収集委員会 小林古径記念美術館 2月13日

【会 議】

- 桐原浩・藤井哲夫
新潟県博物館協議会総会 ホテル日航新潟 4月28日
- 桐原浩・松矢国憲
公開承認施設担当者会議 オンライン開催 6月23日
- 松矢国憲 シンポジウム新公開資料「壁画複製記録」を読み解く～明治神宮外苑 聖徳記念絵画館の壁画製作過程に迫る～ オンライン開催 7月22日
- 藤井哲夫 都道府県立美術館副館長等事務責任者会議 東京都現代美術館 10月5日～6日
- 松矢国憲 美術館連絡協議会総会 読売新聞東京本社 よみうり大手町ホール 11月15日
- 金澤健志 教育研究協議会 新潟大学教育学部附属長岡中学校 11月21日
- 桐原浩・飯島沙耶子
R5年度「地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」成果報告会 オンライン開催 11月30日

NIIGATAアートリンク2023連絡会議

- 今井有・金澤健志・飯島沙耶子
第1回 新潟市新津美術館 5月23日
- 平石昌子・金澤健志・飯島沙耶子
「華麗なるパリの〇〇な話」会議 オンライン開催 7月12日
- 今井有・金澤健志・飯島沙耶子
第2回 当館 10月12日
- 今井有・金澤健志・飯島沙耶子
第3回 新潟市美術館 2月6日

新潟県立万代島美術館

NIIGATAアートリンク2023教育普及部会

- 宮下東子・今井有・金澤健志・飯島沙耶子
第1回 万代島美術館 4月24日
- 宮下東子・今井有・金澤健志
第2回 当館 7月6日
- 宮下東子・今井有・金澤健志・飯島沙耶子
第3回 当館 10月12日
- 宮下東子・今井有・金澤健志・飯島沙耶子
第4回 新潟市美術館 2月6日

展覧会関連

- 平石昌子 「日本が見たドニ | ドニの見た日本」企画会議
オンライン開催 5月25日、6月23日、11月
17日、11月24日、2月8日、3月14日

【その他】

NIIGATAアートリンク共催事業

- 平石昌子・金澤健志・飯島沙耶子
トークイベント「華麗なるパリの〇〇な話」新
潟市新津美術館 7月29日
- 宮下東子・金澤健志・飯島沙耶子
教育普及部会研修会「令和5年度 学校×
NIIGATAアートリンク鑑賞と美術館一活用のた
めの研修会」当館 8月7日

【調査】

展覧会関連

- 池田珠緒 展覧会視察 福岡市科学館ほか 5月21～23日
- 濱田真由美 展覧会視察 福岡アジア美術館ほか
5月23～24日
- 澤田佳三 コシノジュンコ展打ち合わせ及び展覧会視察
東京都内 5月26日
- 藤田裕彦・松本奈穂子
展覧会視察 PLAY!MUSEUMほか 6月5日
- 澤田佳三 コシノジュンコ展打ち合わせ 見附市役所
8月1日
- 澤田佳三 展覧会視察 いわき市立美術館 8月3日
- 澤田佳三 展覧会視察 佐倉市立美術館 9月2日
- 澤田佳三 コシノジュンコ展打ち合わせ及び展覧会視察
東京都内 10月26日
- 澤田佳三・松本奈穂子
コシノジュンコ展関連イベント打ち合わせ
長岡造形大学 11月14日
- 藤田裕彦 展覧会視察 森アーツセンターギャラリー
11月16日
- 澤田佳三 コシノジュンコ展展示視察 あべのハルカス美術
館 11月20～22日
- 池田珠緒 展覧会視察 名古屋科学館ほか
11月28日～12月1日

作品・作家調査

- 濱田真由美・松本奈穂子
五泉ニット作品調査 五泉市内 4月7日
- 濱田真由美 亀倉コレクション作品調査 近代美術館
6月19日
- 濱田真由美 富井大裕作家・作品調査 新潟市美術館
6月25日
- 藤田裕彦 金子孝信作品調査 にいがた文化の記憶館、新潟
市潟東樋口記念美術館 6月28日
- 澤田佳三 星野健司作品調査 新潟市内 7月6日
- 藤田裕彦・松本奈穂子
田畑あきら子作品調査 東京都内個人宅
12月7日
- 濱田真由美 萩原朔美インタビュー 東京都現代美術館
2月27日
- 澤田佳三 佐藤哲三作品調査 砂丘館 3月22日
- 澤田佳三 西垣維新作品調査 新潟市内個人宅 3月27日

【寄稿】

澤田佳三 新潟日報「展覧会へようこそ コシノジュンコ
原点から視点」 3月21日

当館ホームページ内寄稿記事

「学芸ノートB版」

※当館ホームページ「トピックス欄」で掲載。開催展や所蔵品、
調査研究の成果などについて執筆。

- 藤田裕彦 ①「開館20周年を振り返る① 開館準備室時代
1」 6月3日
- 濱田真由美 ②「2021年新収蔵 久保田成子の映像作品「ブ
ロックン・ダイアリー」シリーズ」
7月24日
- 藤田裕彦 ③「開館20周年を振り返る② 開館準備室時代
2」 8月18日
- 松本奈穂子 ④「糸で描く物語」を振り返って ワークショッ
プとその後」 11月1日
- 藤田裕彦 ⑤「そこまでは難しくないけれど、理解するの
に多少時間のかかる現代美術の話① コンセプ
チュアル・アート（概念美術）って何？」
12月1日
- 藤田裕彦 ⑥「開館20周年を振り返る③ 〈ニュー・シネマ・
パラダイス〉の思い出 前編」 1月26日
- 藤田裕彦 ⑦「開館20周年を振り返る④ 〈ニュー・シネマ・
パラダイス〉の思い出 中編」 2月1日
- 藤田裕彦 ⑧「開館20周年を振り返る⑤ 〈ニュー・シネマ・
パラダイス〉の思い出 後編」 2月10日
- 池田珠緒 ⑨「開館20周年を振り返る⑥ 日本画展あれこ
れ」 3月7日

【講演・講義等】（出前講座は除く）

新潟大学人文学部（美術史概説A）非常勤講師

- 松本奈穂子 ①「ゴシック イタリア」 10月4日
- 松本奈穂子 ②「初期ルネサンス（1400年代まで）イタリア」
10月11日
- 濱田真由美 ⑩「20世紀美術① フォーヴィスム、キュビス
ムから抽象へ」 1月10日
- 濱田真由美 ⑫「20世紀美術② シュルレアリスム、ダダを
中心に」 1月17日
- 藤田裕彦 ⑮「20世紀美術⑤ 戦後・現代」 2月7日

【研修】

- 松本奈穂子 全国美術館会議 第38回学芸員研修会 国立新
美術館 3月7～8日
- 濱田真由美 広報スキルアップ研修（SNS活用法）新潟県庁
3月8日

【審査等】

- 藤田裕彦 第1回新潟市會津八一記念館指定管理者申請者評
価会議
新潟市産業振興財団ビジネス支援センター
7月7日
- 藤田裕彦 新潟県伝統工芸品審査委員会 新潟県庁
7月13日
- 藤田裕彦 第2回新潟市會津八一記念館指定管理者申請者評
価会議
新潟市役所ふるまちなち舎 8月29日
- 藤田裕彦 第3回新潟市會津八一記念館指定管理者申請者評
価会議
新潟市産業振興財団ビジネス支援センター
10月12日
- 藤田裕彦 工芸2023審査会 雪梁舎美術館 11月11日
- 松本奈穂子 第39回新潟デザイン専門学校卒業制作・修了制
作展 デザイン展
グランプリ審査 新潟市民芸術文化会館りゅーと
びあ 2月2日

【会議】

- 藤田裕彦 新潟県博物館協議会総会 ホテル日航新潟
4月28日
- 藤田裕彦 美術館連絡協議会2023年度総会
読売新聞東京本社よみうり大手町ホール
11月15日

NIIGATAアートリンク2023連絡会議

- 松本奈穂子 第1回 新潟市新津美術館 5月23日
- 濱田真由美・松本奈穂子
「華麗なるパリの〇〇な話」会議 オンライン開
催 7月12日
- 松本奈穂子 第2回 近代美術館 10月12日
- 濱田真由美・松本奈穂子
第3回 新潟市美術館 2月6日

NIIGATAアートリンク2023教育普及部会

- 濱田真由美 第1回 万代島美術館 4月24日
- 松本奈穂子 第2回 近代美術館 10月12日
- 濱田真由美・松本奈穂子
第3回 新潟市美術館 2月6日

【その他】

NIIGATAアートリンク共催事業

- 濱田真由美 トークイベント「華麗なるパリの〇〇な話」新
潟市新津美術館 7月29日
- 濱田真由美・松本奈穂子
教育普及部会研修会「令和5年度 学校×
NIIGATAアートリンク鑑賞と美術館一活用のた
めの研修会」近代美術館 8月7日

美術品の収集

令和5年度の収集作品一覧

分野	各領域点数	合計点数
新潟の美術	日本画6 油彩画他1 彫刻2 水彩画39(分類替) 素描2 資料151(うち2点は分類替)	201
日本の美術	デザイン42	42
世界の美術	資料1	1
総合計	日本画6 油彩画他1 彫刻2 水彩画39 素描2 デザイン42 資料152	244

●各作品データの記載順序は、下記の通り。

作者名 (和文・欧文)
 生没年 (西暦・和暦)
 作品名 (和文・欧文)
 制作年 (西暦・和暦)
 技法・素材・形状 (和文・欧文)
 寸法
 署名・落款・年紀・その他の記載事項
 収蔵の年度・経緯
 所蔵品番号

●寸法については、特に但し書きのない限り下記の通りに記載した。

平面作品…画面の縦×横 (cm)
 (版画の場合はイメージサイズ、屏風の場合は例外を除き一隻の寸法)
 立体作品…高さ×幅×奥行 (cm)

新潟の美術



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928～2016 (昭和3～平成28)

祭り人
People of the Festival
1966年 (昭和41)
紙本彩色 color on paper
額装
162.0×177.5
2023年度 (令和5) 橋本誠治氏寄贈
JP0556



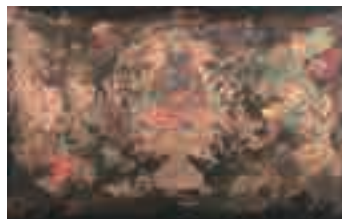
日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928～2016 (昭和3～平成28)

見世物
Freak Show
1966年 (昭和41)
紙本彩色 color on paper
額装
163.4×178.6
2023年度 (令和5) 橋本誠治氏寄贈
JP0557



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928～2016 (昭和3～平成28)

森のこだま
Echo of the Forest
1971年 (昭和46)
紙本彩色 color on paper
額装
163.0×178.0
2023年度 (令和5) 橋本誠治氏寄贈
JP0558



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928～2016 (昭和3～平成28)

お化寺
Ghost of the Temple
1975年 (昭和50)
紙本彩色 color on paper
額装
161.5×256.0
2023年度 (令和5) 橋本誠治氏寄贈
JP0559



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928~2016 (昭和3~平成28)

慈光冬門
Affectionate Light of the Winter Gate
1978年 (昭和53)
紙本彩色 color on paper
額装
143.5×226.0
2023年度 (令和5) 橋本誠治氏寄贈
JP0560



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928~2016 (昭和3~平成28)

望郷四季
The Four Seasons of Nostalgia-Hometown
1986年 (昭和61)
紙本彩色 color on paper
三曲一隻屏風
145.5×213.4
画面左下に落款「龍美」、朱文方印
2023年度 (令和5) 長澤敬一氏寄贈
JP0561



油彩画ほか
佐藤哲三 SATO, Tetsuzo
1910~1954 (明治43~昭和29)

二宮九八郎の肖像
Portrait of Ninomiya Kuhachiro
1937年 (昭和12)
キャンヴァス、油絵具
canvas, oil color
額装
57.5×39.5
2023年度 (令和5) 二宮ふみ氏寄贈
OP0625



彫刻
武石弘三郎 TAKEISHI, Kozaburo
1877~1963 (明治10~昭和38)

文芸委員会賞牌
Medal of Bungei-linkai
1912年 (明治45・大正元)
メダル medal
直径5.5×厚さ0.5
左下 [K.TAKEISHI]
2023年度 (令和5) 武石幸氏寄贈
SC0084



資料
シャプラン, ジュール=クレマン
CHAPLAIN, Jules-Clément
1839~1909

**ブリュッセル王立美術学校
最高試験最高賞メダル**
*First prize Medal of the Highest
Examination of the Royal Academy
of Fine Arts of Brussels*
1906年 (明治39) 発行/
1960年 (昭和35) 填再発行
メダル medal
直径4.3×厚さ0.3
中央下 [J.C.CHAPLAIN]
2023年度 (令和5) 武石幸氏寄贈
MA0389



彫刻
星野健司 HOSHINO, Kenji
1951~ (昭和26~)

行者
Ascetic
2010年 (平成22)
鉄、ステンレス iron, stainless
背面左股の付根 [Kenji 2010]
2023年度 (令和5) 作家寄贈
SC0085



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画2
砂浜と街 (P2-3)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 2
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.3×76.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-002



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画5
神父の視察 (P5)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 5
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
29.0×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-005



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画6
教会の建設 (P6)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 6
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
36.0×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-006



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画7
木造教会の完成 (P7)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 7
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.8×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-007



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画8
井戸を掘る (P8-9)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 8
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.9×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-008



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画10
池ができる (P11)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 10
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
36.0×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-010



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画11
池畔と花 (P12-13)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 11
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.2×76.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-011



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画13
大水の教会 (P15)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 13
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.9×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-013



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画14
大水のあとの池 (P16-17)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 14
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.5×65.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-014



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画15
大火 (P18-19)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 15
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.8×50.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-015



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画16
夕暮れの池 (P21)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 16
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.8×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-016



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画17
ポプラの池畔 (P22-23)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 17
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.9×50.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-017



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画18
夏の池畔 (P24-25)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 18
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.3×75.5
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-018



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画21
現教会の建設 (P27)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 21
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.8×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-021



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画22
現教会の完成 (P28-29)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 22
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.0×75.8
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-022



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画23
現教会の池畔 (P30-31)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 23
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.2×75.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-023



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画25
スケートリンク (P33)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 25
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.8×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-025



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画27
記念写真をとる (P35)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 27
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.7×50.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-027



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画28
大水と鉄砲水 (P36-37)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 28
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.3×76.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-028



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画31
戦時中の秋 (P39)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 31
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
35.8×50.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-031



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画32
空襲の夜 (P40-41)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 32
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.6×76.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-032



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画33
畑になった池の跡 (P42)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 33
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
36.2×51.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-033



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画34
住宅街 (P43)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 34
1986年度 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
36.2×45.3
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-034



水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画35
現在の池跡 (P44-45)
"Story of a Certain Pond"
Original Pictures 35
1986年度 (昭和61)
紙、水彩、ペン
paper, water-color, pen
額装
28.0×76.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-035

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画1
水草と魚 (P1)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 1
1986年 (昭和61)
紙、水彩 paper, water-color
額装
22.7×33.3
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-001

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画9
草花と実 (P10)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 9
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
8.5×36.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-009

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画20
水草2 (P26)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 20
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
7.8×36.5
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-020

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画29
うしがえる (P38)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 29
1986年 (昭和61)
紙、水彩 paper, water-color
額装
10.0×17.3
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-029

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画37
見返し (参考地図 大正六年)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 37
1986年 (昭和61)
紙、ペン paper, pen
額装
28.0×22.3
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-037

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画3
小動物 (P4)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 3
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
9.7×36.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-003

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画12
蛇や蛙や魚 (P14)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 12
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
13.3×36.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-012

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画24
下駄スケート (P32)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 24
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
6.5×35.7
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-024

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画30
おたまじゃくし (P38)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 30
1986年 (昭和61)
紙、水彩 paper, water-color
額装
5.3×31.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-030

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画38
見返し (参考地図 昭和27年)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 38
1986年 (昭和61)
紙、ペン paper, pen
額装
26.2×22.3
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-038

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画4
草の実 (P4)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 4
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
9.7×36.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-004

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画19
水草1 (不使用)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 19
1986年 (昭和61)
紙、水彩、ペン paper, water-color, pen
額装
5.8×35.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-019

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画26
ユスリカ (P34)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 26
1986年 (昭和61)
紙、水彩 paper, water-color
額装
5.7×35.7
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-026

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画36
ハマナス (P47)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 36
1986年 (昭和61)
紙、水彩 paper, water-color
額装
18.3×23.0
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-036

水彩
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 原画39
裏表紙 (黒藻の花)
"Story of a Certain Pond" Original
Pictures 39
1983年 (昭和58)
水彩、水彩ボード drawing-board, water-color
マット装
32.0×45.9
2023年度 (令和5) 分類替
WC0268-039



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(1/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-001



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(2/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-002



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(3/42)
"Story of a Certain Pond" Trial
Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-003



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(4/42)
"Story of a Certain Pond" Trial
Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-004



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(5/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-005



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(6/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-006



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(7/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-007



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(8/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-008



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(9/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-009



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(10/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-010



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(11/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-011



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(12/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-012



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(13/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-013



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(14/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-014



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(15/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-015



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(16/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-016



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(17/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-017



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(18/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-018



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(19/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-019



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(20/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-020



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(21/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-021



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(22/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-022



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(23/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-023



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(24/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-024



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(25/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-025



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(26/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-026



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(27/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-027



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(28/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-028



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(29/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-029



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(30/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-030



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(31/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-031



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(32/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-032



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(33/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-033



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(34/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-034



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(35/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-035



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(36/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-036



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(37/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-037



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(38/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-038



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(39/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-039



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(40/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、水彩、鉛筆、色鉛筆
paper, water-color, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-040



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(41/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、鉛筆、色鉛筆
paper, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-041



資料
三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり 試作
(42/42)
"Story of a Certain Pond"
Trial Production
1984年 (昭和59)
紙、鉛筆、色鉛筆
paper, pencil, colored pencil
まくり
24.0×33.0
2023年度 (令和5) 分類替
MA0390-042

資料

三芳悌吉 MIYOSHI, Teikichi
1910~2000 (明治43~平成12)

ある池のものがたり

構想メモ帳

"Story of a Certain Pond" Design Memo

1985年頃 (昭和61頃)

紙、ボールペン、鉛筆

paper, ballpoint-pen, pencil

クロッキー帳

21.8×25.5

2023年度 (令和5) 分類替

MA0391

素描

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[スケッチブック]

[Sketch Book]

1994年頃 (平成6頃)

インク、色鉛筆、紙 Ink and color pencil on paper

41×33

全19枚 (38ページ)

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

DR0780

素描

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[スケッチブック]

[Sketch Book]

1995年頃 (平成7頃)

水彩、鉛筆、紙 Watercolor and pencil on paper

41×33

全20枚 (40ページ)

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

DR0781

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《Suddenly》展示風景 (「第15回日本アンデパンダン展 (読売アンデパンダン展)」)

[Documents related to Shigeko Kubota]

"Suddenly" shown at the "15th Yomiuri Independent Exhibition"

1963年 (昭和38)

写真 Photography 10.3×17.3

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-001

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《We can make it》展示風景 (「第15回日本アンデパンダン展 (読売アンデパンダン展)」)

[Documents related to Shigeko Kubota]

"We can make it" shown at the "15th Yomiuri Independent Exhibition"

1963年 (昭和38)

写真 Photography 2枚

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-002~003

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

「第15回日本アンデパンダン展 (読売アンデパンダン展)」展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of the "15th Yomiuri Independent Exhibition"

1963年 (昭和38)

写真 Photography 11枚

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-004~014

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

屋外での制作風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Outdoor production scene

1963年 (昭和38)

写真 Photography 9枚

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-015~023

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[作品 (タイトル不詳)]

[Documents related to Shigeko Kubota]

[Work (Title unknown)]

1963年頃 (昭和38頃)

写真 Photography 10枚

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-024~033

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[1st. LOVE, 2nd LOVE...久保田成子彫刻個展]

会場風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of the "1st. LOVE, 2nd. LOVE... Shigeko Kubota Sculpture Exhibition"

1963年 (昭和38)

写真 Photography 4枚

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-034~037

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田の叔母、邦千谷 (邦千谷舞踊研究所)

[Documents related to Shigeko Kubota]

Chiya Kuni, Kubota's aunt at Kuni Chiya Dance Institute

1963年 (昭和38)

写真 Photography 2枚

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-038~039

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

渡米前の久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota before going to the U.S.

1964年頃 (昭和39頃)

写真 Photography 12.3×17.3

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-040

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

キャロリー・シュニーマン《スノーズ》より

[Documents related to Shigeko Kubota]

From "Snows" by Carolee Schneemann

1967年 (昭和42)

写真 Photography 3枚

撮影: バッジャーニ Photo by Baggiani

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-041~043

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko

1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

キャロリー・シュニーマン《スノーズ》より

[Documents related to Shigeko Kubota]

From "Snows" by Carolee Schneemann

1967年 (昭和42)

写真 Photography 25.3×20.3

撮影: ハーバート・ミグドル

Photo by Herbert Migdoll

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-044

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

キャロリー・シュニーマン《スノーズ》より
[Documents related to Shigeko Kubota]
From "Snows" by Carolee Schneemann
1967年 (昭和42)
インクジェット・プリント、フォト・ペーパー
Inkjet print on photo paper
2枚
撮影：シャーロット・ヴィクトリア
Photo by Charlotte Victoria
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-045~046

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

「エレクトロニック／アート III」展での久保田成子
とナムジュン・パイク
[Documents related to Shigeko Kubota]
*Shigeko Kubota and Nam June Paik at
the opening of "Electronic Art III"*
1971年 (昭和46)
写真 Photography 4枚
撮影：トム・ハール Photo by Tom Haar
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-049~052

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ヴェネツィアでの久保田成子
[Documents related to Shigeko Kubota]
Shigeko Kubota in Venice
1972年頃 (昭和47頃)
写真 Photography 13.9×8.9
〔撮影者不詳〕〔Photographer unknown〕
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-059

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ロフトの久保田成子とナムジュン・パイク
[Documents related to Shigeko Kubota]
*Shigeko Kubota and Nam June Paik in
their Studio*
1974年 (昭和49)
写真 Photography 10枚
撮影：トム・ハール Photo by Tom Haar
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-062~071

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ジョージ・マチューナスとフランチェスコ・コンツ
[Documents related to Shigeko Kubota]
Georges Maciunas and Francesco Conz
1974年 (昭和49)
写真 Photography 18.9×24.6
撮影：ベアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-074

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

キャロリー・シュニーマン《スノーズ》より
[Documents related to Shigeko Kubota]
From "Snows" by Carolee Schneemann
1967年 (昭和42)
インクジェット・プリント、フォト・ペーパー
Inkjet print on photo paper
21.5×28.0
撮影：アレック・ソボルススキ
Photo by Alec Sobolewski
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-047

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

「複写」コンタクトシート (1971年ボニーノ・
ギャラリーにて)
[Documents related to Shigeko Kubota]
*[Copy] Contact Sheet of the opening of
"Electronic Art III" (at Bonino Gallery, 1971)*
1971年 (昭和46)
印刷 (原資料: 写真)
Copy (Original document: Photography)
21.6×26.8
撮影：トム・ハール Photo by Tom Haar
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-053

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ポータバックを持つ久保田成子
[Documents related to Shigeko Kubota]
Shigeko Kubota with Portapack
1972年 (昭和47)
写真 Photography 20.4×25.2
撮影：トム・ハール Photo by Tom Haar
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-060

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

「複写」コンタクトシート (1974年ウェスト
ベスのロフトにて)
[Documents related to Shigeko Kubota]
*[Copy] Contact Sheet (at the studio on
Westbeth, 1974)*
1974年 (昭和49)
印刷 (原資料: 写真)
Copy (Original document: Photography)
21.6×26.8
撮影：トム・ハール Photo by Tom Haar
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-072

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイクと男性
[Documents related to Shigeko Kubota]
Nam June Paik and a man
1974年 (昭和49)
写真 Photography 19.0×25.6
撮影：ベアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-075

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

キャロリー・シュニーマン《スノーズ》より
[Documents related to Shigeko Kubota]
From "Snows" by Carolee Schneemann
1967年 (昭和42)
インクジェット・プリント、普通紙
Inkjet print on paper
21.6×28.0
撮影：テッド・ウェスター
Photo by Ted Wester
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-048

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

「久保田成子：ライブとビデオテープによる
コンサート」での久保田とパイク
[Documents related to Shigeko Kubota]
*Kubota and Paik at "Shigeko Kubota: Live and
Videotape Concert"*
1972年 (昭和47)
写真 Photography 5枚
撮影：ピーター・ムーア Photo by Peter Moore
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-054~058

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

アンソロジー・フィルム・アーカイヴズでの
久保田成子
[Documents related to Shigeko Kubota]
Shigeko Kubota at the Anthology Film Archives
1974年 (昭和49)
写真 Photography 25.3×20.2
撮影：ホルリス・メルトン Photo by Hollis Melton
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-061

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ジョージ・マチューナス、フランチェスコ・コンツ
と久保田成子
[Documents related to Shigeko Kubota]
*Georges Maciunas, Francesco Conz and
Shigeko Kubota*
1974年 (昭和49)
写真 Photography 24.6×19.0
撮影：ベアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-073

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

雑誌を見る久保田成子
[Documents related to Shigeko Kubota]
Shigeko Kubota looking at a magazine
1974年 (昭和49)
写真 Photography 19.1×25.7
撮影：ベアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-076

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

トイレの落書き

[Documents related to Shigeko Kubota]

Graffiti in toilets

1974年 (昭和49)

写真 Photography 25.5×18.8

撮影: ペアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-077

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイク

[Documents related to Shigeko Kubota]

Nam June Paik

1974年 (昭和49)

写真 Photography 25.2×19.0

撮影: ペアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-080

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《マルセル・デュシャンの墓》と久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

"Duchampiana: Marcel Duchamp's Grave" and Shigeko Kubota

1975年 (昭和50)

写真 Photography 25.2×20.3

撮影: メアリー・ルシエ Photo by Mary Lucier

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-083

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: マルセル・デュシャンの墓》

展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Duchampiana: Marcel Duchamp's Grave"

1976年 (昭和51)

写真 Photography 25.3×20.1

撮影: フランチェナ・ケリー Photo by Francena Kelly

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-086

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: 階段を降りる裸体》と久保田成子とナムジュン・パイク

[Documents related to Shigeko Kubota]

"Duchampiana: Nude Descending a Staircase" with Shigeko Kubota and Nam June Paik

1976年 (昭和51)

写真 Photography 23.5×18.6

撮影: トム・ハール Photo by Tom Haar

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-089

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota

1974年 (昭和49)

写真 Photography 18.9×25.6

撮影: ペアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-078

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子と男性

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota and a man

1974年 (昭和49)

写真 Photography 19.0×25.5

撮影: ペアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-081

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《ビデオ・ポエム》と久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

"Video Poem" and Shigeko Kubota

1975年 (昭和50)

写真 Photography 20.3×25.2

撮影: メアリー・ルシエ Photo by Mary Lucier

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-084

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: ビデオ・チェス》(部分)

展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Duchampiana: Video Chess" (partial)

1976年 (昭和51)

写真 Photography 20.3×25.2

撮影: トム・ハール Photo by Tom Haar

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-087

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: ビデオ・チェス》と久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

"Duchampiana: Video Chess" and Shigeko Kubota

1976年 (昭和51)

写真 Photography 25.2×20.4

撮影: ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-090

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイクとフランチェスコ・コンツ

[Documents related to Shigeko Kubota]

Nam June Paik and Francesco Conz

1974年 (昭和49)

写真 Photography 19.0×25.2

撮影: ペアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-079

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイクと男性

[Documents related to Shigeko Kubota]

Nam June Paik and a man

1974年 (昭和49)

写真 Photography 19.0×27.6

撮影: ペアテ・ニツチュ Photo by Beate Nitsch

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-082

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: 階段を降りる裸体》と久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

"Duchampiana: Nude Descending a Staircase" and Shigeko Kubota

1976年 (昭和51)

写真 Photography 20.3×25.2

撮影: エリック・クロール Photo by Eric Kroll

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-085

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: 階段を降りる裸体》

展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Duchampiana: Nude Descending a Staircase"

1976年 (昭和51)

写真 Photography 25.2×20.3

撮影: トム・ハール Photo by Tom Haar

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-088

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《メタ・マルセル: 窓》展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Meta-Marcel: Window"

1976年 (昭和51)

写真 Photography 25.2×20.4

撮影: ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-091

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota

1977年 (昭和52)

写真 Photography 3枚

撮影:ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-092~094

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイク

[Documents related to Shigeko Kubota]

Nam June Paik, photo by Peter Moore

1977年 (昭和52)

写真 Photography 3枚

撮影:ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-095~097

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイクとTV

[Documents related to Shigeko Kubota]

Nam June Paik and TV, photo by Peter Moore

1977年 (昭和52)

写真 Photography 2枚

撮影:ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-098~099

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

マーサー・ストリートのアトリエにて

[Documents related to Shigeko Kubota]

At the Studio on Mercer Street

1978年 (昭和53)

写真 Photography 11枚

撮影:安齊重男 Photo by Shigeo Anzai

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-100~110

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子と女性アーティストたち

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota and other women artists

1978年頃 (昭和53頃)

写真 Photography 12.7×17.7

撮影:安齊重男 Photo by Shigeo Anzai

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-111

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

バーバラ・バックナーと久保田成子

[Documents related to Shigeko Kubota]

Barbara Buckner and Shigeko Kubota

1978年頃 (昭和53頃)

写真 Photography 17.7×12.6

撮影:安齊重男 Photo by Shigeo Anzai

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-112

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《3つの山》展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Three Mountains"

1979年 (昭和54)

写真 Photography 2枚

〔撮影者不詳〕〔Photographer unknown〕

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-113~114

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《河》展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "River"

1983年 (昭和58)

写真 Photography 10.1×13.0

〔撮影者不詳〕〔Photographer unknown〕

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-115

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《デュシャンピアナ: 自転車の車輪》(部分)

展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Duchampiana: Bicycle Wheel" (partial)

1983年 (昭和58)

写真 Photography 25.2×20.3

撮影:ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-116

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子とナムジュン・パイク

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota and Nam June Paik

撮影年不明

写真 Photography 8.9×12.5

〔撮影者不詳〕〔Photographer unknown〕

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-117

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子とナムジュン・パイク (デュッセル

ドルフにて)

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota and Nam June Paik in Dusseldorf

1983年 (昭和58)

写真 Photography 8.7×12.6

〔撮影者不詳〕〔Photographer unknown〕

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-118

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ロフトの機材の前のナムジュン・パイクと久保田

成子 (ニューヨークにて)

[Documents related to Shigeko Kubota]

Nam June Paik and Shigeko Kubota in front of

editing equipments of their studio, New York

1986年 (昭和61)

写真 Photography 12.6×17.7

撮影:ローランド Photo by Roland

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-119

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子とナムジュン・パイク

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota and Nam June Paik

1980年代

写真 Photography 2枚

〔撮影者不詳〕〔Photographer unknown〕

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-120~121

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子とナムジュン・パイク

[Documents related to Shigeko Kubota]

Shigeko Kubota and Nam June Paik

1980年代

写真 Photography 20.2×25.3

撮影:マリアンヌ・バルセロナ

Photo by Marianne Barcellona

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-122

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《アダムとイヴ》展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Adam and Eve"

1991年 (平成3)

写真 Photography 5枚

撮影:ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-123~127

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

久保田成子とナムジュン・パイク (第45回
ヴェニス・ビエンナーレにて)

[Documents related to Shigeko Kubota]
*Shigeo Kubota and Nam June Paik at the
"XLV Venice Biennale"*

1993年 (平成5)

写真 Photography 26.7×20.4

撮影: ローマン・メンシング

Photo by Roman Mensing

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-128

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[複製写真]《向日葵》(1954年)

[Documents related to Shigeko Kubota]

[*Reproduction photo*] "*Sunflower*" (1954)

1990年頃 (平成2頃)

写真 Photography 18.0×11.6

撮影: ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-131-001

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[複製写真] ジョン・ケージによる久保田成子の
アナグラム

[Documents related to Shigeko Kubota]

[*Reproduction photo*] *Anagram of Shigeko Kubota
by John Cage*

1990年 (平成2)

写真 Photography 25.3×20.3

撮影: ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-133

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

グッゲンハイム美術館のベン・ヴォーティエ展
オープニングにて (1972年)

[Documents related to Shigeko Kubota]

*Ben Vautier's Opening Night at the Guggenheim
Museum, 1972*

1995年 (平成7)

パステル、水彩、鉛筆、紙/フォトリソグラフ

Hand writing with pastel, watercolor and pencil
on photolithograph

2枚

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-139~140

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[久保田成子によるジョン・ケージの (60歳の) ヴィデオ・
パースデー・パーティー] (ザ・キッチン) ポスター

[Documents related to Shigeko Kubota]

*Poster of "Video Birthday Party (60th) of
John Cage by Shigeko Kubota" (The Kitchen)*

1972年 (昭和47)

印刷 Ink on paper 50.7×35.6

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-143

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

ナムジュン・パイクの吊るされたマスク (第
45回ヴェニス・ビエンナーレにて)

[Documents related to Shigeko Kubota]

*View of the hangin Mask of Nam June Paik
at the "XLV Venice Biennale"*

1993年 (平成5)

写真 Photography 26.5×20.5

撮影: ローマン・メンシング

Photo by Roman Mensing

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-129

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[複製写真] 二紀展入選記事 (『毎日新聞』新潟版、
1954年10月8日)

[Documents related to Shigeko Kubota]

[*Reproduction photo*] *Article on the Niki Exhibition
(Mainichi Shinbun, Niigata edition, on October 8,
1954)*

1990年頃 (平成2頃)

写真 Photography 12.5×17.6

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-131-002

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[複製写真] ドローイング [ベルリン・ヴィデオ・ダイアリー]

[Documents related to Shigeko Kubota]

[*Reproduction photo*] *Drawing [Berlin Video Diary]*

1990年 (平成2)

インクジェット・プリント、フォト・ペーパー

Inkjet print on photo paper

4枚

撮影: ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-134~137

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

キャロリー・シュニーマンから久保田成子への
書簡

[Documents related to Shigeko Kubota]

*Letter to Shigeko Kubota from Carolee
Schneemann*

2006年 (平成18)

インク、紙 Ink on paper 21.5×30.4

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-141

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[エクスペリメンタル・テレビジョン・センター・
ビンガムトン] (エヴァソン美術館) ポスター

[Documents related to Shigeko Kubota]

*Poster of "Experimental Television Center
Binghamton" (Everson Museum)*

1972年 (昭和47)

印刷 Ink on paper 56.4×43.1

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-144

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《ヴィデオ屏風》展示風景

[Documents related to Shigeko Kubota]

Installation view of "Video Byobu"

1998年 (平成10)

写真 Photography 12.5×20.1

(撮影者不詳) [Photographer unknown]

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-130

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[複製写真] マルセル・デュシャンによるサイン
のある『美術手帖』(1968年3月号)

[Documents related to Shigeko Kubota]

[*Reproduction photo*] *Bijutsu-Techo (March 1968)*

signed by Marcel Duchamps

1991年頃 (平成3頃)

写真 Photography 25.3×20.4

撮影: ピーター・ムーア Photo by Peter Moore

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-132

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

母宛書簡 (1976年1月の個展について)

[Documents related to Shigeko Kubota]

*Letter to Mother (Report on the solo exhibition
on January 1976)*

1976年 (昭和51)

写真、スライド、布テープ、インク、紙

Photo, slide film, cloth tape and ink on paper

27.8×21.5

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-138

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

《死石5》(第25回新制作展出品作品) ポス
トカード

[Documents related to Shigeko Kubota]

*Postcard of "Shiseki (Death Stone) 5" (exhibited
in the "25th Shinseisaku exhibition")*

1961年 (昭和36)

印刷 Ink on paper 14.3×10.1

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-142

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

[久保田成子 ヴィデオ・テープ] (エヴァ
ソン美術館) ポスター

[Documents related to Shigeko Kubota]

Poster of "Shigeko Kubota Video Tapes"

(Everson Museum)

1972年 (昭和47)

印刷 Ink on paper 50.9×35.6

2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈

MA0392-145

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

「ビデオテープ」(サンタ・モニカ大学ド・
セセット・アート・ギャラリー) ポスター
[Documents related to Shigeko Kubota]
*Poster of "Videotapes" (de Saisset Art
Gallery, University of Santa Monica)*
1972年 (昭和47)

印刷 Ink on paper 56.0×43.2
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-146

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

『Bulletin for Film and Video Information』
(Vol.1, No.3, 1974年6月)
[Documents related to Shigeko Kubota]
Bulletin for Film and Video Information
(Vol.1, No.3, June 1974)
1974年 (昭和49)

印刷 Ink on paper 27.8×21.5
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-147

資料

久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937~2015 (昭和12~平成27)

[久保田成子関連資料]

『Arts Magazine』(1974年12月)
[Documents related to Shigeko Kubota]
Arts Magazine (December 1974)
1974年 (昭和49)

冊子 Magazine 30.2×22.7
2023年度 (令和5) 久保田優子氏寄贈
MA0392-148

日本の美術



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

ジョルスン物語
The Jolson Story
1979年 (昭和54)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0939



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

北村英治プレゼンツ ジャズ・マシーン80
Eiji Kitamura Presents Jazz Machine 80
1980年 (昭和55)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0940



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

リリー・マルレーン
Lili Marleen
1983年 (昭和58)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0941



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

お嬢さんお手やわらかに
Faibles Femmes
1983年 (昭和58)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0942



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

ガラスの動物園
The Glass Menagerie
1983年 (昭和58)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0943



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

星の王子さま
The Little Prince
1985年 (昭和60)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0944



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

キス・ミー・ケイト
Kiss Me, Kate
1985年 (昭和60)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0945



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

ワンダータモリ エキセントリックナイト
Wonder Tamori Eccentric Night
1985年 (昭和60)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0946



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

EXPO' 85 (公式ポスター第4号)
EXPO' 85
1985年 (昭和60)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
103.0×72.8
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0949



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

ガス燈
Gaslight
1986年 (昭和61)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0951



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

リズム&ブルースが好き
Love for Rhythm and Blues
1987年 (昭和62)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0952



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

リトル・ショップ・オブ・ホラーズ
Little Shop of Horrors
1987年 (昭和62)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0953



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

カサブランカ
Casablanca
1987年 (昭和62)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0954



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

サンセット大通り
Sunset Boulevard
1987年 (昭和62)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0955



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

浅草紅団
The Scarlet Gang of Asakusa
1988年 (昭和63)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0958



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

魅せられてヴェラ
Pal Joey
1989年 (平成元)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0959



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

二十世紀少年読本 CIRCUS BOYS (英語版)
CIRCUS BOYS
1989年 (平成元)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
103.0×72.8
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0960



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

アムネスティ・インターナショナル世界大会
Amnesty International 20th International Council Meeting
1991年 (平成3)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0961



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

キャバレー
Cabaret
1993年 (平成5)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0962



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

白石加代子 VS. 筒井康隆
Kayoko Shiraishi vs Yasutaka Tsutui
1995年 (平成7)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0966



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

和田誠 時間旅行
Makoto Wada, Time Travel
1997年 (平成9)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
103.0×72.8
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0968



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

寄席葛飾亭SPECIAL
Special Rakugo Performance at Katsushika Shymphony Hills
1998年 (平成10)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0969



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

スカブラ
Sukabura
1998年 (平成10)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0971



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

色川武大・阿佐田哲也の世界
Exhibition of Takehiro Irokawa/Tetsuya Asada
1998年 (平成10)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0972



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

アムネスティ
AMNESTY
1998年 (平成10)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0973



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

松山バレエ団 くるみ割り人形
*The Nutcracker by Matsuyama
Ballet Company*
2000年 (平成12)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0977



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

2001年シネマ・オデッセイ
Cinema Posters of the 20th Century
2001年 (平成13)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
103.0×72.8
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0978



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

虫の詩人の館 ファーブル昆虫館
Fabre Insects Museum
2006年 (平成18)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0979



デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

銀座界隈限ガヤガヤ青春ショー／灘本
唯人、宇野亜喜良、和田誠、横尾忠則
*Exhibition of Tadahito Nadamoto, Akira
Uno, Makoto Wada, Tadanori Yokoo*
2009年 (平成21)
オフセット印刷、紙
offset printing、paper
まくり
103.0×72.8
2023年度 (令和5) 寄贈 ©Wada Makoto
GD0980

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

かくも長き不在
The Long Absence
1985年 (昭和60)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0947

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

情婦
Witness for the Prosecution
1987年 (昭和62)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0956

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

かつしか名曲コンサート東京交響楽団
*Masterpiece Concert by Tokyo Symphony
Orchestra at Katsushika Symphony Hills*
1994年 (平成6)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0964

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

トルコ軍楽隊
Mehterhane
1998年 (平成10)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0970

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

バッハ没後250年メモリアルコンサート
*Memorial Concert of Bach, 250th
Anniversary of Death*
2000年 (平成12)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0976

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

赤い河
Red River
1985年 (昭和60)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0948

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

加藤登紀子・トークン・コンサート
Tokiko Kato Talking Concert
1988年 (昭和63)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0957

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

レネゲイズ・スティール・ドラム・オーケストラ
Renegades Steel Drum Orchestra
1995年 (平成7)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0965

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・
オーケストラニューイヤーコンサート
*New Year Concert by Strauss Festival
Orchestra Vienna*
1999年 (平成11)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0974

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

小堺クンのおすましでSHOW
Vaudeville of Kazuki Kosakai
1986年 (昭和61)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0950

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

シャンソン カルナバル
Chanson Carnaval
1993年 (平成5)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0963

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

かつしか名曲コンサート お札になった音楽家
*Masterpiece Concert, Musicians featured on
Banknote at Katsushika Symphony Hills*
1997年 (平成9)
オフセット印刷、紙 offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0967

デザイン
和田 誠 WADA,Makoto
1936~2019 (昭和11~令和元)

いろはに邦楽 三曲の巻 時代を追って
*Introduction to Traditional Japanese Music,
Sankyoku (Three Instruments)*
1999年 (平成11)
オフセット印刷、紙
offset printing, paper
まくり
72.8×51.5
2023年度 (令和5) ©Wada Makoto
GD0975

世界の美術



資料

フルクサス (編集:久保田成子、デザイン:ジョージ・マチューナス)
Fluxus (Edit:Shigeko Kubota, Design:George Maciunas)

ハイレッドセンター「イヴェント集」
Hi-Red Center "Bundle of Events"

1965年 (昭和40)

インク、紙 ink, paper

まくり (両面)

55.9×43.3

2023年度 (令和5) 西山輝夫氏寄贈

MA0393

美術品の修復

分野	作家名	作品名	制作年	修復内容	修復者	修復期間
彫刻	佐藤忠良	若い女	1971年	色調回復・保存処置	有限会社ブロンズスタジオ (東京都)	令和5年10月18日、 令和5年10月19日
彫刻	フェルナンド・ボテロ	母性	1989年	色調回復・保存処置	有限会社ブロンズスタジオ (東京都)	令和5年10月18日、 令和5年10月19日
版画	白髪一雄	永徳	1990年	額装	有限会社はにわ(長岡市)	令和5年12月4日～ 令和5年12月11日
版画	白髪一雄	蕪村	1990年	額装	有限会社はにわ(長岡市)	令和5年12月4日～ 令和5年12月11日
版画	白髪一雄	遠州	1990年	額装	有限会社はにわ(長岡市)	令和5年12月4日～ 令和5年12月11日
版画	白髪一雄	近松	1990年	額装	有限会社はにわ(長岡市)	令和5年12月4日～ 令和5年12月11日
版画	白髪一雄	江漢	1990年	額装	有限会社はにわ(長岡市)	令和5年12月4日～ 令和5年12月11日
版画	白髪一雄	國芳	1990年	額装	有限会社はにわ(長岡市)	令和5年12月4日～ 令和5年12月11日
参考資料	リサ・ラーソン	双子のレリーフ	1963年頃	割れている部分の接着	工房いにしへ(愛知県)	令和6年2月28日～ 令和6年3月27日

美術品の燻蒸

令和3～5年度の収集品等を燻蒸し、収蔵庫に収めた。

分野	作家名	作 品 名
洋画	野見山暁治	戻らない刻
立体	堀川紀夫	The Shinano River Plan 1969/2011
工芸	佐々木象堂	鑄銅花文花瓶
書	良寛	寒山詩「人間寒山道」
書	良寛	阿部定珍宛書簡「古訓抄長々」
書	良寛	寒山拾得画讃
素描	目黒順三郎	スケッチブック（2冊）
洋画	田畑あきら子	コンポジション
洋画	田畑あきら子	作品
素描	田畑あきら子	自画像
素描	田畑あきら子	題不詳
素描	田畑あきら子	題不詳
素描	田畑あきら子	題不詳
素描	田畑あきら子	桃山
水彩	田中本吉	題不詳
デザイン	亀倉雄策	東京オリンピックシンボルマーク原画
素描	李禹煥	コレスボンダンス（4点）
資料	堀口大學	森谷均宛て年賀状
日本画	橋本龍美	祭り人
日本画	橋本龍美	見世物
日本画	橋本龍美	森のこだま
日本画	橋本龍美	お化寺
日本画	橋本龍美	慈光冬門
日本画	橋本龍美	望郷四季
洋画	佐藤哲三	二宮九八郎の肖像
彫刻	星野健司	行者
デザイン	和田誠	ポスター（42点）
素描	久保田成子	スケッチブック（2冊）
資料	武石弘三郎	文芸委員会賞牌
資料	武石弘三郎	ブリュッセル王立美術学校最高試験最高賞メダル
資料	久保田成子	久保田成子関連資料（145点）
資料	フルクサス	ハイレッドセンターイヴェント集
日本画	横山操	網
書	良寛	和歌一首
水彩	佐藤哲三	小鳥

燻蒸者	株式会社サニーサニター（新潟県）
実施期間	令和6年1月19日～1月26日
使用薬剤	エキヒュームS
燻蒸方法	包み込み燻蒸処理

美術品の貸出

令和5年度 作品貸出 (近代美術館所管作品)

展覧会名	貸出先	貸出先/会期	作家名	作品名
憧憬の地 プルターニュ —モネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷	国立西洋美術館	令和5年 3月18日～ 令和5年 6月11日	エミール・ベルナール	青い肩かけのプルターニュ婦人
			エミール・ベルナール	サン・ブリアクの収穫
			エミール・ベルナール	レゼビアン—サン・ブリアクの小湾
			エミール・ベルナール	ラヴァン川の大きな赤い帆
			アンリ・リヴィエール	「時の仙境シリーズ」 満月
			アンリ・リヴィエール	「時の仙境シリーズ」 薄暮
「ベルギーと日本—光をえがき、命をかたどる」	目黒区美術館 高梁市成羽美術館	令和5年 4月29日～ 令和5年 6月18日 令和5年 7月 8日～ 令和5年 8月27日	武石弘三郎	母
			武石弘三郎	裸婦浮彫
			—	『生活美術』 1巻3号
			—	『白樺』 1巻5号 (復刻版)
			—	『学生 世界偉人号』 4巻10号
Miyata —金工 宮田家のはじまりから、その先へ	雪梁舎美術館	令和5年 5月20日～ 令和5年 7月17日	二代宮田藍堂 (實)	蛭型鏤銅ひねり—瞬置物
			三代宮田藍堂 (宏平)	伝承
			三代宮田藍堂 (宏平)	縞絵
			三代宮田藍堂 (宏平)	終りのない物語「月下独酌 唐・李白に捧ぐ」
			三代宮田藍堂 (宏平)	終りのない物語「世阿弥の流人箱」
			宮田脩平	トルソ (—対)
			宮田脩平	ブローチ 机、椅子 (5点)
「『前衛』写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄」	富山県美術館 渋谷区立松濤美術館	令和5年 6月 3日～ 令和5年 7月17日 令和5年12月 2日～ 令和6年 2月 4日	牛腸茂雄	SELF AND OTHERS (全60点)
			齋藤三郎	白磁壺
			齋藤三郎	色絵蔬菜文皿
			齋藤三郎	色絵竹垣文金彩茗荷大皿
生誕110年記念 齋藤三郎展	小林古徑記念美術館	令和5年 7月15日～ 令和5年10月 9日	齋藤三郎	色絵茄子文皿
			齋藤三郎	色絵困椿文皿
			齋藤三郎	染付竹林文壺
			齋藤三郎	辰砂葡萄文大壺
			齋藤三郎	辰砂陰刻牡丹文瓶
			齋藤三郎	窓絵椿小紋面取壺
			齋藤三郎	呉須揺落牡丹文壺
			アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景 (36点組)
			葛飾北斎	富嶽三十六景之内・遠江山中
			フェリックス・ヴァロットン	にわか雨 (万国博覧会 II) ([『ディー・インゼル (島)』 1902年1月号挿絵])
フェリックス・ヴァロットン	5時 (万国博覧会 IV) ([『ディー・インゼル (島)』 1901年11月号挿絵])			
フェリックス・ヴァロットン	カイロ通り (万国博覧会 V) ([『ディー・インゼル (島)』 1901年12月号挿絵])			
フェリックス・ヴァロットン	花火 (万国博覧会 VI) ([『ディー・インゼル (島)』 1901年10月号挿絵])			
フェリックス・ヴァロットン	泥棒だ! ([『ル・リール (笑い)』 1895年3月16日付19号挿絵])			
フェリックス・ヴァロットン	『ラ・ルヴェ・ブランシュ』 1896年4月1日付68号			
フェリックス・ヴァロットン	《版画愛好家》			
芥川龍之介と美の世界展	久留米市美術館 神奈川県立近代美術館 葉山	令和5年10月28日～ 令和6年 1月28日 令和6年 2月10日～ 令和6年 4月 7日	坂本繁二郎	牛
			原益夫	潮
			原益夫	式分の巻
			原益夫	エンドレス
卒寿記念 原益夫展	雪梁舎美術館	令和6年 4月13日～ 令和6年 5月26日	原益夫	潮
			原益夫	式分の巻
			原益夫	エンドレス
			原益夫	エンドレス

令和5年度 作品貸出 (万代島美術館所管作品)

展覧会名	貸出先	貸出先/会期	作家名	作品名
福田美蘭 — 美術って、なに？	名古屋市美術館	令和5年 9月23日～ 令和5年11月19日	福田美蘭	ブッシュ大統領に話しかけるキリスト

管 理 ・ 運 営



新潟県立近代美術館

コレクション展観覧者数

期 間	第4期	第1期	第2期	第3期	第4期	合 計 (年間287日)	
	4/1~4/2 (2日間)	4/11~6/18 (61日間)	6/27~9/3 (61日間)	9/12~12/17 (84日間)	12/26~3/31 (79日間)		
個人	一 般	27	1,631	1,529	1,371	1,307	5,865
	大学・高校生	3	54	110	90	97	354
	小 計	30	1,685	1,639	1,461	1,404	6,219
団 体	一 般	0	88	0	121	0	209
	大学・高校生	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	88	0	121	0	209
招 待	9	378	432	389	207	1,415	
無 料	5	228	611	704	223	1,771	
免 除	5	265	634	338	156	1,398	
合 計	49	2,644	3,316	3,013	1,990	11,012	

*中学生以下は無料を含む。
*無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名	望郷の画家 橋本龍美展	華麗なるパリ ベル・エポック展	ベルギーと日本	行為と詩情 —ACTION & POETRY	合 計	
期 間	4/15~6/4 (45日間)	7/1~8/27 (51日間)	9/16~11/12(50日間)	1/13~2/25 (38日間)		
区 分						
個人	一 般	2,363	4,548	1,599	739	9,249
	大学・高校生	81	407	106	42	636
	小 計	2,444	4,955	1,705	781	9,885
団 体	一 般	8	10	97	15	130
	大学・高校生	5	254	15	9	283
	小 計	13	264	112	24	413
前 売		867			867	
招 待	776	1,091	714	274	2,855	
無 料	244	641	360	121	1,366	
免 除	213	512	333	132	1,190	
合 計	3,690	8,330	3,224	1,332	16,576	

企 画 展 名	望郷の画家 橋本龍美展	華麗なるパリ ベル・エポック展	ベルギーと日本	行為と詩情 —ACTION & POETRY	合 計
図録販売数(冊)	601	469	105		1,175
音声ガイド使用数(台)					0

共催展

展 覧 会 名	会 期	日 数	観覧者数
第77回 新潟県美術展覧会「長岡展」	6/14~6/18	5	3,674
第26回 友の会作品展	9/24~10/1	7	178
第25回 亀倉雄策賞受賞記念展	10/9~10/22	12	266
第33回 MOA美術館長岡児童作品展	11/18~11/19	2	594
第26回 長岡市中学校美術部作品展	12/2~12/3	2	507
第54回 新潟県ジュニア美術展覧会「長岡展」	12/13~12/17	5	1,450
2023年度 長岡造形大学大学院 造形研究科 博士(後期) 課程修了作品展	2/8~2/18	10	559
計		43	7,228

総観覧者数

	コレクション展	企 画 展	共 催 展	合 計
観覧者数	11,012	16,576	7,228	34,816

新潟県立万代島美術館

企画展観覧者数

展覧会名		原田治展 「かわいい」の発見	糸で描く物語 刺繍と、絵と、 ファッションと。	ヨシタケシンスケ 展かもしれない	イッタラ展 フィンランドガラス のきらめき	JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	合 計
期 間		4/1～5/7 (33日間)	5/20～7/17 (55日間)	7/29～9/24 (55日間)	10/7～12/10 (61日間)	2/22～3/31 (35日間)	
個 人	一 般	7,522	5,979	24,927	10,419	2,886	51,733
	大学・高校生	839	215	3,312	528	400	5,294
	小 計	8,361	6,194	28,239	10,947	3,286	57,027
団 体	一 般	6	39	45	74	5	169
	大学・高校生	54	45	67	61	10	237
	小 計	60	84	112	135	15	406
前売(一般のみ)		1,856	1,612	7,824	3,699	434	15,425
招 待		1,241	1,305	2,450	1,602	576	7,174
無 料		946	464	15,724	1,055	321	18,510
免 除		573	827	1,497	832	370	4,099
合 計		13,037	10,486	55,846	18,270	5,002	102,641

*中学生以下は無料に含む。

講堂・ギャラリーの貸出

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき27,600円、ギャラリーは1日につき18,000円、講座室は1日につき4,300円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	日数	行事名	内容	利用者人数
4/2	1日間	おさらい会	ピアノ発表会	80
4/22	1日間	(野本恭八郎の心) 講演会	互尊独尊の心をうけつぐ	150
4/30	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	110
6/11	1日間	渡辺優子フルート教室第27回発表会	フルート教室の発表会	25
6/18	1日間	ウクライナ支援コンサート	演奏会	118
7/17	1日間	被爆ピアノコンサートと映画「お母さんの被爆ピアノ」上映会	被爆ピアノを市民が弾く、映画の上映	160
8/6	半日間	カワイ・ドルチェの会 ピアノ発表会	ピアノ発表会	60
8/29	半日間	新潟県菓子工業組合長岡支部 製菓衛生師補習講習会	条例にもとづいた製菓衛生師の補習講習	70
10/1	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	90
10/29	1日間	新潟県競書大会	表彰式	210
11/3	1日間	ペット防災セミナー	ペットの防災に関する講習会	66
11/5	半日間	渡辺ピアノリトミック教室	ピアノ発表会	60
11/12	半日間	吉澤ピアノ教室発表会	演奏会	70
11/23	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	72
11/26	1日間	石寒太先生の長岡子ども俳句教室	子ども向け俳句教室	42
12/9	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	100
12/10	半日間	戸田ピアノ教室	ピアノ発表会	30
2/11	半日間	2024 Winter Concert	ピアノ発表会	100
2/25	1日間	新潟県書き初め大会・新潟県硬筆書き初め大会	表彰式	227
3/10	1日間	佐々木音楽教室 ヴァイオリン・ピアノ発表会	ヴァイオリン・ピアノ発表会	110
3/24	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	70
3/31	半日間	おさらい会	ピアノ発表会	52

以上 22件 (延べ日数…17.5日)

合計人数 2,072

ギャラリー使用状況

期間	日数	行事名	内容	利用者人数
8/23~8/27	5日間	写真四人展	写真の展示	236
9/12~9/17	6日間	キルト浪漫 菊池登美子作品展	キルト作品の展示	2,023
10/27~10/29	3日間	新潟県競書大会	優秀作品の展示	2,191
2/23~2/25	3日間	新潟県書き初め大会・新潟県硬筆書き初め大会	優秀作品の展示	4,728

以上 4件 (延べ日数…17日)

合計人数 9,178

講座室使用状況

期間	日数	行事名	内容	利用者人数
4/22	1日間	講演会 (野本恭八郎の心)	講演会の控室	20
6/17	半日間	北信越高校総体サッカー競技審判研修	講義	23
6/18	半日間	ウクライナ支援コンサート	演奏会の控室	17
7/11	1日間	警備員法定講習	研修会	11
7/17	1日間	被爆ピアノコンサートと映画「お母さんの被爆ピアノ」上映会	上映会の控室	15
7/20	1日間	TOWA健康チャレンジ	体力測定	10
8/31	半日間	会議	会議	8
11/26	1日間	石寒太先生の長岡子ども俳句教室	講師の控室	8
1/31	半日間	エリア会議	会議	6

以上 9件 (延べ日数…7日)

合計人数 118

新潟県立近代美術館

※複数回答が可能な項目を含め、アンケート回収数に対する比率とした。

企画展

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
望郷の画家 橋本龍美展	4月15日～6月4日	3,690	62	1.68%
華麗なるパリ ベル・エポック展	7月1日～8月27日	8,330	84	1.01%
ベルギーと日本	9月16日～11月12日	3,224	212	6.58%
行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄	1月13日～2月25日	1,332	74	5.56%
合 計		16,576	432	2.61%

I 企画展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
望郷の画家 橋本龍美展	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
華麗なるパリ ベル・エポック展	79.7%	16.7%	0.0%	0.0%	3.6%
ベルギーと日本	62.7%	35.8%	1.0%	0.0%	0.5%
行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄	89.2%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%
平 均	81.7%	17.0%	0.3%	0.0%	1.0%

II 来館のきっかけ（複数回答可）

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	インターネット	友の会だより	知人	その他	無回答
望郷の画家 橋本龍美展	4.8%	21.0%	0.0%	40.3%	8.1%	25.8%	3.2%	4.8%	9.7%	0.0%
華麗なるパリ ベル・エポック展	3.6%	45.2%	6.0%	27.4%	2.4%	28.5%	1.2%	16.7%	7.1%	2.4%
ベルギーと日本	7.1%	5.7%	0.5%	35.4%	2.4%	30.6%	2.8%	23.1%	9.9%	1.4%
行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄	4.1%	0.0%	1.4%	33.8%	0.0%	37.8%	0.0%	12.1%	21.6%	0.0%
平 均	4.9%	18.0%	2.0%	34.2%	3.2%	30.7%	1.8%	14.2%	12.1%	1.0%

III 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
望郷の画家 橋本龍美展	30.6%	11.3%	25.8%	30.7%	1.6%
華麗なるパリ ベル・エポック展	11.9%	29.7%	27.4%	28.6%	2.4%
ベルギーと日本	22.2%	22.6%	22.2%	33.0%	0.0%
行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄	21.6%	27.0%	10.8%	40.6%	0.0%
平 均	21.6%	22.7%	21.6%	33.2%	1.0%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	新潟市	県内	県外	無回答
望郷の画家 橋本龍美展	27.4%	16.1%	37.1%	19.4%	0.0%
華麗なるパリ ベル・エポック展	22.6%	21.4%	39.3%	9.5%	7.2%
ベルギーと日本	31.1%	25.9%	26.9%	15.6%	0.5%
行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄	33.8%	20.3%	25.6%	18.9%	1.4%
平 均	28.7%	20.9%	32.2%	15.9%	2.3%

(年 代)

展覧会名	小・中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
望郷の画家 橋本龍美展	0.0%	1.6%	3.2%	8.1%	21.0%	17.7%	22.6%	11.3%	9.7%	4.8%
華麗なるパリ ベル・エポック展	2.4%	9.6%	0.0%	4.8%	19.0%	17.8%	22.6%	13.1%	2.4%	8.3%
ベルギーと日本	2.3%	7.0%	0.5%	14.2%	11.8%	14.2%	20.3%	20.3%	5.2%	4.2%
行為と詩情—ACTION&POETRY 特別展示：尼崎市コレクション白髪一雄	14.9%	10.8%	0.0%	16.2%	6.8%	13.5%	10.8%	8.1%	13.5%	5.4%
平 均	4.9%	7.2%	0.9%	10.8%	14.7%	15.8%	19.1%	13.2%	7.7%	5.7%

コレクション展

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
第1期	4月11日～6月18日	2,644	70	2.65%
第2期	6月27日～9月3日	3,316	49	1.48%
第3期	9月12日～12月17日	3,013	53	1.76%
第4期	12月26日～3月31日	1,990	60	3.02%
合 計		10,963	232	2.12%

I コレクション展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
第1期	92.9%	5.7%	0.0%	1.4%	0.0%
第2期	83.7%	12.3%	2.0%	0.0%	2.0%
第3期	77.3%	17.0%	3.8%	1.9%	0.0%
第4期	80.0%	15.0%	3.3%	0.0%	1.7%
平均	83.5%	12.5%	2.3%	0.8%	0.9%

II 来館のきっかけ（複数回答可）

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	HP,インターネット	友の会だより	知人	その他	無回答
第1期	8.6%	2.8%	0.0%	34.3%	0.0%	41.4%	4.3%	10.0%	12.9%	4.3%
第2期	0.0%	14.3%	0.0%	26.5%	0.0%	34.7%	4.1%	18.3%	28.6%	4.1%
第3期	5.7%	1.9%	0.0%	15.1%	0.0%	35.8%	0.0%	13.2%	45.2%	5.7%
第4期	8.3%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	41.7%	5.0%	11.7%	25.0%	5.0%
平均	5.7%	4.8%	0.0%	22.7%	0.0%	38.4%	3.4%	13.3%	27.9%	4.8%

III 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
第1期	22.9%	17.1%	18.6%	40.0%	1.4%
第2期	28.6%	16.3%	24.5%	30.6%	0.0%
第3期	35.9%	26.4%	9.4%	24.5%	3.8%
第4期	38.3%	21.7%	16.7%	20.0%	3.3%
平均	31.4%	20.4%	17.3%	28.8%	2.1%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	新潟市	県内	県外	無回答
第1期	24.3%	21.4%	28.6%	24.3%	1.4%
第2期	38.8%	24.5%	22.5%	12.2%	2.0%
第3期	37.7%	15.1%	24.5%	18.9%	3.8%
第4期	31.6%	21.7%	21.7%	23.3%	1.7%
平均	33.1%	20.7%	24.3%	19.7%	2.2%

(年代)

展覧会名	小・中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
第1期	4.3%	4.3%	0.0%	1.4%	1.4%	5.7%	17.1%	32.9%	28.6%	4.3%
第2期	10.2%	12.3%	0.0%	4.1%	14.3%	18.3%	8.2%	18.3%	8.2%	6.1%
第3期	15.1%	1.9%	1.9%	9.4%	3.8%	7.6%	17.0%	22.6%	11.3%	9.4%
第4期	8.3%	15.0%	0.0%	16.7%	8.3%	13.4%	3.3%	10.0%	20.0%	5.0%
平均	9.5%	8.4%	0.5%	7.9%	7.0%	11.3%	11.4%	21.0%	17.0%	6.2%

新潟県立万代島美術館

※複数回答が可能な項目を含め、アンケート回収数に対する比率とした。

展覧会名	会期	入館者数	アンケート回収数	アンケート回収率	
原田治展 「かわいい」の発見	4月1日～5月7日	13,037	175	1.34%	※全体会期のうち、令和5年度の数を抽出
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	5月20日～7月17日	10,486	290	2.77%	
ヨシタケシンスケ展かもしれない	7月29日～9月24日	55,846	328	0.59%	
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	10月7日～12月10日	18,270	345	1.89%	※全体会期のうち、令和5年度の数を抽出
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	令和6年2月22日～3月31日(5月26日)	5,002	90	1.80%	
合計		102,641	1,228		

展覧会の感想

展覧会名	良かった	まあまあ良かった	やや不満	不満	無回答
原田治展 「かわいい」の発見	81.7%	12.6%	1.7%	2.9%	1.1%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	80.0%	12.4%	2.8%	0.3%	4.5%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	91.8%	4.6%	0.9%	0.3%	2.4%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	80.0%	16.5%	1.5%	0.0%	2.0%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	85.4%	10.6%	1.4%	0.7%	2.0%

作品や作家についての解説

展覧会名	適度な量である	量が少ない	量が多い	無回答
原田治展 「かわいい」の発見	81.2%	11.4%	3.4%	4.0%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	70.0%	16.9%	3.4%	9.7%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	80.8%	4.0%	7.9%	7.3%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	85.8%	3.8%	5.2%	5.2%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	85.6%	11.1%	1.1%	2.2%
平均	80.7%	9.4%	4.2%	5.7%

展覧会名	わかりやすい	難しい	簡単すぎる	無回答
原田治展 「かわいい」の発見	78.9%	2.3%	1.1%	17.7%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	64.8%	8.3%	3.5%	23.4%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	80.2%	6.4%	2.1%	11.3%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	75.4%	8.1%	0.9%	15.7%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	66.7%	12.2%	1.1%	20.0%
平均	73.2%	7.5%	1.7%	17.6%

展覧会についてどのようにお知りになりましたか（複数回答可）

展覧会名	ポスター・チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・フリーペーパー	知人	友の会・便り	web	その他	無回答
原田治展 「かわいい」の発見	55.4%	5.7%	36.0%	0.0%	5.7%	12.0%	0.0%	17.7%	6.9%	3.4%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	41.0%	10.0%	36.2%	1.0%	3.1%	16.6%	0.0%	12.8%	4.8%	2.4%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	49.1%	3.4%	35.1%	1.8%	3.7%	11.9%	2.7%	17.7%	8.5%	3.0%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	49.9%	5.8%	33.6%	0.3%	2.9%	15.1%	0.9%	18.3%	9.6%	0.0%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	53.3%	8.9%	30.0%	2.2%	4.4%	13.3%	0.0%	14.4%	7.8%	0.0%
平均	49.7%	6.8%	34.2%	1.1%	4.0%	13.8%	0.7%	16.2%	7.5%	1.8%

お客様ご自身について

(1) 年代

展覧会名	中学生以下	高校生	大学生	左記以外の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	(無回答)
原田治展 「かわいい」の発見	13.1%	2.9%	4.6%	1.1%	11.4%	8.6%	13.7%	22.3%	10.3%	2.9%	9.1%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	7.9%	0.3%	2.8%	0.0%	9.0%	5.9%	10.7%	20.0%	21.0%	12.4%	10.0%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	45.4%	1.2%	2.1%	2.5%	8.5%	7.3%	9.8%	9.2%	5.5%	2.1%	6.4%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	9.9%	2.9%	2.9%	0.9%	9.3%	12.5%	14.5%	16.2%	14.2%	8.7%	8.1%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	7.8%	5.6%	7.8%	0.0%	6.7%	10.0%	15.6%	15.6%	11.1%	10.0%	10.0%
平均	16.8%	2.6%	4.0%	0.9%	9.0%	8.9%	12.9%	16.7%	12.4%	7.2%	8.7%

(2) お住まい

展覧会名	新潟市内	新潟市以外の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・海外	(無回答)
原田治展 「かわいい」の発見	33.1%	10.9%	0.0%	20.6%	2.9%	18.3%	14.3%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	44.8%	9.7%	0.3%	16.6%	1.7%	10.7%	16.2%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	37.8%	8.5%	2.1%	16.2%	4.6%	17.1%	13.7%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	46.7%	9.9%	1.2%	18.0%	3.2%	10.5%	10.7%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	37.8%	10.0%	1.1%	17.8%	3.3%	15.6%	14.4%
平均	40.0%	9.8%	0.9%	17.8%	3.1%	14.4%	13.9%

(3) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか(複数回答可)

展覧会名	自家用車	徒歩・自転車	バス	タクシー	電車	貸切バス	その他	(無回答)
原田治展 「かわいい」の発見	57.1%	11.4%	24.0%	2.3%	12.6%	0.0%	2.3%	2.9%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	58.6%	10.0%	20.7%	3.1%	13.4%	1.0%	1.4%	2.4%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	68.9%	9.8%	17.1%	1.2%	9.1%	0.3%	2.4%	2.4%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	68.4%	11.6%	15.7%	2.0%	8.1%	0.9%	2.0%	0.6%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	57.8%	18.9%	13.3%	4.4%	8.9%	0.0%	6.7%	0.0%
平均	62.2%	12.3%	18.2%	2.6%	10.4%	0.4%	3.0%	1.7%

(4) 万代島美術館に来たのは何回目ですか

展覧会名	初めて	2~4回目	5回以上	回答なし
原田治展 「かわいい」の発見	36.0%	29.1%	32.0%	2.9%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	25.9%	28.6%	42.4%	3.1%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	36.9%	33.5%	26.2%	3.4%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	26.7%	29.9%	42.6%	0.9%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	35.6%	17.8%	45.6%	1.1%
平均	32.2%	27.8%	37.8%	2.3%

(5) 当館に限らず年に何回展覧会に来ますか

展覧会名	1回以下	2~4回目	5回以上	回答なし
原田治展 「かわいい」の発見	28.6%	48.6%	19.4%	3.4%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	17.3%	51.7%	27.9%	3.1%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	32.9%	48.2%	15.5%	3.4%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	17.7%	53.9%	27.8%	0.6%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	28.9%	41.1%	30.0%	0.0%
平 均	25.1%	48.7%	24.1%	2.1%

(6) どんなジャンルの展覧会を望みますか（複数回答可）

展覧会名	日本画	洋画	西洋 洋画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代 美術	県人 作家	アジア の美術	絵本	アニメーション マンガ	その他	無回答
原田治展 「かわいい」の発見	23.4%	16.0%	28.6%	10.9%	9.1%	12.0%	9.1%	30.3%	45.7%	22.9%	2.9%	4.0%	41.7%	41.7%	10.3%	5.1%
糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	35.2%	26.9%	38.6%	14.1%	17.9%	43.4%	13.1%	23.1%	29.3%	17.2%	4.8%	13.1%	35.9%	16.6%	6.2%	4.1%
ヨシタケシンスケ展かもしれない	16.8%	13.7%	21.3%	9.8%	7.9%	11.6%	7.3%	22.3%	22.9%	16.8%	4.6%	3.7%	62.8%	49.7%	6.4%	6.1%
イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき	33.3%	23.8%	41.4%	23.5%	17.4%	43.8%	11.3%	33.3%	46.7%	27.5%	6.7%	15.4%	34.5%	28.1%	6.1%	1.7%
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	42.2%	27.8%	41.1%	23.3%	17.8%	18.9%	12.2%	36.7%	42.2%	33.3%	4.4%	6.7%	21.1%	38.9%	5.6%	4.4%
平 均	30.2%	21.6%	34.2%	16.3%	14.0%	25.9%	10.6%	29.1%	37.4%	23.5%	4.7%	8.6%	39.2%	35.0%	6.9%	4.3%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【令和5年4月現在】

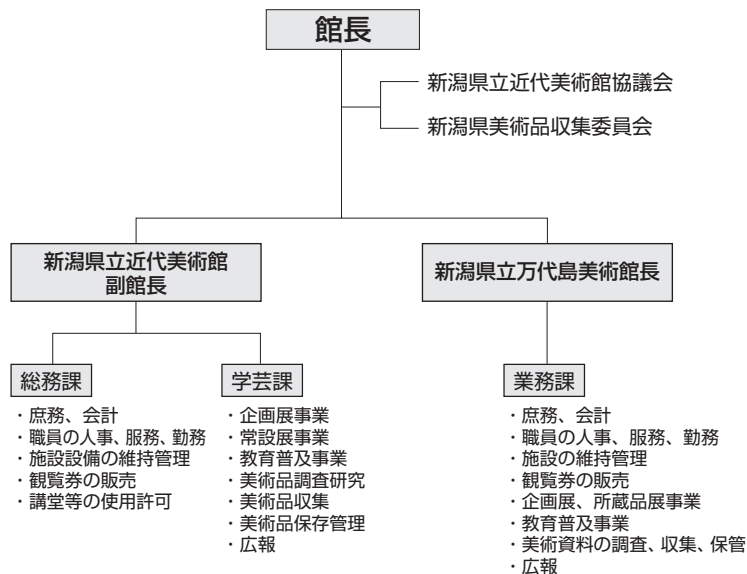
■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立近代美術館（以下「美術館」という。）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2 前項に規定する美術館には、知事の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等に関すること。
- (3) 美術品等の調査及び研究に関すること。
- (4) 美術品等に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職員

新潟県立近代美術館

	館長	桐原 浩
	副館長	藤井 哲夫
●総務課	総務課長	中村 広
	主査	稲田 道子
	主任	白井 祐花
	会計年度任用職員	太田 昌子
	会計年度任用職員	藤井 幸子
●学芸課	学芸課長	松矢 国憲
	専門学芸員	宮下 東子
	専門学芸員	平石 昌子
	専門学芸員	今井 有
	副参事	金澤 健志
	主任学芸員	長嶋 圭哉
	主任学芸員	飯島沙耶子
	主任学芸員	伊澤 朋美
	会計年度任用職員	入沢さおり
	会計年度任用職員	小黒 麻理
	会計年度任用職員	南 景子
	会計年度任用職員	磯部 玲子
	会計年度任用職員	丸山 典子
	会計年度任用職員	山口 裕子（～R5.7.31）
	会計年度任用職員	山上 麻美
	会計年度任用職員	羽賀由加里（R5.9.12～R6.1.14）
	会計年度任用職員	金内 貢子（R6.2.1～）

新潟県立万代島美術館

	館長	藤田 裕彦
●業務課	業務課長	藤田 裕彦
	課長代理	榎 真司
	専門学芸員	澤田 佳三
	専門学芸員	濱田真由美
	主査	井川由紀子
	主任学芸員	池田 珠緒
	主任学芸員	松本奈穂子
	会計年度任用職員	中嶋 美幸
	会計年度任用職員	吉澤 碧
	会計年度任用職員	上田 志乃（～R5.12.31）
	会計年度任用職員	國兼 隆子
	会計年度任用職員	田村真珠美
	会計年度任用職員	尾崎 幸恵（R5.7.19～）
	会計年度任用職員	堀川 有子（R6.2.14～）
	会計年度任用職員	藤崎 直子

新潟県立近代美術館

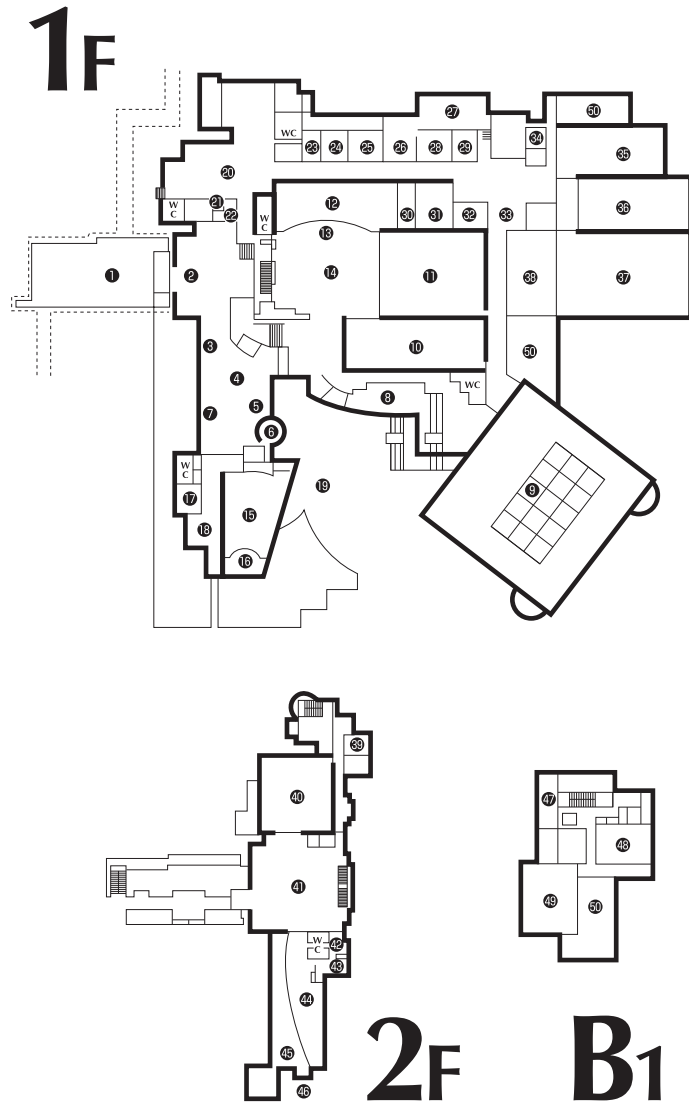
【施設概要】

〈名 称〉新潟県立近代美術館
 〈所 在 地〉新潟県長岡市千秋3丁目278-14
 〈設 計〉(株)日本設計
 造園設計 (株)日本設計・(株)日本造園
 設計期間 1990年9月～1991年2月
 〈監 理〉新潟県土木部都市整備局営繕課
 (株)日本設計
 〈施 工〉大成・吉原・小杉特定共同企業体
 電気工事 六興・大原・長岡特定共同企業体
 空調工事 三建・日立・越後特定共同企業体
 衛生工事 ナカムラ・北陸特定共同企業体
 ガス工事 北陸瓦斯(株)
 昇降機工事 日本オーチスエレベーター
 備品工事 (株)高島屋
 植栽工事 北陸緑化、ニューガーデン、
 長生園、宮川苑、吉茂造園、
 鈴木造園、新潟造園土木、
 長岡ガーデン、川崎農園、
 グリーン産業、松本造園
 工事期間 1991年7月29日～1993年5月31日
 〈総工事費〉 9,859,851千円
 支出内訳
 建築工事費 7,442,809千円
 造園工事費 1,216,187千円
 電気工事費 79,654千円
 展示工事費 1,121,201千円
 〈改修施工〉
 建築工事 (株)大石組
 電気工事 大原電業(株)
 空調工事 (株)長岡総合設備
 〈改修施工工事費〉
 928,909千円
 改修期間 2018年7月2日～2019年11月30日
 〈主体構造〉 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
 プレストレストコンクリート梁
 基礎・地業 PHC抗
 〈規 模〉 地下1階、地上2階、塔屋1階
 軒高 13.0m
 最高高 19.250m
 主なスパン 3.9m
 階高 5.7m
 〈面 積〉 敷地面積 33,800㎡
 建築面積 9,133㎡
 延床面積 10,723㎡
 地下—機械室・電気室 716㎡
 1階—展示室・収蔵庫・講堂・
 事務室・他 8,873㎡
 2階—レストラン・県民ギャラリー
 1,064㎡
 屋階—ELV機械室
 地域地区 市街化調整区域
 〈面積配分〉
 導入部門 1,356㎡
 (エントランスホール636㎡、ロビー 576㎡、ほか)
 展示部門 2,674㎡
 (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、
 企画展示室1,332㎡ ほか)
 教育普及部門 384㎡
 (講堂234㎡、講座室53㎡、ハイビジョン67㎡、ほか)
 収蔵部門 1,746㎡
 (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、
 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
 調査研究部門 272㎡
 (研究室83㎡、資料保管室61㎡、書庫128㎡)
 管理事務部門 416㎡
 (事務室133㎡、会議室70㎡、館長室55㎡、ほか)

設備・機械 1,017㎡
 (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)
 他共用部門 2,858㎡
 (廊下、階段、ほか)
 〈展示室の環境〉
 室の明るさ 70～150lux+局部照明
 (メンテナンス時：200lux)
 照明方法 全体照明(ダウンライト・間接)
 スポットライトによる局部照明
 光源の種類 LED
 温度・湿度 夏季/23℃・55%
 冬季/22℃・55%
 〈主な設備〉
 空調方法 個別式(単一ダクト方式・FCU方式)
 熱源：ガス・電気
 熱源機器/ガス冷温水発生機2台
 冷房能力/237.5USRT
 暖房能力/52,300kCal/h
 冷却塔/2,810,000kCal/h
 空調機器/全空気方式 空冷ヒート
 ポンプエアコンファン
 給排水衛生 給 水/上水直結
 給 湯/中央式(ガス)、
 個別式(電気)
 給排水 排 水/屋内合流、屋外下水道放流
 BIF床上受水槽(FRP40㎡)
 排水槽/有効0.76㎡
 電 気 受 電/3相3線 50Hz 6.6kV
 660kW
 発電機/3φ3W 50Hz 6.6kV
 375kVA
 非常保安動力/300kVA
 非常保安電灯(スコット)/50kVA
 変圧器/1,400kVA7台
 防 災 消火/屋内消火栓、屋外消火栓、
 ハロゲン化物消滅
 排煙/自然排煙
 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン
 消火設備 ハロン消火器 連結散
 水設備 屋外消火栓
 昇降機 乗用ELV/750kg積
 (30m/分)1台
 人荷用ELV/3,000kg積
 (30m/分)1台
 駐車場 屋内2台、屋外165台
 〈主な外部仕上〉
 屋 根 アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
 外 壁 四丁掛精拓器質タイル(割肌)
 二丁掛精拓器質タイル
 建 具 アルミサッシュ電解二次着色
 ステンレスサッシュH.L.仕上
 外 構 御影石ブロック+陶製ブロック舗装
 〈主な内部仕上〉
 エントランスホール
 天井/コンクリート打放し
 壁/御影石こぶ出し仕上
 床/御影石ジェットバーナー仕上
 展示室 天井/P.B.E.P
 壁/ガラスクロスE.P
 床/タイルカーペット
 収蔵庫 天井・壁/スプルス
 床/ナラ線甲板張
 講 堂 天井/
 壁/四丁掛精拓器質タイル+P.B.E.P
 床/カーペット
 研究室・事務室
 天井/岩綿吸音板
 壁/ビニールクロス貼
 床/タイルカーペット

【施設の配置】

- | | |
|---------------|-------------|
| ① キャンピ | ②⑥ 研究室 |
| ② エントランスホール | ②⑦ 書庫 |
| ③ ロビー | ②⑧ 資料保管室 |
| ④ ミュージアムショップ | ②⑨ 倉庫 |
| ⑤ データベース室 | ②⑩ フィルム保管室 |
| ⑥ ハイビジョンギャラリー | ②⑪ 撮影室 |
| ⑦ レファレンス | ②⑫ 作業室 |
| ⑧ 企画展示室ロビー | ②⑬ 荷解室 |
| ⑨ 企画展示室 | ②⑭ 燻蒸室 |
| ⑩ 展示室 1 | ②⑮ 収蔵室 1 |
| ⑪ 展示室 2 | ②⑯ 収蔵室 3 |
| ⑫ 展示室 3 | ②⑰ 収蔵室 2 |
| ⑬ 常設展示室ロビー | ②⑱ 展示備品倉庫 |
| ⑭ 中庭 | ②⑲ ガラリー控室 |
| ⑮ 講堂 | ②⑳ ガラリー |
| ⑯ ステージ | ②㉑ アトリウム上部 |
| ⑰ 講座室 | ②㉒ レストラン事務室 |
| ⑱ 講堂ロビー | ②㉓ 厨房 |
| ⑲ 屋外展示スペース | ②㉔ レストラン |
| ⑳ 事務室 | ②㉕ 吹抜 |
| ㉑ 乳児室 | ②㉖ テラス |
| ㉒ ロッカー室 | ②㉗ ドライエリア |
| ㉓ 応接室 | ②㉘ 電気室 |
| ㉔ 館長室 | ②㉙ 熱源機械室 |
| ㉕ 会議室 | ②㉚ 空調機械室 |



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内訳	用途等	面積
展示室		美術品等の企画展示	1,433.09㎡
収蔵	収蔵庫	美術品等の保管	102.05㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫の温室度を安定させる	28.15㎡
専用エレベーター		地下1階より美術品を搬入	27.59㎡
管理	事務室	学芸員、一般事務の執務室	72.66㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	32.75㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95.56㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	107.58㎡
	休憩室	会計年度任用職員の休憩場所	10.04㎡
	応接室	来賓等の応接	13.99㎡
	トイレ	職員・来館者用	92.58㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120.15㎡
	ポンペ庫	ハロン消火設備用ポンペ庫(予)	28.63㎡
共通	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	279.63㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	321.84㎡
	乳児室	乳児のために使用	6.35㎡
	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	22.62㎡
B1F	専用エレベーター(B1F)	美術品の搬入用	26.23㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	13.42㎡
	専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	124.54㎡
合計			2,959.45㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種別／複合ビル内包型 公立美術館
所在地／新潟県新潟市万代島5番1号
工事期間／平成12年10月3日～平成15年3月30日
敷地面積／103,128.93㎡(万代島一団地認定敷地全体)
建築面積／6,017.37㎡
延床面積／52,585.54㎡(うち、美術館2,959.45㎡)
構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造
階高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
監理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
施工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東亜共同企業体

3. 仕上げ(美術館部分のみ)

屋根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファルト防水押え、
コンクリート鋼製根太組天然スレート敷
外壁／プレキャストコンクリート下地アルミスバンドル張り、アルミカーテンウォールふっ素樹脂焼付塗装、プレキャストコンクリートカーテンウォールふっ素樹脂常乾塗装
内装／(設備概要を参照のこと)

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz
2回線受電、地中引込
受変電／1階サブ変電所、キュービクル式受変電設備
非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA、
蓄電池400AH
電話設備／電話配管(機器、配線は別)
放送設備／非常放送兼用アンプ1160W、130回線、
美術館業務用アンプ80W、5回線

5. 空調設備

熱源／全体熱源：冷温水発生器(ガス焚)
240RT×2台
収蔵庫：空冷ヒートポンプ
空調機／コンパクトエアハン7台
単一ダクト
換気／個別換気
給気ファン1台、排気ファン15台

6. 昇降機

制御機構／24時間中央温湿度管理システム
乗用／ロープ式 210m/分 定員20名1,350kg
4基(うち、車椅子仕様1基)
荷物用／油圧式
15m/分 3,000kg 1基
テーブルリフター／
リフト 0.9m
テーブル 2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁仕上／不燃プラスチックボード、ガラスクロス表面仕上げ
床仕上／フローリング(ダグラスファー)
可動壁／不燃プラスチックボード、ガラスクロス表面仕上げ
L4.0m×H4.5m：30枚、L2.0m×H4.5m：26枚、L2.4m×H4.5m：4枚
固定展示ケース／2箇所
(外側)スチール製・高透過ガラススチール製・アクリル焼付塗装、高透過ガラス・重量キャスター・アジャスター付、シリンダー錠付
(内側)低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、寸法D18.0m、W1.2m、H4.5m
照明／全て美術館用UV/IRカットフィルター付
ベース照明：スリット天井WWラインLED照明 2700K/5000K
展示照明：LEDスポットライト 2700K/5000K
ケース内照明：WWラインLED照明 2700K/5000K
設定温湿度／春・夏期：23℃、60%
秋・冬期：20℃、50%
(変動率±3℃、±10%以内)

2. 収蔵庫概要

床 仕 上 / フローリング
 壁 仕 上 / ゼオライトパネル (天井共)
 内部寸法 / L11.5m、W7.5m、天井H3.5m
 入口寸法 / H3.0m、W3.0m
 収蔵庫内作品固定方法 / 収蔵棚
 収蔵庫扉の構造及び仕様 / スチール製
 耐火2時間扉
 照 明 / 高効率照明器具 (32W)
 美術館用UV/IRカットフィルター付
 空 調 / 恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト (VAV)
 設定温湿度 / 春・夏期: 20℃、60%
 秋・冬期: 20℃、60%
 (変動率±2℃、±5%以内)

3. 搬入口関連概要

専用搬入口寸法 / H3.8m、W5.0m
 高位置の接岸ドック / 地上からの高さ0.7m
 可動接岸ドック / 0 ~ 0.9mレベルまで
 油圧式リフト / 最大重量3,000kg
 クレーン / 最大重量3,000kg
 搬入可能なクレーンの最大サイズ /
 H3.0m、W3.0m、D3.0m
 セキュリティ / 画像センサー機械警備
 荷解室への立入管理 / カードリーダー方式電気錠

昇降機内部寸法 / L3.0m、W3.0m、
 天井H3.0m

4. 防災設備

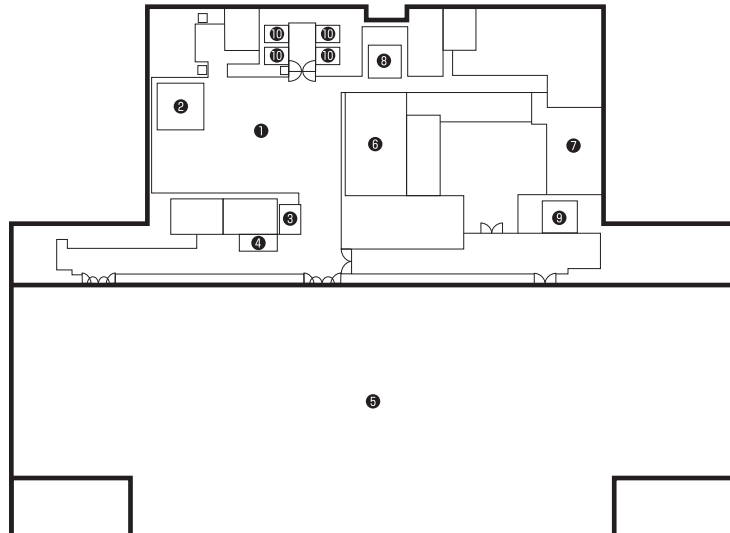
消火設備 / 湿式スプリンクラー
 展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫はハロン消火
 感知器の種類 / 自動煙感知
 火災警報への伝達 / 発信機、非常電話
 補助消火栓 / 搬入場所1基、その他4基
 連結送水管 / その他2基
 消 火 器 / 搬入場所: 粉末ABC
 展示室: ハロンガス
 その他: 粉末ABC及びハロンガス

5. 防犯設備

監視設備 / ITVモニター、ITVカメラ15台
 (美術館14台、EV1台)
 機械警備設備 / 画像センサー+スピーカ
 警備会社 / SECOM株式会社
 使用警報機の種類 / 画像センサー及び
 水銀スイッチ
 警報入電場所 / 館内中央監視盤及び
 美術館事務室
 盗難防止ケースの種類 /
 ガラス・ケース及び壁面固定ケース全てにシ
 リンダー錠付

【施設の配置】

- ① エントランスホール
- ② ミュージアムショップ
- ③ 情報コーナー
- ④ 乳児室
- ⑤ 展示室
- ⑥ 収蔵庫
- ⑦ 事務室
- ⑧ ロッカー・自販機
- ⑨ 作品専用エレベーター
- ⑩ エレベーター



新潟県立近代美術館協議会（令和5年度）

【委員】（委嘱当時）

（令和4年8月1日から令和6年7月31日まで）

●学校教育関係者

稲生 一徳（阿賀町立阿賀津川中学校校長＊／下越美術教育研究会（新潟県美術教育連盟下部組織）理事／新潟県中学校教育研究会美術部会全県部長）

＊令和5年4月1日より（五泉市立村松桜中学校校長）
五傳木浩樹（新潟市立高志中等教育学校教諭／新潟市美術協会理事／新潟県高等学校文化連盟）

●社会教育関係者

小田 智美（村上市教育委員会学校教育課・教育支援センター嘱託指導主事／新潟県生涯学習協会／下越・新潟地区社会主事等会／元村上市立朝日中学校長／元新潟県少年自然の家所長）

●家庭教育の向上並びに学術及び文化の発展に資する活動を行う者
中村 文香（株式会社新潟博報堂マーケットデザイン局みらいの事業開発部部长）

榎本 茂（公募）

●学識経験者

大森 慎子（新潟市歴史博物館学芸担当次長）

○丹治 嘉彦（新潟大学教育学部教授）

五十嵐史帆（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）

小林 花子（長岡造形大学准教授・大学院兼任教員）

◎は会長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和5年6月1日（休） 14:00～16:00

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 「令和4年度新潟県立近代美術館協議会評価」について

(2) 令和5年度事業について

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和5年11月2日（休） 10:00～12:00

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 「令和4年度新潟県立近代美術館協議会評価報告」の確認

(2) 令和5年度事業の中間報告（8/30まで）

第3回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和6年2月9日（金） 10:00～12:00

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 令和5年度事業の中間報告（11/30まで）

(2) 令和5年度の評価手順及びスケジュール

(3) 次年度評価に向けた意見交換

令和5年度

新潟県立近代美術館協議会評価報告

〈美術館活動全体の協議会評価〉

令和5年度、近代美術館においては橋本龍美展をはじめ4つの企画展、万代島美術館では原田治展をはじめ5つの企画展をそれぞれ開催した。また、これらの企画展以外にも、親子ふれあい事業や各種ワークショップをはじめ様々な事業を行って県民に学びの場を提供し、これに加えて、出前授業や美術鑑賞講座等、積極的に教育普及事業を行った。

これらについては、「企画展が面白かった」「美術館でのワークショップが楽しかった」等アンケートの回答を多数頂いている。このことから、近代美術館、万代島美術館はともに文化や教養を提供する公の美術館としての役目をしっかりと果たしていると言えるのではないだろうか。

また、今現在、美術館を取り巻く環境は日々変化している。美術館はその専門性だけにとどまらず、福祉や医療あるいは環境問題など様々な分野と繋がりはじめ、地域を活性化させる役割を担う場として機能していると言っても過言ではない。

しかしながら、美術館へのこうした期待に、関係者の自助努力だけで応えることは甚だ困難と考える。そこで例えば、他業種とのコラボレーションを行うことや、他の文化施設との交流を積極的に展開することで美術館への理解が広がり、多くの仲間が増えることに繋がるだろう。そして、それらの人々と連携することは美術館にとって新たな財産となり、関わった人々にとっても大きな価値を獲得することになることは間違いない。

これらの出来事を積極的に展開することにより、新たな新潟県立近代美術館、万代島美術館の姿が浮上してくるのではないだろうか。

〈新潟県立美術館の社会的使命及び運営方針〉

【社会的使命】平成20年4月策定

広く新潟県民と新潟を訪れた人のために、

固有の文化の価値を見直し、

併せて未来に継承すべきコレクションの充実と研究、活用、

普及を通じて、

多様な美術館活動を開発、提供し、

創造力溢れる人材の育成に取り組み、

地域の人々と協働しながら、

県民の誇りとなる新潟県の文化を発信する。

【運営方針】令和4年9月改定

1 県民の利用者拡充を図り、新潟県民の文化レベル向上に資する

2 心の憩いと学びの場を提供し、利用者に愛される美術館となる

3 新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となる

4 美術に関心ある人材の育成に寄与する

5 地域や各種教育機関との連携を深める

【評価の視点】令和4年9月改定

評価分野	評価の視点
展覧会	①県民の利用者拡充を図り、新潟県民の文化レベル向上に資する展覧会を開催しているか。 ②多様な展覧会の開催によって、芸術文化をベースにした心の憩いと学びの場を提供しているか。 ③多様な展覧会の開催によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。 ④郷土の作家や作品の展覧会を開催し、新潟県の芸術文化の発掘・発信の場となっているか。
教育普及等	①県民の利用者拡充を図り、教育普及活動を行っているか。 ②展覧会活動とは別に、心の憩いと学びの場を提供しているか。 ③地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。 ④美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。
調査研究・発信	①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。 ②地域や各種教育機関と連携して、調査研究活動を行っているか。 ③新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となっているか。 ④学芸員の調査研究・発信によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。
環境・施設	①作品の保存・展示に適した環境を、維持・整備しているかどうか。 ②利用者が快適に利用できる環境を、維持・整備しているかどうか。
協働組織	①県民の利用者拡充を図り、協働を実施しているか。 ②地域や各種教育機関など、外部との協働によって、連携を深めているか。 ③多様な組織との協働によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。

〈参考 県の上位方針〉

「新潟県総合計画」＊平成31年4月策定／令和4年4月改定

第3章【新潟県のめざす姿】

《基本理念》「住んでよし、訪れてよしの新潟県」

県民の皆様が、新潟の魅力・新潟らしさ「新潟ブランド」を意識し、新潟に住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思える新潟県、そして、国内外の方々が新潟に魅力を感じ、訪ねてきていただける新潟県を目指します。

第4章

《将来像》Ⅱ 地域経済が元気で活力のある新潟

1 多様な人や文化が交わる賑わいのある新潟

1-1) 多様な地域資源を活かした交流人口の拡大

③スポーツと文化を活かした地域づくりによる交流拡大

「県内各地の地域文化や美術館、博物館等の観光資源、優れた芸術家等との交流を積極的に活用し、交流人口の拡大や地域の活性化を目指す

《将来像》Ⅲ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟

1-2) 地域の産業・社会を支える人づくり

①未来の新潟に必要な人材の育成・確保

②生涯学び活躍できる環境づくり

1-3) スポーツと文化の振興

②文化を通じた豊かな生活の実現

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seisaku/sougoukeikakukaitei.html>

「新潟県文化振興条例」

＊令和6年4月1日施行

前文：「文化はいつの時代においても、人々の心に潤いや安らぎ、精神的な満足感をもたらし、心豊かに生活を送る上で重要な役割を果たしている。

第2章【文化の振興等に関する基本的施策】

(芸術の振興) 第9条：文学、音楽、美術、工芸、デザイン、写真、演劇、舞踊その他の芸術の振興を図るため、これらの芸術の公演、展示等への支援、これらの芸術に関する活動への支援その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(文化に対する関心及び理解) 第13条：県民の文化に対する関心及び理解を深めるように、普及啓発その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(県民の鑑賞等の機会の充実) 第14条：広く県民が自主的に文化を鑑賞し、及び創造し、並びに文化活動に参加する機会の充実を図るため、文化の公演、展示等の実施、支援、記録の保管並びに情報の収集及び提供その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(文化施設の機能の充実等) 第15条：文化会館、博物館、美術館、図書館その他の自らが設置する文化施設を文化活動の拠点とし、文化の鑑賞、創造、学び及び交流の場としての機能の充実を図るとともに、それぞれの文化施設の特色を生かした文化に関する教育及び普及啓発その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bunka/bunkajourei2.html>

「新潟県文化振興ビジョン」

期間：平成29～令和6年度

＊平成29年策定／令和5年7月改定

第1章【性格】文化芸術基本法第7条の2に規定する地方文化芸術推進基本計画

第2章【現状及び課題】

第3章

【基本目標】

文化で創る、心豊かな「ひと」、魅力ある「地域」……そして未来へ

【目指す姿】◆文化振興により、県民が地域文化を知り、地域に誇りと愛着を持つこと

◆文化活動への参画・参加及び創造により、県民が心豊かな生活を送ること

◆文化を通じた観光振興・交流拡大で、地域の内外の好循環が生まれること

⇒文化の力で新潟を活性化

【施策の5本柱】

柱(1) 大規模イベント等の機会を捉えた更なる文化振興

●イベント等を契機とした県民参加の拡大と文化の創造及び発信

●文化分野におけるボランティア活動の活発化

柱(3) 文化活動への県民参加の拡大

●優れた文化の鑑賞・参加機会の提供

●子どもの文化活動の促進

●文化に親しむ場となる環境の整備

柱(5) 文化の保存、記録、継承及び活用

*柱(2)地域文化の温故知新

*柱(4)文化を通じた交流・発信の拡大

【ビジョンの評価】

(1)成果指標 ④県立文化施設[近美・万美・歴博・自然科学館]への来館者数

*H23 72.5万人/H27 56.8万人/目標値 (R6) 増加させる

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunka/bunkavision.html>

令和5年度評価（近代美術館）

●重点取組1

学芸員の日ごろの調査・研究の成果を披露し、また、それに基づいた学びの機会を提供する。

評価の視点

・調査研究・収集保存・発信

①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。

③新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となっているか。

・教育普及

③地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。

・協働

②地域や各種教育機関など、外部との協働によって、連携を深めているか。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎調査研究の成果をコレクション展と企画展で様々な情報発信した。加えて、学芸員によるHPコラム連載や研究紀要でも、収蔵作品や県人作家の新たな情報を広く公開してきたことは、評価されるべきと考える。

◎新潟大学、長岡造形大学と連携して講義を行ったことや、県内図書館や長岡市中之島コミュニティセンター、新潟市芸術創造村・国際少年センター「ゆいぼーと」などの施設や団体と様々な協働活動を行い、新しく現地見学会などの学びの機会を設定したことは評価されるべきと考える。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎学芸員による調査・研究がコレクション展や企画展に生かされていた。特に郷土作家に光を当てた学術性の高い展覧会の実施によって、新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場として広く県民に認知される効果があった。

◎学びの機会の提供として、学芸員によるHPコラム掲載や研究紀要、収蔵作品や県人作家の新たな情報を広く公開したことは評価できる。表現（表記）も平易になり、既習知識のない一般の方でも読みやすくなってきた。

◎教育普及の面では、ホームページの活用、学校や地域との連携など、アウトプットが以前に増して充実していた。矜持を持って努力した結果として高く評価できる。

◎地域との協働という点では、大学と連携し講義を実施したことや、図書館、コミュニティセンター等の施設や団体と協働活動を実施し、学びの機会を数多く設けていた。今後の活動への広がりにつながり、美術館の活動を発信するのに効果的だった。

▲優れた展覧会が開催されたが、計画目標に対して来館者数の少なさが目立った。この結果は検証すべきで、より多くの利用者の拡充に繋がる情報発信の手法を探るべきである。HPに情報を掲載するだけでは十分ではなく、プレスリリースを報道機関に一方的に発送するだけでは取り上げられることを期待できない。

▲新潟県の36%の人口を擁する新潟市でのPR活動は、情報到達度、集客への期待度を含めて重要だと考える。今後も様々な機会やネットワークを通じて、県民の芸術文化への意識を高め、関心を促す内容を発信していくべきであろう。

▲教育普及および協働については対象地域が限られている。芸術文化に対する意識の向上につながるよう、県内どこでも恩恵にあずかれる工夫をお願いしたい。また、県内に限らず、県外や国外へも情報発信する手立てや方策が今後の課題である。

▲出前講座など教育普及事業に対する申し込み学校数が減少しており、実施要請地域の偏り（長岡市隣接の学校が多い）が目立つ。特に後者は同じ傾向が近年続いている。その原因の分析や対応策の検討は今後の課題である。

●重点取組2

開館30年を期に、館の歴史を振り返りつつ、将来に向けた新たな取り組みを探る。

評価の視点

・展覧会

②多様な展覧会の開催によって、芸術文化をベースにした心の憩いと学びの場を提供しているか。

・教育普及

- ② 展覧会活動とは別に、心の憩いと学びの場を提供しているか。
- ③ 地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。

・協働組織

- ③ 多様な組織との協働によって、美術に関心のある人材の育成に寄与しているか。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

- ◎ 今年度は、開館30周年の記念年であったこともあり、記念事業に注力しただけでなく、年間のワークショップの回数も増やし、多様な学ぶ機会を提供できたと思われる。それは、普及活動の参加者数ばかりでなく、定員を超える申込みのあったワークショップなどからも窺える。
- ◎ 収蔵作品のデータベース化を進め、一部公開できるまでに整備した。美術館利用者の利便性が向上し、学びの機会を提供したことは評価できると考える。
- ▲ 周年ということで様々な事業を行ったが、職員数が限られている中、人的パワーに頼ったところがあり、オーバーワークであった。適正な業務量と人員配置を調整していきたい。
- ▲ データベース公開で利用者の利便性向上のため、今後も継続して更新していけるような予算措置や業務体制を構築していきたい。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

- ◎ 開館30周年のコレクション展は記念展に相応しく見ごたえがあり充実していた。記念事業として開催された、学芸員のコメント付き企画展ポスター展や、記録写真を抜粋したスライドショーは近美しかできないリソースであり価値があった。
- ◎ 「ボン・ボン・マルシェ」初日のコレクション展無料は、公共サービスの観点や新たな利用者拡充施策として評価できる。美術館としての目的を売上ではなく、利用者の拡充と置き換えれば「無料」は必要な施策である。
- ◎ 教育普及に関しては、ワークショップの回数増と多様な学びの機会を提供していた点で評価できる。様々な取り組みで開かれた美術館となり、多くの県民に愛されている様子がイベント参加者数からも伺えた。
- ◎ 親子ふれあい事業や各種ワークショップ等、美術に関心を持ち、楽しむ機会が多く提供されたことは、裾野を広げる良い機会となっていた。
- ◎ 改正博物館法に対応した収蔵品のデータベース化と一部公開は、県内の博物館施設の規範となり評価できる。
- ▲ 「親子ふれあい事業」は初めての試みとして評価できるが、次年度につなげるためには、成果や課題、利用者の具体的な声など、現時点でまとめる必要がある。
- ▲ 収蔵作品のデータベース化と一般公開により、多岐にわたる学びの機会の提供となるような企画運営の方策を図ることが今後の検討課題である。それが美術館としての存在意義を知

らしめ、未来に向けた存在価値を高めることにつながる。

- ▲ 限られた職員に対して、盛りだくさんの業務が実施されている。単に実施数を抑える方法もあるが、実施方法の工夫や万代島美術館との情報交換によって人的パワーのバランスを構築するべきではないか。友の会や館を支えるボランティア等、美術に携わる人材の育成、機会の提供、多様な団体との連携等も重要であろう。
- ▲ 令和5年度から取組が始まった「新潟県教育の日」の連携事業として、近美のあり方も含めて、何か仕掛けられたのではないか。県生涯学習推進課は、アートの教育力を訴える事業を展開していたが単発的な印象があった。庁内で連携・協働することで、一般県民が芸術に関心を抱いたり、気持ちを醸成したりできると考える。

●通常取組

■取組終了 / □取組継続中

- 新型コロナウイルス感染防止対策が緩和され、通常生活に戻り、事業実施について多様な事業を復活させ、利用者の利便性を図りつつ実施してきた。
- 今後の美術館活動の活発化を図るための作品収集費や館改修調査費等の予算が認められた。
- 県の「子育て応援プラス」の取組の一環として「親子ふれあいデー」やワークショップを実施した。

【自己評価】

◎評価すべき点 / ▲検討課題

- ◎ 収集予算や館改修調査費が査定されたことは、今後の館活動の幅を広げることに繋がるものであり、評価されるべきと考える。

【協議会評価】

◎評価すべき点 / ▲検討課題

- ◎ 収集費、施設改修費は健全な美術館運営に欠かせないものである。県の予算が認められたことは、地道な活動を続けてきた館の努力と、県民の視線を失わずに見守ってきた新潟県の理解が得られた結果と評価できる。
- ◎ 「親子ふれあいデー」やワークショップの実施は、広く地域に館の存在意義や取組を周知、理解させる良い機会となった。従来の枠にとられずに挑戦した姿勢は評価できる。
- ▲ 「子育て応援プラス」の取組の一環として、次世代の子どもたちが文化に触れ、将来的にも美術館事業や活動に参加する体制づくりの方策を考え、企画運営する手立てを実施していくことが今後の課題である。

〈自由意見〉

- 人口が減少している実情を踏まえ、今後の美術館の在り方を今から考えることが大切である。幼児から小学生、中学生と若年層の美術館事業や活動に参加する機会、企画がさらに必要である。親子が参加できるワークショップや講義、美術館に行きたくする企画、SNS、電子チケット、電子アンケート等今後を見据えた方策を生み出してほしい。

- 高齢化と人口減少により地方自治体の存続が危ぶまれ、今後人口の取り合いが始まる。「新潟県総合計画」に記載されている通り、新潟ブランドの構築と同時に誇りを思い、これからも住み続けたいと思える新潟県を実現することが重要である。地域にある文化を守ること、発信・教育普及することは美術館が重要な責務を負うべき事案である。
- 取り巻く環境が辛い中、県の前向きな支援と美術館スタッフの意欲的な行動が、美術館を生き生きとよみがえらせ、県民目線で魅力をどんどん増している様子を見せてもらい、希望が湧いた。全国にも誇れる美術館として、魅力をますますアップしてほしい。
- 「起債許可団体」となった新潟県で、文化・芸術に予算が充てられることはとても厳しい状況である。美術館の職員が楽しくなければ、利用者にとっても同様である。楽しくなるよう工夫と知恵で取組んでいただきたい。
- 近代美術館と万代島美術館の協力体制の活発化による魅力、企画力向上を期待したい。
- 協議会は美術館側の方針に沿った進捗状況を伺いながら、お互いに考えやアイデアを発言し修正を加えて成果に結びつけていくとイメージしていたが、私の中でズレが生じた。R5年度第3回協議会で「何かしら変えていけるように努めていきたい」という意見が出たが、美術館、協議委員が全員この考えを持てたら、変えられるのではないか。
- 美術館の評価については入場者数やアンケートがその対象となる場合が多いが、目の前の数値や言葉のみがその評価になるわけではない。展覧会を鑑賞した後にゆっくりと自身の人生に変化（気づき）が起きることも多々ある。そのようなエピソード的评价も組み入れる必要があると考える。

令和5年度評価（万代島美術館）

●重点取組1

それぞれの展覧会において当館独自の工夫を行い、芸術文化の発信・発信の場となると同時に、心の憩いと学びの場を提供していく。

評価の視点

・展覧会

②多様な展覧会の開催によって、心の憩いと学びの場を提供しているか。

・教育普及

②展覧会活動とは別に、心の憩いと学びの場を提供しているか。

・調査研究・収集保存・発信

①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。

【自己評価】

◎評価すべき点／▲検討課題

- ◎多彩なラインナップの展覧会を開催し、新たな来館者層の獲得へと繋がった。
- ◎地元企業（五泉・亀田）、自治体（見附市）等とタイアップすることで、巡回展の新潟での開催を意義深いものにするのと同時に、関心のすそ野を広げる効果があった。
- ◎当館での所蔵品展の開催が難しくなっている中で、巡回展に組み込む形で所蔵品を展示活用することによって、所蔵品の調査研究や新たな発見に繋がった。
- ◎ワークショップや作品解説会への期待は高く、活動を再開できたことは評価できる。
- ◎地域や外部団体との協働を多角的に行い、間口を広げる努力を続けている。
- ▲地元企業や自治体との協働については、実行委員会の予算的制約があり簡単ではないが、今後も展覧会の内容によって協働先を厳選しながら継続していきたい。

【協議会評価】

◎評価すべき点／▲検討課題

- ◎多彩な展覧会を開催し、新たな来館者の獲得と美術展覧会の範囲を拡大したことは評価できる。来館者数も目標比で原田治95%、糸70%、ヨシタケ186%、イッタラ109%だった結果は、近美のマイナス分を補う役割を十分果たした。
- ◎巡回展では制約等もあると思うが、ワークショップ、作品解説会、館のコレクションの活用、地域や外部団体との協働などを多角的に行い、どの展覧会も新潟展の独自性が生きた展覧会になっていたところを評価する。今後も多様な展覧会を提供し、学芸員の活躍の場を拡充することで、新たな来館者やリピーターの増加につながることを期待したい。
- ◎新潟ならではの要素を加えた企画は、地元の観覧者にとっても大きな発見があり、印象深い鑑賞体験が提供できている。特に世界的アーティストのコシノジュンコ氏が来館し、その場で解説を行ったことは、県民にとって大変貴重な機会になったと思われる。
- ◎地元企業、地域や外部団体との協働の機会を積極的に活用し、予算的制約や所蔵品の活用など様々な問題に対し、バランス良く対応している。
- ▲作品説明会等については、（定員やスペースに限りがあるため）一部でも良いので、YouTubeや館のHP等でも配信するなど検討すると良い。
- ▲今後は、協働企業が「美術館をPRの場」として捉え、自己資金で活動してもらえるために何が提供できるか、検討してはどうか？
- ▲地元企業や自治体との協働については、予算的な問題もあり、協働先のセレクトと協働先との関係、今後の継続性構築が課題である。
- ▲地域との連携を強化しているものの、目的を明確にした協働にやり切った感が無い。地域産業の活性化（技術の紹介、物販）、動員（百貨店、マスコミ）、アートのリンクの利用等の検討が必要と考える。

●重点取組2

安心・安全・快適な展示環境を整えるとともに、より高品位の展覧会を実施できるよう施設整備を行っていく。

評価の視点

・環境・施設

- ①作品の保存・展示に適した環境を、維持・整備しているか。
- ②利用者が快適に利用できる環境を維持・整備しているか。

【自己評価】

◎評価すべき点／▲検討課題

◎1月1日の能登半島地震の発生にもかかわらず、照明工事については予定通り完了。「コシノジュンコ展」では新しい照明器具を使って効果的な展示を実現したことで、コシノ氏より会場としての高い評価を得ることができた。

【協議会評価】

◎評価すべき点／▲検討課題

◎県との粘り強い交渉で予算措置、改修までに至ったことは大変良かったし、評価する。来館者の声も生かしながら、今後も最適な環境づくりに尽力して欲しい。

◎安心・安全・快適な展示環境を整えるとともに、より高品位の展覧会を実施できるような施設整備を行っていくことに対して、館内照明のLED化を成し遂げ「コシノジュンコ展」で新しい照明器具を使用して効果的な展示を実施したことは評価できる。

▲より高品位な展覧会を実施できるように作品の配置や作品の見せ方、企業、自治体等との協働、ワークショップ、作品説明会、所蔵品展示等のさらなる展示環境の充実を図ることが今後の課題である。

●通常取組

■取組終了／□取組継続中

■通年で出店することとなったミュージアムショップとの連携事業として、開館20・30周年記念ロゴマークをあしらったトートバッグを製作し、販売することができた。

■新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、中止していたギャラリートークやワークショップといった普及事業を再開させた。

■県主体の子育て支援策である「親子ふれあい支援事業」として、「ヨシタケシンスケ展」では無料観覧の「親子ふれあいデー」を、「糸で描く物語展」と「イッタラ展」では作家によるワークショップを実施した。

【自己評価】

◎評価すべき点／▲検討課題

◎ミュージアムショップが通年で出店することになったため、切れ目のない連携が可能となり、魅力的な商品やショップの環境づくりを進めることができた。

◎「糸で描く物語」展と「イッタラ展」ではギャラリートークと作家によるワークショップを開催し、巡回展であっても独自に学びの機会を充実させることができた。

◎「ヨシタケ展」の「親子ふれあいデー」では多数の応募が想定されたため、混乱を避けるために県の電子申請システムを初めて活用し、混乱なく受付に対応することができた。

【協議会評価】

◎評価すべき点／▲検討課題

◎ミュージアムショップの通年の出店、環境づくりを評価する。また、ショップと連携事業した開館周年記念ロゴマークのトートバッグの製作・販売は美術館のPR発信のよい機会であり、有効性があったと評価される。地域産業に光を当てる事にもつながるため、引き続き注力してもらいたい。

◎ワークショップ等学びの機会が提供されたのは大変よかった。未来の入館者を創出する手立てとしても有効な手段であり、また、何度も足を運びたい館となるためにも、会場をあとにするまでの豊かな環境づくりを今後も継続してほしい。

◎「親子ふれあい事業」の無料観覧、作家によるワークショップを実施したことは評価される。こどもたちの美術館体験の機会を増やすことにもつながるため、あらゆる展覧会において工夫をして取り組んでみてほしい。

◎コシノジュンコ展で使用した「ポケット学芸員」など、入館者が作品を見ることに集中することに貢献できるデジタル技術を積極的に取り入れるべきである。

◎県内の多くの図書館に関連コーナーを設ける試みは評価できる。実際に、展覧会を知り、来館するきっかけになったと考えられる。

▲「利用者の快適に利用できる環境」として、規則やサービスなどソフト面の見直しにより快適な利用環境や利便性を高め、来館者増加につながると思われる。様々な試み（セルフガイドの作成、親子ふれあいデー）について成果や課題に言及してほしい。

▲スマートフォン等による電子決済や入場券の導入、さらに進化させる課題としてアンケート配信、割引クーポン、年間パスポート、スタンプ等、電子による工夫、利用者の利便性を企画立案運営することが今後の課題である。

▲県立近代美術館への玄関口になるような仕掛けが万代島美術館でできないか、検討してほしい。

〈自由意見〉

○これからの美術館のあり方として、キャッチフレーズがあってもよいのではないか。

ex. 「いいまちは いい美術館をつくります」「いい美術館はいいまちをつくります」

○日本および県内の人口が減少している実情を踏まえ、今後の美術館の在り方を10年後、20年後、30年後を予想しながら、今後に向けた方策を今から考えることが大切と考える。さらに、万代島美術館は新潟市中心部に存在し、新潟市の人口が新潟県全体の三分の一を占めていることにも注目したい。館それぞれ独自により魅力的な美術館事業および活動をお互いが企画立案運営していくことが大切と考える。

○様々な改善、交渉等に展覧会の観覧者の評価やアンケート等

新潟県美術品収集委員会

も大きな力になると考える。アンケートで何を聞きたいのかを整理し、記入しやすくなる環境づくりを考えてほしい。また、その後の活用としては、経緯や状況、館からのメッセージ等（数字もそのほかの感想なども）を発信していくことも効果的ではないかと考える。どのように還元され、どのように芸術文化の発展につながっているかが分かってよいし、観覧者の参画感にもつながるように思う。

- 人員やスペースの制約もある中、様々な工夫や努力によりとても良い企画を届けていることは高く評価できる。県内の他の美術館にはないすばらしい展示室を存分に活用して、気軽に立ち寄り、存分に展示を楽しめる美術館として今後も頑張してほしい。
- 「利用者の快適に利用できる環境」として、美術館利用者の駐車場割引、県内の遠方者割引等についても可能性を検討してほしい。
- 美術に関心ある人材の育成、若手のアーティスト育成につながるような企画の実施を検討し、特色ある新しい芸術の教育普及につなげてほしい。

【委員】

- ◎郷 晃（新潟大学名誉教授）
 - 松本 透（長野県立美術館長）
 - 山梨絵美子（千葉市美術館長／東京文化財研究所 客員研究員）
 - 古田 亮（東京藝術大学 大学美術館教授） * 欠席
 - 岡塚 章子（東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室長） * 欠席
- ◎は委員長

【日程及び内容】

令和5年度「新潟県美術品収集委員会」

日時：令和5年12月5日(火) 14:00～16:00

内容：(1) 報告 令和4年度美術品収集について

(2) 令和5年度美術品収集について

①収集候補の全体説明

②収集候補の内覧

③収集候補作品の協議

(3) その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない二館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

広く美術を愛する人達を中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

【会費・会員の種類】

一般会員	一般	2,000円	224人
	学生他	1,000円	1,108人
ファミリー会員		4,000円	51人
特別会員	個人	30,000円	0人
	法人		21人
計			1,404人

【会員の特典】

- ・会員証による近代美術館コレクション展無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展を観覧できるモニター券の配布（モニター券1枚で一回観覧可）
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展の優待観覧（団体料金）
- ・万代島ビル内の飲食店の割引
- ・友の会だより、美術館パンフレット等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展内覧会への参加

【役員体制】

会 長	上松 和義	
副 会 長	山本 正明	立川 厚生
	宮澤奈緒子	藪内 公美
理 事	小林 啓之	
監 事	宮越 忠範	
代 議 員	阿部美恵子	大平 剛
	恩田 里士	高橋 信雄
	佐藤 浩一	羽賀 享
	原 和彦	樋口 栄治
	保坂 太	丸山 智
	舩岡 武雄	久島 芳尚
	中川 アイ	金子かおる
	金子 明子	
顧 問	平山 征夫	馬場 省吾
相 談 役	徳永 健一	
事 務 局	直江 修子	末廣 美紀

【事業内容】

友の会独自事業および美術館との共催事業

- ◇ 5月 5日 こどもワークショップ
「お絵描き好きな子集まれ 変身！お化け地蔵」
(近代美術館・友の会共催事業)
- ◇ 5月20日・6月24日
出品作家によるトークイベント
「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」
(万代島美術館・友の会共催事業)
- ◇ 6月 7日 代議員会（書面決議）
- ◇ 7月 1日 講演会「ベル・エポックとデザインーアール・ヌーヴォーからアール・デコまで」
- ◇ 7月 2日・9日
「刺繍の会」ワークショップ
(万代島美術館・友の会共催事業)
- ◇ 7月15日 鈴木コーヒーの移動販売車
「ヒポボタマス」がやってくる！
- ◇ 7月15日～17日
ボン・ボン・マルシェ古本市
(友の会独自事業)
- ◇ 8月20日 BKT富山美術鑑賞ツアー
(友の会独自事業)
- ◇ 8月27日 万美直行バス（友の会独自事業）
- ◇ 9月24日～10月1日
作品展 作品数：50点
来場者：178名
(友の会独自事業)
- ◇10月22日 アートフル・サフラン座学&ガイドツアー
(友の会協賛)
- ◇10月29日 第12回アートカフェ
「地域と連携して進めてきた造形表現活動」
(友の会独自事業)
- ◇11月 5日 万美直行バス（友の会独自事業）
- ◇11月18日 第13回アートカフェ
「版画ってなんだろう？」
(友の会独自事業)
- ◇ 2月11日 第14回アートカフェ in造形大
「華麗なるパリの『余計な』話」
(友の会独自事業)
- ◇ 1月21日～3月17日（計5回）
大人のための日本画ワークショップ
- ◇友の会だより（速報版） 7回発行
- ◇webでの情報発信（メルマガ等）

沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上
昭和63年12月
「新潟県美術品収集基金条例」公布
平成元年10月
新潟県美術館建設基本構想を策定
平成2年3月
新潟県美術館建設基本計画を策定
平成2年3月
建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定
平成2年3月
指名設計競技の参加設計事務所5社を決定
平成2年7月
建設指名設計競技審査会開催
（株）日本設計の作品が入選
平成2年8月
設計業務の委託を（株）日本設計と契約
平成3年2月
建設の実施設計策定
平成3年5月
建設工事入札
大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札
平成3年7月
県議会で建設工事の契約承認
平成3年7月
建設着工
平成4年12月
建設本体工事完了・引き渡し
平成5年3月
「新潟県立近代美術館条例」公布
平成5年4月
発足
平成5年7月
開館
平成30年2月
改修工事設計業務の委託を（株）日本設計と契約
平成30年6月
改修工事の実施設計策定
平成30年9月
改修工事入札
株式会社大石組・大原電業株式会社・株式会社長岡総合設備
（株式会社長岡総合設備のみ11月契約）
平成30年9月
改修工事着工
令和元年9月
改修工事一部終了・再開館
令和元年11月
改修工事完了・引き渡し
令和2年3月
「新潟県美術品収集基金条例」廃止

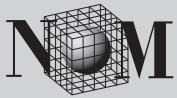
《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月
新潟県新美術館基本構想を発表
平成13年2月
新潟県新美術館基本計画を策定
平成14年4月
新潟県新美術館開設準備室発足
平成14年8月
新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定
平成15年3月
朱鷺メッセ万代島ビル竣工
平成15年4月
発足
平成15年7月
開館
令和5年12月
展示室・ロビー等照明改修工事着工
令和6年2月
展示室・ロビー等照明改修工事完了・引き渡し

令和5年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

製作 株式会社滝沢印刷
発行 令和7年3月28日



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum